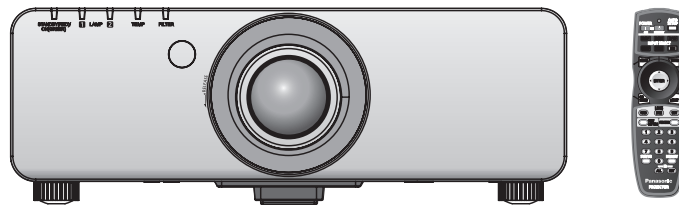



取扱説明書 詳細編

DLP™ プロジェクター 業務用

品番 PT-DW730
PT-DW730L
PT-DX800
PT-DX800L



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書は、品番末尾のアルファベットに関わらず共用です。
 - S：シルバーモデル・標準ズームレンズ付属、LS：シルバーモデル・レンズ別売り、K：ブラックモデル・標準ズームレンズ付属、LK：ブラックモデル・レンズ別売り
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に“安全上のご注意”（ 6～9 ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

商標について

- Microsoft® とそのロゴ、Windows®、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Internet Explorer® は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - Macintosh、Mac OS、Safari は、米国およびほかの国々で登録された Apple Inc. の商標です。
 - PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録または出願商標です。
 - HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
 - その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
- なお、本文中では ® や TM マークは明記していません。

本書内のイラストについて

- プロジェクター本体、画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

- 本書では、参照ページを (100 ページ) のように示しています。

用語について

- 本書では付属品の「ワイヤレス/ワイヤードリモコン」を「リモコン」と記載しています。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

本機の特長

高輝度&高色再現性

- ▶ 独自光学システム、ランプブースト制御により、高輝度と高色再現性を実現しました。

自由度の高い設置性

- ▶ 豊富なオプションレンズのラインアップにより、自由度の高い設置ができます。

メンテナンス費用軽減

- ▶ 新フィルターの採用により、メンテナンス費用を軽減します。

投写するまでの手順

詳しくは各ページをご覧ください。

1. 本機を設置する
(☞ 19 ページ)



2. 投写レンズを取り付ける
(☞ 27 ページ)



3. 本機と外部機器を接続する
(☞ 28 ページ)



4. 電源コードを接続する
(☞ 30 ページ)



5. 電源を入れる
(☞ 32 ページ)



6. 投写する映像を選択する
(☞ 34 ページ)



7. 映像の映り具合を調整する
(☞ 34 ページ)

安全上のご注意

安全上のご注意 6

はじめに

ご使用になる前に 10

本機の運搬について 10
 本機の設置について 10
 セキュリティーに関するお願い 12
 廃棄について 12
 本機の取り扱いについて 13
 付属品の確認 14
 別売品 14

各部の名称とはたらき 15

リモコン 15
 本体 16

リモコンの使い方 18

電池を入れる、取り出す 18
 リモコンの ID ナンバーを指定する 18
 ケーブルで本体と接続して使う 18

準備

設置する 19

投写方式 19
 設置オプションについて (別売品) 19
 投写関係 20
 アジャスター脚の調整 25

投写レンズの取り外し / 取り付けかた 26

投写レンズの取り外しかた 26
 投写レンズの取り付けかた 27

接続する 28

接続の前に 28
 映像機器との接続 (例) 29
 コンピューターとの接続 (例) 29

基本的な使い方

電源を入れる / 切る 30

電源コードを接続する 30
 電源インジケーターについて 31
 電源を入れる 32
 調整・選択をする 32
 電源を切る 33
 ダイレクトパワーオフ機能 33

投写する 34

投写する映像を選択する 34
 フォーカス調整、ズーム調整、シフト調整
 のしかた 34

レンズ位置のホームポジションへの移動の
 しかた 34
 レンズ位置移動による (光学シフト) 調整
 範囲 35

リモコンで操作する 36

シャッター機能を使う 36
 オンスクリーン表示機能を使う 36
 入力信号を切り換える 36
 ステータス機能を使う 36
 オートセットアップ機能を使う 37
 ファンクションボタンを使う 37
 内蔵テストパターンを表示する 37
 映像の縦横比を切り換える 38

調整と設定

オンスクリーンメニューについて 39

メニュー画面の操作方法 39
 メインメニュー 40
 サブメニュー 40

【映像】について 42

【映像モード】 42
 【ピクチャー】 42
 【黒レベル】 42
 【色の濃さ】 42
 【色あい】 43
 【色温度設定】 43
 【白ゲイン】 44
 【システムデイルイトビュー】 44
 【シャープネス】 44
 【ノイズリダクション】 44
 【AI】 45
 【システムセレクター】 45

【位置調整】について 46

【シフト】 46
 【アスペクト】 46
 【ズーム】 47
 【クロックフェーズ】 48
 【台形補正】 48

【アドバンスドメニュー】について 49

【デジタルシネマリアリティー】 49
 【ブランキング】 49
 【入力解像度】 50
 【クランプ位置】 50
 【エッジブレンディング】 50
 【ラスターポジション】 51

【表示言語 (LANGUAGE)】について 52

表示言語を切り換える 52

【表示オプション】について 53

【カラーマッチング】 53
 【カラーコレクション】 54

[コントラストモード]	54
[スクリーン設定]	55
[入力自動セットアップ]	55
[自動調整]	55
[DVI-D IN]	56
[オンスクリーン表示]	56
[バックカラー]	57
[スタートアップロゴ]	58
[フリーズ]	58
[2画面] (PT-DW730のみ)	58
[プロジェクターセットアップ] について	59
[プロジェクターID]	59
[投写方式]	59
[高地モード]	59
[冷却条件]	60
[ランプ選択]	60
[ランプリレー]	61
[ランプ出力]	61
[スタンバイモード]	61
[RS-232C]	61
[REMOTE2 端子モード]	62
[ステータス]	62
[無信号自動オフ]	62
[ファンクションボタン]	63
[日付と時刻]	63
[全ユーザーデータ保存]	63
[全ユーザーデータロード]	63
[初期化]	64
[サービスパスワード]	64
[テストパターン] について	65
[テストパターン]	65
[登録信号一覧] について	66
新規登録	66
登録信号の名前の変更	66
登録した信号を削除する	66
サブメモリーについて	67
[セキュリティ] について	68
[セキュリティパスワード]	68
[セキュリティパスワード変更]	68
[表示設定]	68
[テキスト変更]	69
[メニューロック]	69
[メニューロックパスワード]	69
[操作設定]	69
[ネットワーク] について	71
[ネットワーク設定]	71
[ネットワークコントロール]	71
[ネットワークステータス]	71
ネットワーク接続	72
WEB ブラウザーからのアクセスのしかた	73

点検と部品交換

ランプ / 温度 / フィルターインジケータ	85
インジケータが点灯したら	85
お手入れ / 部品交換	87
お手入れ / 部品交換の前に	87
お手入れ	87
部品交換	88
故障かな!?	91

その他



付録	93
PJLink プロトコルを使用する	93
LAN 経由の制御コマンドについて	94
シリアル端子について	96
リモート 2 入力端子について	98
2画面表示組み合わせ一覧表 (PT-DW730のみ)	99
メニューロックパスワードについて	99
対応信号リスト	100
仕様	102
外形寸法図	104
天つり金具取り付け時の注意事項	104
保証とアフターサービス	105
保証書 (別添付)	105
補修用性能部品の保有期間	105
修理のご依頼について	105
さくいん	106

安全上のご注意



必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。






■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

電源について

異常・故障時には直ちに使用を中止する

 電源プラグを抜く	<p>■ 異常があったときは、電源プラグを抜く</p> <p>〔内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音が発生したとき〕</p> <p>(そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。)</p> <p>⇒ 異常の際、電源プラグをすぐに抜けるように、コンセントを本機の近くに取り付けるか、配線用遮断装置を容易に手が届く位置に設置してください。</p> <p>⇒ 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。</p> <p>⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ 電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）は、根元まで確実に差し込む</p> <p>(差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因になります。)</p> <p>⇒ 傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。</p>
	<p>■ 電源プラグのほこりなどは、定期的にとる</p> <p>(プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。)</p> <p>⇒ 半年に一度はプラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。</p>
	<p>■ 電源コード・プラグが破損するようなことはしない</p> <p>〔傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど〕</p> <p>(傷んだまま使用すると、火災や感電、ショートの原因になります。)</p> <p>⇒ 電源コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない</p> <p>(たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 付属の電源コード以外は使用しない</p> <p>(付属の電源コードを使い、コンセント側でアースを取らないと感電の原因になります。)</p>
 ぬれ手禁止	<p>■ ぬれた手で電源プラグや電源コネクターに触れない</p> <p>(感電の原因になります。)</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない</p> <p>(感電の原因になります。)</p>



警告 (つづき)

ご使用・設置について



- **放熱を妨げない**
 [布や紙などの上に置かない (吸気口に吸着する場合があります)、風通しが悪く狭い所に押し込まない]
 (内部が高温になり、火災の原因になることがあります。)
 ⇒ 吸排気を妨げないよう、周辺の壁やものから 50 cm 以上離して設置してください。
- **排気口には手やものを近づけない**
 [手や顔を近づけない、指を入れない、熱に弱いものを近くに置かない]
 (排気口からは熱風がでているため、やけどやけが、変形の原因になります。)
- **カーペットやスポンジマットなどのやわらかい面の上で本機を使用しない**
 (内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。)
- **湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない**
 (火災や感電の原因になることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置の場合に落下するおそれがあります。)
- **荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない**
 (落下などによる本機の破損・変形や、大きな事故やけがの原因になります。)
- **使用中は投写レンズをのぞかない**
 (投写レンズからは強い光がでます。中を直接のぞくと、目を痛める原因になります。)
 ⇒ 使用中に本機から離れる場合は主電源を切ってください。
 ⇒ 特にお子様にはご注意ください。
- **内部に金属類や燃えやすいものなどを入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない**
 (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。)
 ⇒ 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
 ⇒ 水などの液体が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。
 ⇒ 特にお子様にはご注意ください。
- **レンズカバーを取り付けたまま投写しない**
 (火災の原因になることがあります。)



分解禁止

- **分解や改造をしない**
 (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器の故障の原因になります。)
 ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。



警告



高圧注意

サービスマン以外の方は
 ケースをあけないでください。
 内部には高電圧部分が数多く
 あり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」



- **天井取り付け (天つり) などの設置工事は、専門の技術者または販売店に依頼する**
 (工事の不備により、落下事故の原因となります。)
- **当社で指定した天つり金具を使用する**
 (天つり金具の不備により、落下事故の原因となります。)
 ⇒ 天つり金具に付属のワイヤーで落下防止の処置を行ってください。



警告 (つづき)

付属品・消耗品について



■ ランプユニットなどの部品交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く
(電源プラグを抜かずに交換作業を行うと、感電や破裂の原因になります。)



■ ランプユニットを分解しない
(ランプ部が破裂すると、けがの原因になります。)

■ 電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない
【液が目に入ったなら目をこすらない】
(失明のおそれや、液が身体や衣服に付着した場合、皮膚の炎症やけがの原因になります。)
⇒ すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

■ 電池は誤った使い方をしない

- 指定された電池以外は使用しない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり水などの液体や火の中へ入れたりしない
- +と-を針金などで接続しない
- +と-を逆に入れない
- ネックレスやヘアピンなど金属が使用されているものと一緒に保管しない
- 新旧の電池や違う種類の電池を混ぜて使わない
- マンガン乾電池以外は使用しない
- 被覆のはがれた電池は使わない (電池には安全のために被覆がかぶせてあります。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください)
(液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。)

■ 付属の電源コードは、本機以外の機器では使用しない
(付属の電源コードを本機以外の機器で使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。)



■ ランプユニットの交換は、電源を切り、ランプが冷えてから (1 時間以上待ってから) 行う
(カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。)

■ 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す
(そのまま機器の中に放置すると、電池の液漏れや、発熱・破裂の原因になります。)



注意

電源について

<p>電源プラグを抜く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く (電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く (感電の原因になることがあります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ(コンセント側)や、電源コネクター(本体側)を持って抜く (コードを引っ張るとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因になることがあります。)

ご使用・設置について

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない (バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。また、本機の破損や変形の原因になることがあります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 異常に温度が高くなる所に置かない (外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。) ⇒ 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くには、設置・保管をしないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ レンズシフト動作中は、レンズ周辺の開口部に手を入れない (手をはさみ、けがの原因になることがあります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 移動させる場合は、必ず接続線を外す (コードの破損などにより、火災や感電の原因になることがあります。)

付属品・消耗品について

	<ul style="list-style-type: none"> ■ ランプが破裂したときは、さわったり、顔を近づけたりしない (散乱したガラス片で、けがをしたり、破裂により発生したガスを吸い込んでしまったりするおそれがあります。) ⇒ 直ちに換気を行ってください。万が一吸い込んだり、目や口に入ったりした場合は、直ちに医師にご相談ください。 ⇒ 破裂により発生したガスは、蛍光灯程度の水銀を含有しています。 ⇒ 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 古いランプユニットは使用しない 【使用時間を越えたランプユニットは使用しない】 (そのまま使用を続けると、破裂する場合があります。) ⇒ ランプユニットは消耗部品です。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出す (電池の液漏れ、発熱、発火、破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。)

お手入れについて

	<ul style="list-style-type: none"> ■ エアフィルターユニットは、ぬれたまま本体に取り付けない (感電や故障の原因になります。) ⇒ エアフィルターユニットを洗浄した後は、十分に乾燥させてから取り付けてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1年に1度は、内部の清掃を販売店に依頼する (本機の内部にほこりがたまったまま使用を続けると、火災の原因になることがあります。) ⇒ 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。 ⇒ 内部清掃費用については販売店にご相談ください。

ご使用になる前に

本機の運搬について

- 投写レンズは、振動や衝撃に対して影響を受けやすい部品です。運搬時は必ずレンズを取り外してください。
- 運搬の際は、本機の底面を持つようにし、過度の振動や衝撃を加えないようにお取り扱いください。内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- アジャスター脚を伸ばした状態で運搬しないでください。アジャスター脚が破損するおそれがあります。

本機の設置について

■ 投写レンズの取り付け後は、必ず投写レンズカバーを取り付けてください

内部にほこりがたまり、故障の原因になります。

■ 屋外に設置しないでください

本機は室内でご使用ください。

■ 以下の場所には設置しないでください

- 車両・船舶など、振動や衝撃が加わる場所：内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- エアコンの吹き出し口の近く：使用環境によっては、排気口からの熱せられた空気や、空調からの温風・冷風の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。セットの前面に自機、あるいは他機の排気や、空調からの風が回り込むような設置がないように注意してください。
- 照明器具(スタジオ用ランプなど)の近くなどの温度変化が激しい場所(“使用環境条件”(👁️ 103 ページ))：ランプの寿命などに影響を及ぼすおそれや、熱により本体が変形し、故障の原因になることがあります。
- 高圧電線や動力源の近く：妨害を受ける場合があります。
- 高出力のレーザー機器がある場所：レーザー光がレンズ面に入ると DLP チップの故障の原因になります。

■ 本機を天井に取り付ける場合は、必ず専門の技術者、または販売店にご依頼ください

別売品の天つり金具が必要です。

品番：ET-PKD56H (高天井用)、ET-PKD55S (低天井用)

■ レンズフォーカスに関して

高輝度プロジェクターのレンズは、光源からの光による熱の影響で、電源を入れた直後はフォーカスが安定しません。レンズフォーカスの調整は、映像を映した状態で 30 分以上待ってから行ってください。

■ 海拔 1 400 m 以上～ 2 700 m 未満でご使用の際は、[高地モード] を必ず [オン] に設定してください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 海拔 1 400 m 未満でご使用の際は、[高地モード] を必ず [オフ] に設定してください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 海拔 2 700 m 以上の場所に設置しないでください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 左右に傾けて使用しないでください

水平から垂直方向に 15° を超える角度に傾けた状態で使用すると、部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

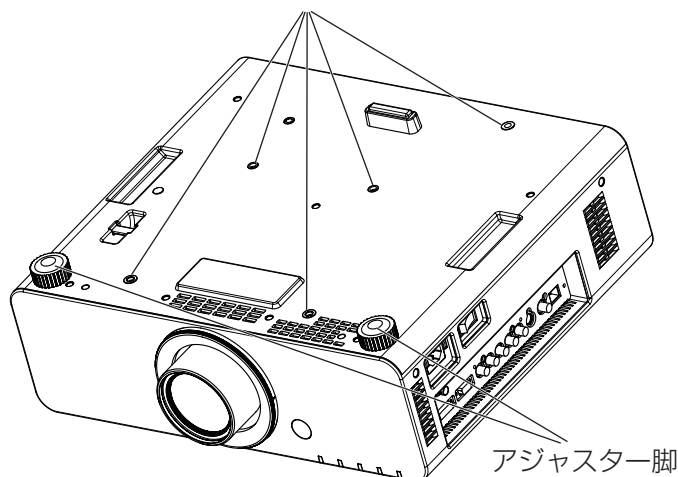
■ 垂直方向に 30° を超える角度に傾けて本機を設置して使用する場合は、[冷却条件] (👁️ 60 ページ) の設定をしてください

誤った設定のまま使用すると、部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

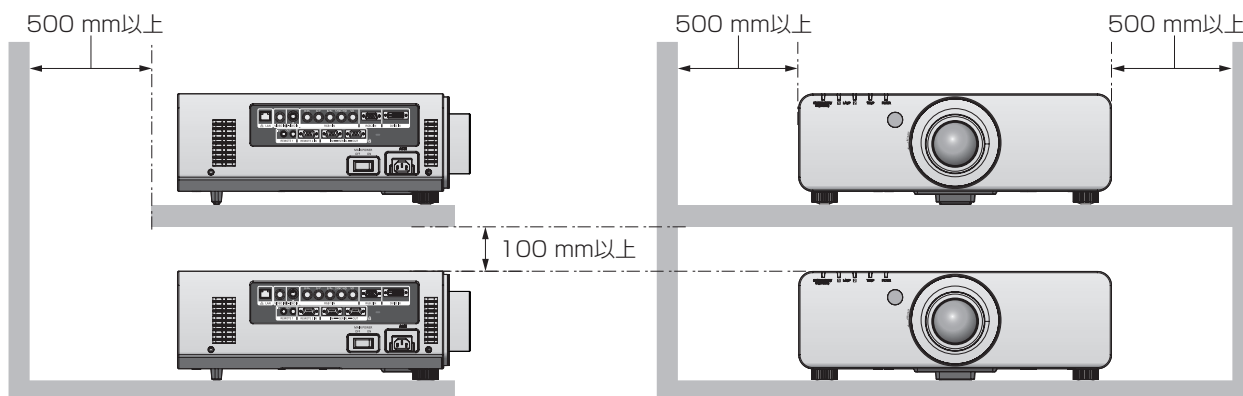
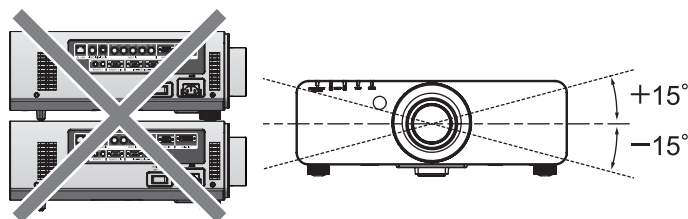
■ 設置上のご注意

- プロジェクターをアジャスター脚による床置き設置以外の方法で設置して使用する場合は、プロジェクターの固定を天井用ねじ穴 (図示) の 5 か所を使用して行ってください。
(ねじ径: M6、セット内部ねじ穴深さ: 12 mm)
- アジャスター脚は、床置き設置およびその際の角度調整にのみ使用してください。それ以外の用途で使用すると、セットが破損するおそれがあります。

天井用ねじ穴 (M6)



- 本機を積み重ねて使用しないでください。
- 水平から垂直方向に $\pm 15^\circ$ を超える角度に傾けた状態で使用しないでください。
- 本機の吸気口・排気口をふさがらないでください。
- 空調の冷風や温風が、本機の吸気口・排気口に直接当たらないように設置してください。



- 本機を密閉した空間に設置しないでください。
密閉した空間での設置が必要な場合は、別途、空調設備、換気設備を入れてください。換気が不十分な場合、排気熱が滞留することで、本機の保護回路がはたらくことがあります。
- プロジェクターと設置面との間にスペーサー (金属製) をはさむ等の方法により、プロジェクター底面と設置面との間に 20 mm 以上のすき間を空けてください。

ご使用になる前に (つづき)

セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。(☞ 68 ページ)

- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがあっても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。
- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。

廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本機の取り扱いについて

■ 美しい映像をご覧いただくために

より高いコントラストで美しい映像をご覧いただくには、適切な環境を整えてください。スクリーン面に外光や照明などの光が入らないように、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消してください。

■ 投写レンズ面は素手でさわらないでください

投写レンズ面に指紋や汚れが付着すると、それらが拡大されてスクリーンに映り、美しい映像をご覧いただくための妨げとなります。また、本機を使用しないときは、付属のレンズカバーを取り付けておいてください。

■ DLP チップについて

- DLP チップは、非常に精密度の高い技術で製造されていますが、まれに画素の欠けや、常時点灯する画素が発生する場合があります。これらの現象は故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 高出力のレーザー光がレンズ面に入ると DLP チップの故障の原因になりますので注意してください。

■ 動作中に移動させたり、振動や衝撃を与えたりしないでください

内蔵されているモーターの寿命を早めるおそれがあります。

■ ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い高圧水銀ランプを使用しています。

高圧水銀ランプには下記のような特性があります。

- 使用時間にとまなない、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃やキズ、使用時間による劣化などにより大きな音を出して破裂したり、寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがあります。特に 22 時間以上の連続使用や、頻繁な電源の切 / 入の繰り返しは、寿命に大きく影響します。
- 22 時間以上の連続使用はランプの劣化を早めます。ランプリレー機能(👁 61 ページ)を使用することで、連続使用による劣化を軽減できます。
- ごくまれに、投写開始後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を超えると破裂の可能性が高くなります。交換時期が来たらランプユニットを交換してください。(“ランプユニットの交換時期”(👁 89 ページ)、“ランプユニットの交換手順”(👁 90 ページ))
- 破裂すると、内部のガスが噴出し、煙のように見えることがあります。
- 万一来るに備え、あらかじめ交換用ランプユニットをご用意ください。

<当製品に関するソフトウェア情報>

© Panasonic Corporation 2011

この製品は、下記のソフトウェアを搭載しております。


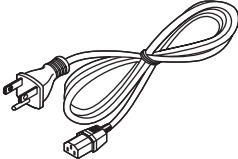

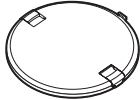
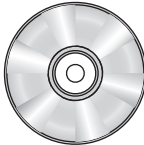
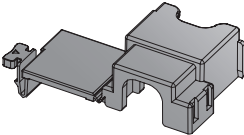
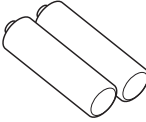
- (1) パナソニック株式会社の独自開発ソフトウェア
 - (2) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE に基づきライセンスされるソフトウェア
 - (3) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE に基づきライセンスされるソフトウェア
- (2) と (3) のソフトウェアに関するライセンス条件に関しては、CD-ROM 内のソフトウェアライセンス文 (GNU GENERAL PUBLIC LICENSE 並びに GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE) の規定をご参照ください。(なお、かかる規定は第三者による規定であるため、原文 (英文) で記載しております。)

これらのソフトウェアに関するご質問は、E メール (sav.pj.gpl.pavc@ml.jp.panasonic.com) でお問い合わせください。

ご使用になる前に (つづき)

付属品の確認

以下の付属品が入っていることを確認してください。< > は個数です。

ワイヤレス/ワイヤード リモコン<1> (N2QAYB000371)	電源コード<1> (K2CG3YY00074)	投写レンズカバー<1> (TKPB35101)	レンズカバー<1> (TKKL5244)
			 (レンズ付きモデルのみ)
CD-ROM<1> (TXFQB02VKP8)	電源コード 抜け防止カバー<1> (TTRA0184)	単3形乾電池<2>	
		 (リモコン用)	

お願い

- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。
- 付属品を紛失してしまった場合、販売店にご相談ください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。
- 小物部品については乳幼児の手の届かない所に適切に保管してください。

別売品

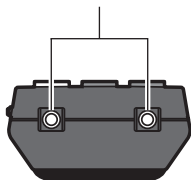
別売品 (品名)	品番
投写レンズ	ET-DLE055 (固定焦点レンズ)、ET-DLE080 (超短焦点ズームレンズ)、ET-DLE150 (短焦点ズームレンズ)、ET-DLE250 (中焦点ズームレンズ)、ET-DLE350 (長焦点ズームレンズ)、ET-DLE450 (超長焦点ズームレンズ)
天つり金具	ET-PKD56H (高天井用)、ET-PKD55S (低天井用)
交換用ランプユニット	ET-LAD60A (1灯)、ET-LAD60AW (2灯)
交換用フィルターユニット	ET-EMF300

各部の名称とはたらき

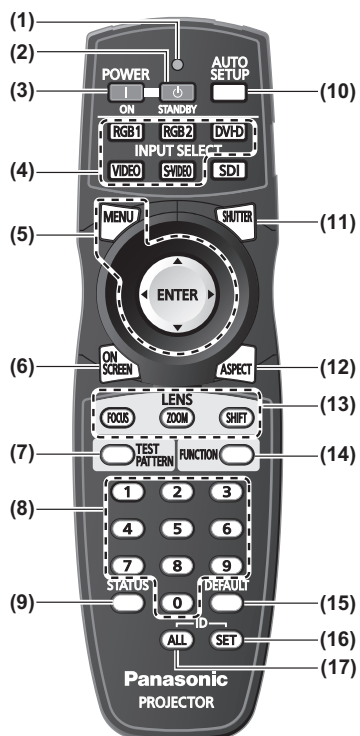
リモコン

■ 天面

リモコン発信部

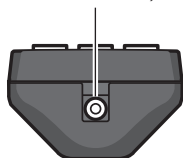


■ 正面



■ 底面

リモコンワイヤード端子
(☞ 18 ページ)



(1) リモコン操作表示ランプ

リモコンのボタンを押すと点滅します。

(2) 電源スタンバイ (ON) ボタン

本体の主電源 (MAIN POWER) スイッチが (ON) 側で投写状態のとき、本機の電源を切った状態 (スタンバイ状態) にします。

(3) 電源入 (OFF) ボタン

本体の主電源 (MAIN POWER) スイッチが (ON) 側で、電源が切れている状態 (スタンバイ状態) のとき、本機を投写状態にします。

(4) 入力切換 (RGB1)、(RGB2)、(DVI-D)、(VIDEO)、(S-VIDEO) ボタン

投写する入力信号を切り換えます。(☞ 36 ページ)

(5) (MENU) ボタン / (ENTER) ボタン / (▲▼◀▶) ボタン

メニュー画面の操作に使用します。(☞ 39 ページ)

(6) (ON SCREEN) ボタン

オンスクリーン表示機能をオン (表示) / オフ (非表示) します。(☞ 36 ページ)

(7) (TEST PATTERN) ボタン

テストパターンを表示します。(☞ 37 ページ)

(8) 数字 (0) ~ (9) ボタン

本体を複数台使用するシステム時に使用します。
ID ナンバーの入力やパスワードの入力に使用します。

(9) (STATUS) ボタン

本体の情報を表示します。

(10) (AUTO SETUP) ボタン

映像を投写中に、画面表示位置を自動調整します。
自動調整中は画面に [実行中] と表示します。(☞ 37 ページ)

(11) (SHUTTER) ボタン

映像を一時的に消したい場合に使用します。(☞ 36 ページ)

(12) (ASPECT) ボタン

映像のアスペクト比を切り換えます。(☞ 38 ページ)

(13) レンズ ((FOCUS)、(ZOOM)、(SHIFT)) ボタン

投写レンズを調整します。(☞ 32、34 ページ)

(14) (FUNCTION) ボタン

よく使う操作を割り当て、ショートカットボタンとして使用します。(☞ 37 ページ)

(15) (DEFAULT) ボタン

サブメニューの設定内容を工場出荷時の状態に戻します。(☞ 39 ページ)

(16) (ID SET) ボタン

本体を複数台使用するシステム時、リモコンの ID ナンバーを設定する場合に使用します。
(☞ 18 ページ)

(17) (ID ALL) ボタン

本体を複数台使用するシステム時、1 つのリモコンで同時制御する場合に使用します。
(☞ 18 ページ)

お願い

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを分解・修理しないでください。

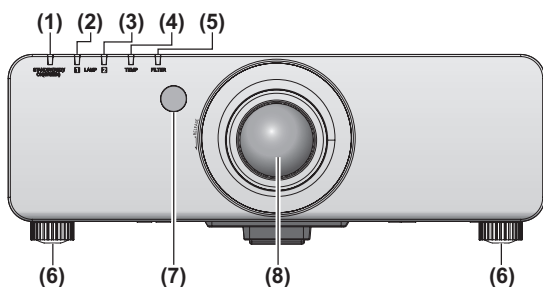
お知らせ

- 本機は (SDI) ボタンに対応していません。
- リモコンを直接本体のリモコン受信部に向けて操作する場合は、リモコン受信部正面より約 30 m 以内で操作してください。また、上下に ± 15° と左右に ± 30° まで操作可能ですが、操作可能距離が短くなる場合があります。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
リモコンからの信号を、スクリーンに反射させて本機を操作できます。しかし、スクリーン特性による光反射ロスにより、操作有効範囲に制限がでる場合があります。
- 本体のリモコン受信部に蛍光灯などの強い光が当たっていると、操作できなくなる場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

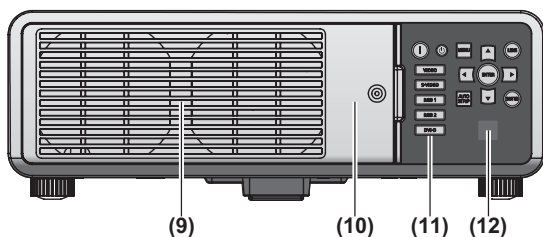
各部の名称とはたらき (つづき)

本体

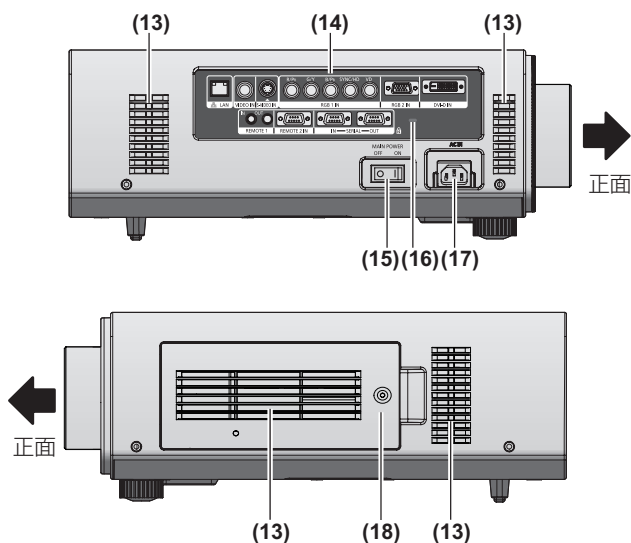
■ 前面



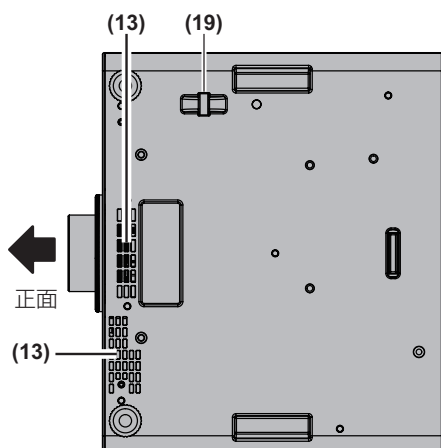
■ 後面



■ 側面



■ 底面



(1) 電源インジケータ (STANDBY (RED) / ON (GREEN))

電源の状態を表示します。

(2) ランプインジケータ (LAMP1)

ランプ 1 の状態を表示します。

(3) ランプインジケータ (LAMP2)

ランプ 2 の状態を表示します。

(4) 温度インジケータ (TEMP)

内部温度の状態を表示します。

(5) フィルターインジケータ (FILTER)

エアフィルターユニットの状態を表示します。

(6) アジャスター脚

投写角度を調整します。

(7) リモコン受信部 (前)

(8) 投写レンズ

(レンズ付きモデルのみ)

(9) 排気口

(10) ランプユニット収納扉 (☞ 90 ページ)

(11) 本体操作部 (☞ 17 ページ)

(12) リモコン受信部 (後)

(13) 吸気口

(14) 側面接続端子部 (☞ 17 ページ)

(15) 主電源 (MAIN POWER) スイッチ

主電源を切 / 入します。

(16) セキュリティスロット

このセキュリティスロットは、Kensington 社製セキュリティケーブルに対応しています。Kensington 社製セキュリティケーブルについてのお問い合わせ先は、下記のとおりです。

七陽商事株式会社 情報機器事業部

〒103-0007

東京都中央区日本橋浜町 2-55-7 ナナヨービル

Tel : 03-3663-7740

Fax : 03-3669-2367

<http://www.nanayojapan.co.jp/>

●連絡先は変更になる場合があります。ご了承ください。

(17) AC 入力端子 (AC IN)

付属の電源コードを接続します。

(18) エアフィルターカバー

内部にエアフィルターユニットがあります。

(☞ 87 ページ)

(19) セキュリティーバー

盗難防止用にワイヤーなどを取り付けることができます。



警告

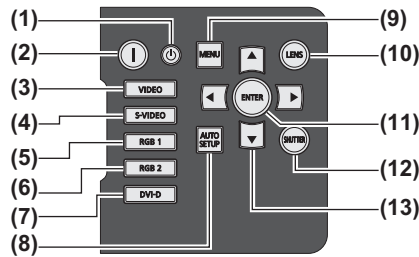
■ 排気口には手やものを近づけない



- 手や顔を近づけない。
- 指を入れない。
- 熱に弱いものを近くに置かない。

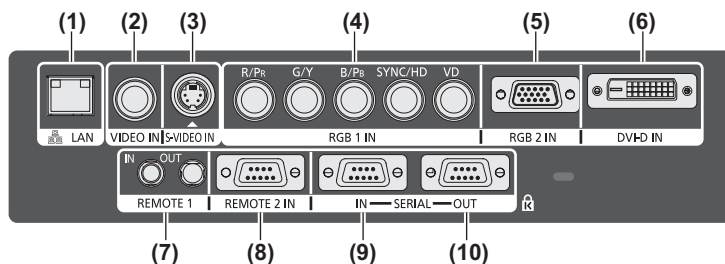
排気口からは熱風がでているため、やけど・けが・変形の原因になります。

■ 本体操作部



- (1) **電源スタンバイ (⏻) ボタン**
本体の主電源〈MAIN POWER〉スイッチが〈ON〉側で投写状態のとき、本機の電源を切った状態 (スタンバイ状態) にします。
- (2) **電源入 (⏻) ボタン**
本体の主電源〈MAIN POWER〉スイッチが〈ON〉側で、電源が切れている状態 (スタンバイ状態) のとき、本機を投写状態にします。
- (3) **〈VIDEO〉 ボタン**
VIDEO に入力を切り換えます。
- (4) **〈S-VIDEO〉 ボタン**
S-VIDEO に入力を切り換えます。
- (5) **〈RGB1〉 ボタン**
RGB 1 に入力を切り換えます。
- (6) **〈RGB2〉 ボタン**
RGB 2 に入力を切り換えます。
- (7) **〈DVI-D〉 ボタン**
DVI-D に入力を切り換えます。
- (8) **〈AUTO SETUP〉 ボタン**
映像を投写中に、画面表示位置を自動調整します。自動調整中は画面に [実行中] と表示します。(☞ 37 ページ)
- (9) **〈MENU〉 ボタン**
メインメニューを表示したり、消したりします。サブメニューが表示されているときは、1 つ前の画面に戻ります。(☞ 39 ページ)
オンスクリーン表示がオフ (非表示) の状態で、本体操作部の〈MENU〉ボタンを 3 秒以上長押しすると、オンスクリーン表示の非表示状態を解除します。
- (10) **〈LENS〉 ボタン**
レンズのフォーカス、ズーム、シフト (位置) の調整をします。
- (11) **〈ENTER〉 ボタン**
メニュー画面の項目の決定や実行をします。
- (12) **〈SHUTTER〉 ボタン**
映像を一時的に消したい場合に使用します。(☞ 36 ページ)
- (13) **▲▼◀▶ 選択ボタン**
メニュー画面の項目選択や、設定の切り換えおよびレベルの調整をします。
また、[セキュリティ] のパスワード入力にも使用します。

■ 側面接続端子部



- (1) **LAN 端子 (LAN)**
ネットワーク接続する端子です。
- (2) **VIDEO 入力端子 (VIDEO IN)**
ビデオ信号を入力する端子です。
- (3) **S-VIDEO 入力端子 (S-VIDEO IN)**
S ビデオ信号を入力する端子です。
- (4) **RGB (YPbPr) 1 入力端子 (RGB 1 IN) (〈R/Pr〉、〈G/Y〉、〈B/Pb〉、〈SYNC/HD〉、〈VD〉)**
RGB 信号または YPbPr 信号を入力する端子です。
- (5) **RGB2 入力端子 (RGB 2 IN)**
RGB 信号または YPbPr 信号を入力する端子です。
- (6) **DVI-D 入力端子 (DVI-D IN)**
DVI-D 信号を入力する端子です。
- (7) **リモート 1 入力端子 (REMOTE 1 IN) / リモート 1 出力端子 (REMOTE 1 OUT)**
本体を複数台使用するシステム時、リモコンを接続して連結制御する端子です。
- (8) **リモート 2 入力端子 (REMOTE 2 IN)**
外部制御回路を使用して本体を遠隔操作する端子です。
- (9) **シリアル入力端子 (SERIAL IN)**
コンピューターを接続して本体を外部制御するための RS-232C 準拠の入力端子です。
- (10) **シリアル出力端子 (SERIAL OUT)**
シリアル入力端子に接続されている信号を出力する端子です。

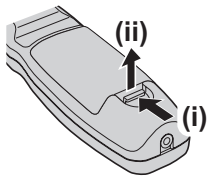
お願い

- LAN は屋内の機器に接続してください。

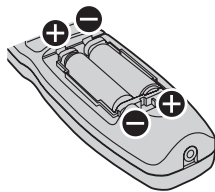
リモコンの使い方

電池を入れる、取り出す

1) ふたを開ける



2) 電池を入れ、ふたを閉じる (●側から先に入れます)



- 電池を取り出す場合は、逆の手順で行います。

リモコンの ID ナンバーを指定する

本機を複数台並べて使用する場合、それぞれの本体に個々の ID ナンバーを設定することにより、1つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。本体の ID ナンバーを設定したあと、同じ ID ナンバーをリモコンに指定してください。なお、本機の ID ナンバーは、工場出荷時、[オール]に設定されています。1台だけでご使用の場合は、リモコンの〈ID ALL〉ボタンを押してください。

■ 設定方法

- 1) リモコンの〈ID SET〉ボタンを押す
- 2) 5秒以内に、本体側で設定した2けたの ID ナンバーを、数字 (〈0〉～〈9〉) ボタンを押して設定する

お願い

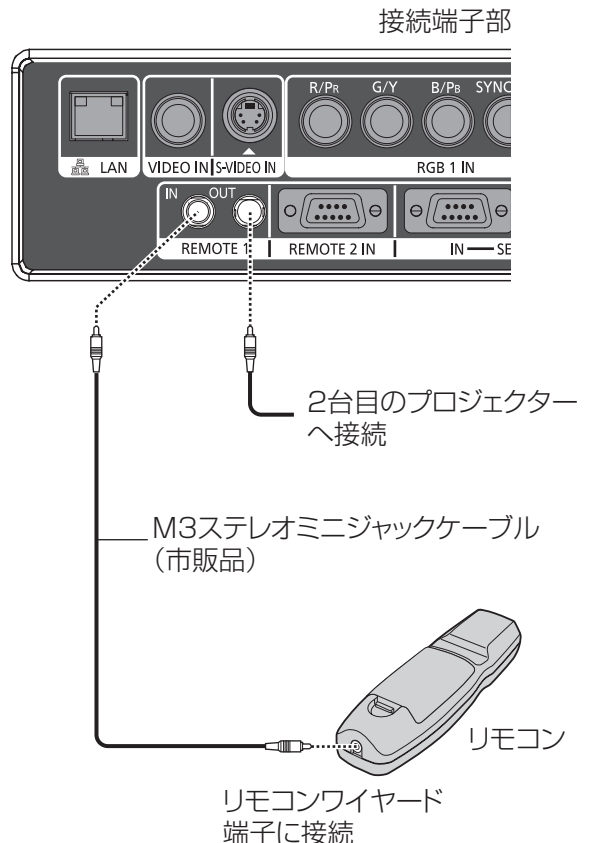
- リモコンの ID ナンバー指定は、本体がなくても可能なため、〈ID SET〉ボタンは不用意に押さないでください。〈ID SET〉ボタンを押した場合は、5秒以内に数字 (〈0〉～〈9〉) ボタンを押さないと〈ID SET〉ボタンを押す以前の ID ナンバーに戻ります。
- リモコンに入力された ID ナンバーの指定は、再度指定しない限り記憶しています。ただし、リモコンの電池が消耗したまま放置しておくで消去されます。乾電池を交換した場合は、同じ ID ナンバーを再度設定してください。

お知らせ

- 本体の ID ナンバーは、メニューの [プロジェクターセットアップ] → [プロジェクター ID] (59ページ) で設定してください。

ケーブルで本体と接続して使う

本機を複数台並べて、1つのリモコンで同時制御したい場合は、下図のように接続します。本体の〈REMOTE 1 IN〉 / 〈REMOTE 1 OUT〉端子を利用して、市販の M3 ステレオミニジャックケーブルを使用して接続します。本体とリモコンとの間に障害物がある場所や、外光の影響を受けやすい場所で使用する場合にも効果的です。



お願い

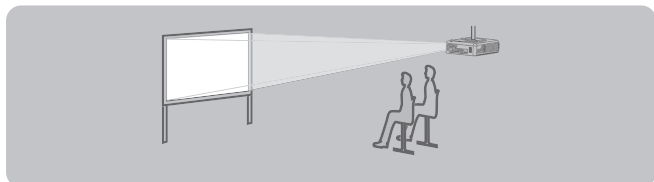
- ケーブルは長さが 15 m 以下、2 芯シールドのものを使用してください。ケーブルの長さが 15 m を超える場合や、ケーブルのシールドが不十分な場合は、動作しない場合があります。

設置する

投写方式

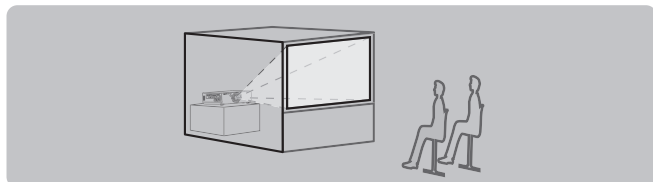
本機は、4通りの投写方式が選択できます。設置場所に応じた投写方式を選択してください。

■ 天つり設置で前方に投写する場合



メニュー項目 *1	設定値
[投写方式]	[フロント / 天つり]
[冷却条件]	[天つり設置]

■ 床置設置で後方から投写する場合 (透過式スクリーン使用)



メニュー項目 *1	設定値
[投写方式]	[リア / 床置]
[冷却条件]	[床置設置]

■ 天つり設置で後方から投写する場合 (透過式スクリーン使用)

メニュー項目 *1	設定値
[投写方式]	[リア / 天つり]
[冷却条件]	[天つり設置]

■ 床置設置で前方に投写する場合

メニュー項目 *1	設定値
[投写方式]	[フロント / 床置]
[冷却条件]	[床置設置]

*1：メニュー項目の詳細については、メニューの [プロジェクターセットアップ] → [投写方式] (👁️ 59 ページ) および [冷却条件] (👁️ 60 ページ) でご確認ください。

設置オプションについて (別売品)

別売品の天つり金具 (品番:ET-PKD56H (高天井用)、ET-PKD55S (低天井用)) を取り付けて設置できます。

- 必ず、本機専用の天つり金具をご使用ください。
- 本機の取り付けおよび設置については、天つり金具の工事説明書をご覧ください。

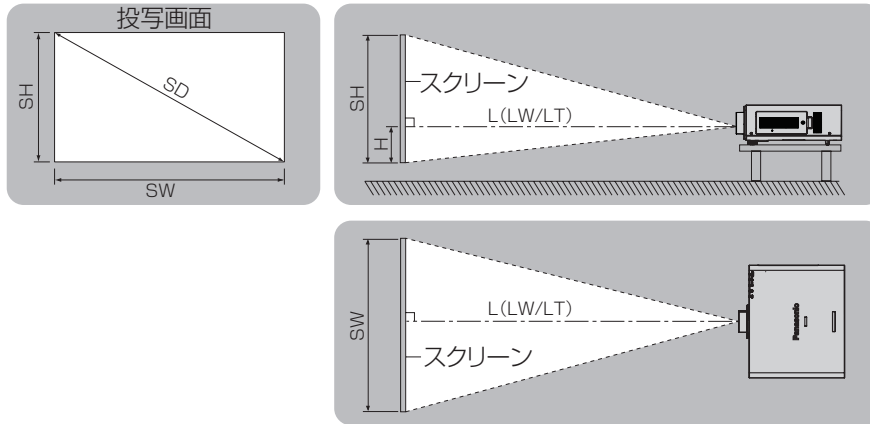
お願い

- 天つり金具の取り付け工事は、性能、安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。

設置する (つづき)

投写関係

本機の設置は、下図や投写距離を参考にして設置してください。なお、スクリーンサイズ、スクリーン位置に応じて画面サイズ、画面位置を調整できます。



L (LW/LT) *1	投写距離 (m)
SH	画像高さ (m)
SW	画像幅 (m)
H	レンズセンターから画像下端までの距離 (m)
SD	画面对角サイズ (型)

*1 : LW : ズームレンズ使用時、最短投写距離
LT : ズームレンズ使用時、最長投写距離

お願い

- 設置する前に“ご使用になる前に” (10 ~ 14 ページ) をお読みください。
- 本機と高出力のレーザー機器を同じ部屋で使用しないでください。
レーザー光がレンズ面に入ると DLP チップの故障の原因になります。

■ 投写レンズごとの投写距離 (PT-DW730 の場合)

● 画面アスペクト 16 : 10 のとき (単位 : m)
 (下記の表の寸法は若干の誤差があります。)

レンズタイプ			標準 ズームレンズ		別売品レンズ												高さ位置 (H) *2
					固定焦点 レンズ	超短焦点 ズームレンズ	短焦点 ズームレンズ	中焦点 ズームレンズ	長焦点 ズームレンズ	超長焦点 ズームレンズ							
投写レンズ品番			—		ET-DLE055	ET-DLE080	ET-DLE150	ET-DLE250	ET-DLE350	ET-DLE450							
スローレシオ *1			1.8 ~ 2.5 : 1		0.8 : 1	0.8 ~ 1.0 : 1	1.4 ~ 2.0 : 1	2.4 ~ 3.8 : 1	3.8 ~ 5.7 : 1	5.6 ~ 9.0 : 1							
投写画面サイズ			投写距離 (L)														
型 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短	最長	固定	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長
50	0.673	1.077	1.91	2.70	0.87	0.87	1.09	1.45	2.12	2.54	4.06	4.00	6.11	5.96	9.60	-0.07	~0.34
60	0.808	1.292	2.31	3.26	1.06	1.05	1.32	1.75	2.55	3.07	4.89	4.83	7.36	7.21	11.57	-0.08	~0.40
70	0.942	1.508	2.71	3.81	1.24	1.24	1.54	2.05	2.98	3.59	5.72	5.65	8.61	8.46	13.55	-0.09	~0.47
80	1.077	1.723	3.11	4.37	1.42	1.42	1.77	2.35	3.42	4.12	6.55	6.48	9.86	9.71	15.53	-0.11	~0.54
90	1.212	1.939	3.50	4.92	1.61	1.60	2.00	2.65	3.85	4.64	7.38	7.31	11.11	10.96	17.51	-0.12	~0.61
100	1.346	2.154	3.90	5.48	1.79	1.78	2.22	2.95	4.28	5.17	8.20	8.13	12.36	12.22	19.49	-0.14	~0.67
120	1.615	2.585	4.70	6.59	2.16	2.15	2.68	3.55	5.15	6.21	9.86	9.79	14.86	14.72	23.45	-0.16	~0.81
150	2.019	3.231	5.89	8.25	2.71	2.70	3.36	4.45	6.45	7.79	12.35	12.27	18.61	18.47	29.38	-0.20	~1.01
200	2.692	4.308	7.88	11.03	3.63	3.62	4.49	5.95	8.61	10.41	16.49	16.40	24.85	24.73	39.28	-0.27	~1.35
250	3.365	5.385	9.86	13.81	—	4.53	5.62	7.45	10.78	13.03	20.63	20.53	31.10	30.99	49.17	-0.34	~1.68
300	4.039	6.462	11.85	16.58	—	5.45	6.76	8.96	12.95	15.65	24.77	24.67	37.35	37.25	59.06	-0.40	~2.02
350	4.712	7.539	13.84	19.36	—	6.36	7.89	10.46	15.11	18.28	28.91	28.80	43.59	43.51	68.96	-0.47	~2.36
400	5.385	8.616	15.83	22.13	—	7.28	9.02	11.96	17.28	20.90	33.06	32.94	49.84	49.76	78.85	-0.54	~2.69
500	6.731	10.770	19.80	27.68	—	9.11	11.29	14.96	21.61	26.14	41.34	41.20	62.33	62.28	98.64	-0.67	~3.37
600	8.077	12.923	23.78	33.23	—	10.94	13.56	17.96	25.94	31.39	49.62	49.47	74.82	74.80	118.43	-0.81	~4.04

*1 : スローレシオは、投写画面サイズ 80 型投写時の値を基準にしています。

*2 : 固定焦点レンズ (品番 : ET-DLE055) を装着している場合は、レンズシフトが使用できないため、高さ位置 (H) は SH/2 になります。

● 画面アスペクト 16 : 9 のとき (単位 : m)
 (下記の表の寸法は若干の誤差があります。)

レンズタイプ			標準 ズームレンズ		別売品レンズ												高さ位置 (H) *2
					固定焦点 レンズ	超短焦点 ズームレンズ	短焦点 ズームレンズ	中焦点 ズームレンズ	長焦点 ズームレンズ	超長焦点 ズームレンズ							
投写レンズ品番			—		ET-DLE055	ET-DLE080	ET-DLE150	ET-DLE250	ET-DLE350	ET-DLE450							
スローレシオ *1			1.8 ~ 2.5 : 1		0.8 : 1	0.8 ~ 1.0 : 1	1.4 ~ 2.0 : 1	2.4 ~ 3.8 : 1	3.8 ~ 5.7 : 1	5.6 ~ 9.0 : 1							
投写画面サイズ			投写距離 (L)														
型 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短	最長	固定	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長
50	0.623	1.107	1.97	2.78	0.90	0.89	1.12	1.49	2.18	2.62	4.18	4.11	6.29	6.13	9.87	-0.14	~0.31
60	0.747	1.328	2.38	3.35	1.09	1.08	1.35	1.80	2.62	3.15	5.03	4.96	7.57	7.42	11.90	-0.16	~0.37
70	0.872	1.550	2.79	3.92	1.28	1.27	1.59	2.11	3.07	3.69	5.88	5.81	8.85	8.70	13.94	-0.19	~0.44
80	0.996	1.771	3.19	4.49	1.46	1.46	1.82	2.42	3.51	4.23	6.73	6.66	10.14	9.99	15.97	-0.22	~0.50
90	1.121	1.992	3.60	5.06	1.65	1.65	2.05	2.72	3.96	4.77	7.58	7.51	11.42	11.28	18.01	-0.25	~0.56
100	1.245	2.214	4.01	5.63	1.84	1.84	2.29	3.03	4.40	5.31	8.44	8.36	12.71	12.56	20.04	-0.27	~0.62
120	1.494	2.657	4.83	6.77	2.22	2.21	2.75	3.65	5.29	6.39	10.14	10.06	15.27	15.14	24.11	-0.33	~0.75
150	1.868	3.321	6.05	8.49	2.79	2.78	3.45	4.58	6.63	8.01	12.69	12.61	19.13	19.00	30.21	-0.41	~0.93
200	2.491	4.428	8.10	11.34	3.73	3.72	4.62	6.12	8.86	10.70	16.95	16.86	25.55	25.43	40.38	-0.55	~1.25
250	3.113	5.535	10.14	14.19	—	4.66	5.78	7.66	11.08	13.40	21.21	21.11	31.97	31.86	50.54	-0.69	~1.56
300	3.736	6.641	12.18	17.04	—	5.60	6.94	9.21	13.31	16.09	25.46	25.36	38.39	38.29	60.71	-0.82	~1.87
350	4.358	7.748	14.23	19.90	—	6.54	8.11	10.75	15.53	18.79	29.72	29.61	44.81	44.72	70.88	-0.96	~2.18
400	4.981	8.855	16.27	22.75	—	7.48	9.27	12.29	17.76	21.48	33.98	33.86	51.23	51.16	81.05	-1.10	~2.49
500	6.226	11.069	20.36	28.46	—	9.36	11.60	15.38	22.21	26.87	42.49	42.35	64.07	64.02	101.39	-1.37	~3.11
600	7.472	13.283	24.44	34.16	—	11.24	13.93	18.46	26.67	32.26	51.00	50.85	76.91	76.89	121.73	-1.64	~3.74

*1 : スローレシオは、投写画面サイズ 80 型投写時の値を基準にしています。

*2 : 固定焦点レンズ (品番 : ET-DLE055) を装着している場合は、レンズシフトが使用できないため、高さ位置 (H) は SH/2 になります。

設置する (つづき)

- 画面アスペクト 4 : 3 のとき (単位 : m)
(下記の表の寸法は若干の誤差があります。)

レンズタイプ			標準ズームレンズ		別売品レンズ												高さ位置 (H) *2
					固定焦点レンズ	超短焦点ズームレンズ	短焦点ズームレンズ	中焦点ズームレンズ	長焦点ズームレンズ	超長焦点ズームレンズ							
投写レンズ品番			—		ET-DLE055	ET-DLE080	ET-DLE150	ET-DLE250	ET-DLE350	ET-DLE450							
スローレシオ *1			2.2 ~ 3.0 : 1		1.0 : 1	1.0 ~ 1.2 : 1	1.6 ~ 2.4 : 1	2.9 ~ 4.6 : 1	4.5 ~ 6.9 : 1	6.8 ~ 10.8 : 1							
投写画面サイズ			投写距離 (L)														
型 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短	最長	固定	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長		
50	0.762	1.016	2.18	3.07	0.99	0.99	1.24	1.65	2.40	2.89	4.61	4.54	6.94	6.78	10.90	-0.08 ~ 0.38	
60	0.914	1.219	2.63	3.70	1.20	1.20	1.50	1.99	2.89	3.48	5.55	5.48	8.35	8.20	13.14	-0.09 ~ 0.46	
70	1.067	1.422	3.08	4.33	1.41	1.40	1.75	2.33	3.38	4.08	6.48	6.42	9.76	9.62	15.38	-0.11 ~ 0.53	
80	1.219	1.626	3.53	4.95	1.62	1.61	2.01	2.67	3.87	4.67	7.42	7.35	11.18	11.03	17.62	-0.12 ~ 0.61	
90	1.372	1.829	3.98	5.58	1.83	1.82	2.27	3.01	4.36	5.26	8.36	8.29	12.59	12.45	19.86	-0.14 ~ 0.69	
100	1.524	2.032	4.43	6.21	2.03	2.03	2.52	3.35	4.85	5.86	9.30	9.22	14.01	13.87	22.10	-0.15 ~ 0.76	
120	1.829	2.438	5.33	7.47	2.45	2.44	3.03	4.03	5.83	7.04	11.17	11.09	16.83	16.70	26.58	-0.18 ~ 0.91	
150	2.286	3.048	6.68	9.35	3.07	3.06	3.80	5.04	7.31	8.82	13.98	13.90	21.08	20.95	33.30	-0.23 ~ 1.14	
200	3.048	4.064	8.92	12.49	4.11	4.10	5.09	6.74	9.76	11.79	18.67	18.58	28.15	28.03	44.49	-0.31 ~ 1.52	
250	3.810	5.080	11.17	15.64	—	5.13	6.37	8.44	12.21	14.76	23.36	23.26	35.22	35.12	55.69	-0.38 ~ 1.91	
300	4.572	6.096	13.42	18.78	—	6.17	7.65	10.14	14.66	17.73	28.05	27.94	42.29	42.20	66.89	-0.46 ~ 2.29	
350	5.334	7.112	15.67	21.92	—	7.21	8.94	11.84	17.11	20.70	32.74	32.62	49.36	49.28	78.09	-0.53 ~ 2.67	
400	6.096	8.128	17.92	25.06	—	8.24	10.22	13.54	19.56	23.67	37.42	37.30	56.43	56.37	89.29	-0.61 ~ 3.05	
500	7.620	10.160	22.42	31.34	—	10.32	12.78	16.94	24.47	29.60	46.80	46.65	70.57	70.53	111.68	-0.76 ~ 3.81	
600	9.144	12.192	26.92	37.63	—	12.39	15.35	20.34	29.37	35.54	56.18	56.01	84.71	84.70	134.08	-0.91 ~ 4.57	

*1 : スローレシオは、投写画面サイズ 80 型投写時の値を基準にしています。

*2 : 固定焦点レンズ (品番 : ET-DLE055) を装着している場合は、レンズシフトが使用できないため、高さ位置 (H) は SH/2 になります。

■ 投写レンズごとの投写距離 (PT-DX800 の場合)

● 画面アスペクト 4 : 3 のとき (単位 : m)
(下記の表の寸法は若干の誤差があります。)

レンズタイプ	標準 ズームレンズ	別売品レンズ														高さ位置 (H) *2			
		固定焦点 レンズ	超短焦点 ズームレンズ	短焦点 ズームレンズ	中焦点 ズームレンズ	長焦点 ズームレンズ	超長焦点 ズームレンズ	投写距離 (L)											
投写レンズ品番	—	ET-DLE055	ET-DLE080	ET-DLE150	ET-DLE250	ET-DLE350	ET-DLE450											標準ズーム レンズ/ ET-DLE150/ ET-DLE250/ ET-DLE350/ ET-DLE450	ET-DLE080
スローレシオ *1	1.8 ~ 2.5 : 1	0.8 : 1	0.8 ~ 1.0 : 1	1.3 ~ 2.0 : 1	2.4 ~ 3.7 : 1	3.7 ~ 5.6 : 1	5.5 ~ 8.9 : 1												
投写画面サイズ																			
型 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短	最長	固定	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長		
50	0.762	1.016	1.78	2.51	0.81	0.81	1.01	1.34	1.97	2.36	3.78	3.71	5.68	5.53	8.91	0 ~ 0.38	0.08 ~ 0.38		
60	0.914	1.219	2.15	3.03	0.98	0.98	1.22	1.62	2.37	2.85	4.55	4.48	6.84	6.69	10.75	0 ~ 0.46	0.09 ~ 0.46		
70	1.067	1.422	2.52	3.55	1.15	1.15	1.43	1.90	2.77	3.34	5.32	5.25	8.01	7.86	12.60	0 ~ 0.53	0.11 ~ 0.53		
80	1.219	1.626	2.90	4.06	1.32	1.32	1.64	2.18	3.18	3.83	6.09	6.02	9.17	9.02	14.44	0 ~ 0.61	0.12 ~ 0.61		
90	1.372	1.829	3.26	4.58	1.49	1.49	1.86	2.46	3.58	4.32	6.86	6.79	10.33	10.19	16.28	0 ~ 0.69	0.14 ~ 0.69		
100	1.524	2.032	3.63	5.10	1.66	1.66	2.07	2.74	3.98	4.80	7.63	7.56	11.50	11.35	18.12	0 ~ 0.76	0.15 ~ 0.76		
120	1.829	2.438	4.37	6.13	2.01	2.00	2.49	3.30	4.79	5.78	9.18	9.10	13.82	13.68	21.81	0 ~ 0.91	0.18 ~ 0.91		
150	2.286	3.048	5.48	7.68	2.52	2.51	3.12	4.14	6.00	7.24	11.49	11.41	17.31	17.18	27.33	0 ~ 1.14	0.23 ~ 1.14		
200	3.048	4.064	7.33	10.16	3.38	3.36	4.18	5.54	8.02	9.69	15.34	15.26	23.13	23.00	36.54	0 ~ 1.52	0.31 ~ 1.52		
250	3.810	5.080	9.18	12.85	—	4.21	5.23	6.94	10.03	12.13	19.20	19.11	28.94	28.83	45.76	0 ~ 1.91	0.38 ~ 1.91		
300	4.572	6.096	11.03	15.43	—	5.07	6.29	8.33	12.05	14.57	23.06	22.96	34.76	34.66	54.97	0 ~ 2.29	0.46 ~ 2.29		
350	5.334	7.112	12.88	18.02	—	5.92	7.34	9.73	14.07	17.01	26.91	26.81	40.57	40.48	64.18	0 ~ 2.67	0.53 ~ 2.67		
400	6.096	8.128	14.73	20.60	—	6.77	8.40	11.13	16.08	19.45	30.77	30.65	46.39	46.31	73.39	0 ~ 3.05	0.61 ~ 3.05		
500	7.620	10.160	18.43	25.77	—	8.48	10.51	13.92	20.12	24.33	38.48	38.35	58.02	57.96	91.81	0 ~ 3.81	0.76 ~ 3.81		
600	9.144	12.192	22.13	30.94	—	10.18	12.62	16.72	24.15	29.22	46.19	46.05	69.65	69.61	110.23	0 ~ 4.57	0.91 ~ 4.57		

*1 : スローレシオは、投写画面サイズ 80 型投写時の値を基準にしています。

*2 : 固定焦点レンズ (品番 : ET-DLE055) を装着している場合は、レンズシフトが使用できないため、高さ位置 (H) は SH/2 になります。

● 画面アスペクト 16 : 9 のとき (単位 : m)
(下記の表の寸法は若干の誤差があります。)

レンズタイプ	標準 ズームレンズ	別売品レンズ														高さ位置 (H) *2			
		固定焦点 レンズ	超短焦点 ズームレンズ	短焦点 ズームレンズ	中焦点 ズームレンズ	長焦点 ズームレンズ	超長焦点 ズームレンズ	投写距離 (L)											
投写レンズ品番	—	ET-DLE055	ET-DLE080	ET-DLE150	ET-DLE250	ET-DLE350	ET-DLE450											標準ズーム レンズ/ ET-DLE150/ ET-DLE250/ ET-DLE350/ ET-DLE450	ET-DLE080
スローレシオ *1	1.8 ~ 2.5 : 1	0.8 : 1	0.8 ~ 1.0 : 1	1.3 ~ 2.0 : 1	2.4 ~ 3.8 : 1	3.7 ~ 5.6 : 1	5.6 ~ 8.9 : 1												
投写画面サイズ																			
型 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短	最長	固定	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長		
50	0.623	1.107	1.94	2.74	0.89	0.88	1.11	1.47	2.15	2.58	4.12	4.06	6.20	6.05	9.74	-0.21 ~ 0.31	-0.16 ~ 0.31		
60	0.747	1.328	2.35	3.31	1.07	1.07	1.34	1.77	2.59	3.11	4.96	4.90	7.47	7.32	11.74	-0.25 ~ 0.37	-0.19 ~ 0.37		
70	0.872	1.550	2.75	3.87	1.26	1.25	1.57	2.08	3.03	3.64	5.80	5.74	8.74	8.59	13.75	-0.29 ~ 0.44	-0.23 ~ 0.44		
80	0.996	1.771	3.15	4.43	1.44	1.44	1.80	2.38	3.47	4.18	6.64	6.57	10.00	9.85	15.76	-0.33 ~ 0.50	-0.26 ~ 0.50		
90	1.121	1.992	3.55	5.00	1.63	1.62	2.03	2.69	3.91	4.71	7.48	7.41	11.27	11.12	17.76	-0.37 ~ 0.56	-0.29 ~ 0.56		
100	1.245	2.214	3.96	5.56	1.82	1.81	2.26	2.99	4.34	5.24	8.32	8.25	12.54	12.39	19.77	-0.41 ~ 0.62	-0.32 ~ 0.62		
120	1.494	2.657	4.76	6.68	2.19	2.18	2.71	3.60	5.22	6.30	10.00	9.93	15.07	14.93	23.79	-0.49 ~ 0.75	-0.39 ~ 0.75		
150	1.868	3.321	5.97	8.37	2.75	2.74	3.40	4.52	6.54	7.90	12.52	12.44	18.87	18.74	29.81	-0.62 ~ 0.93	-0.49 ~ 0.93		
200	2.491	4.428	7.99	11.19	3.68	3.67	4.55	6.04	8.74	10.56	16.72	16.64	25.21	25.09	39.84	-0.82 ~ 1.25	-0.65 ~ 1.25		
250	3.113	5.535	10.01	14.00	—	4.60	5.70	7.56	10.94	13.22	20.93	20.83	31.54	31.44	49.88	-1.03 ~ 1.56	-0.81 ~ 1.56		
300	3.736	6.641	12.02	16.82	—	5.52	6.85	9.08	13.13	15.88	25.13	25.02	37.88	37.78	59.91	-1.23 ~ 1.87	-0.97 ~ 1.87		
350	4.358	7.748	14.04	19.63	—	6.45	8.00	10.61	15.33	18.54	29.33	29.22	44.22	44.13	69.95	-1.44 ~ 2.18	-1.13 ~ 2.18		
400	4.981	8.855	16.05	22.45	—	7.38	9.15	12.13	17.53	21.20	33.53	33.41	50.55	50.48	79.98	-1.64 ~ 2.49	-1.30 ~ 2.49		
500	6.226	11.069	20.09	28.08	—	9.24	11.45	15.18	21.92	26.52	41.93	41.79	63.22	63.17	100.05	-2.06 ~ 3.11	-1.62 ~ 3.11		
600	7.472	13.283	24.12	33.71	—	11.10	13.75	18.22	26.31	31.84	50.33	50.18	75.89	75.87	120.12	-2.47 ~ 3.74	-1.94 ~ 3.74		

*1 : スローレシオは、投写画面サイズ 80 型投写時の値を基準にしています。

*2 : 固定焦点レンズ (品番 : ET-DLE055) を装着している場合は、レンズシフトが使用できないため、高さ位置 (H) は SH/2 になります。

■ 投写レンズ別投写距離計算式 (PT-DW730 の場合)

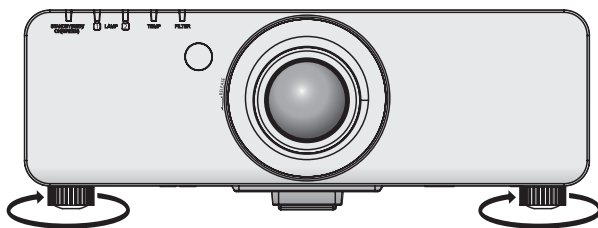
レンズタイプ		アスペクト比	投写距離 (L) 計算式	
標準ズームレンズ	—	16:10	最短 (LW)	$L=0.0398 \times SD - 0.0746$
			最長 (LT)	$L=0.0555 \times SD - 0.0725$
		16:9	最短 (LW)	$L=0.0409 \times SD - 0.0746$
			最長 (LT)	$L=0.0571 \times SD - 0.0725$
		4:3	最短 (LW)	$L=0.0450 \times SD - 0.0746$
			最長 (LT)	$L=0.0628 \times SD - 0.0725$
固定焦点レンズ	品番: ET-DLE055	16:10	—	$L=0.0184 \times SD - 0.0476$
		16:9	—	$L=0.0189 \times SD - 0.0476$
		4:3	—	$L=0.0208 \times SD - 0.0476$
超短焦点ズームレンズ	品番: ET-DLE080	16:10	最短 (LW)	$L=0.0183 \times SD - 0.0471$
			最長 (LT)	$L=0.0227 \times SD - 0.0442$
		16:9	最短 (LW)	$L=0.0188 \times SD - 0.0471$
			最長 (LT)	$L=0.0233 \times SD - 0.0442$
		4:3	最短 (LW)	$L=0.0207 \times SD - 0.0471$
			最長 (LT)	$L=0.0257 \times SD - 0.0442$
短焦点ズームレンズ	品番: ET-DLE150	16:10	最短 (LW)	$L=0.0300 \times SD - 0.0540$
			最長 (LT)	$L=0.0433 \times SD - 0.0498$
		16:9	最短 (LW)	$L=0.0309 \times SD - 0.0540$
			最長 (LT)	$L=0.0445 \times SD - 0.0498$
		4:3	最短 (LW)	$L=0.0340 \times SD - 0.0540$
			最長 (LT)	$L=0.0490 \times SD - 0.0498$
中焦点ズームレンズ	品番: ET-DLE250	16:10	最短 (LW)	$L=0.0524 \times SD - 0.0800$
			最長 (LT)	$L=0.0828 \times SD - 0.0792$
		16:9	最短 (LW)	$L=0.0539 \times SD - 0.0800$
			最長 (LT)	$L=0.0851 \times SD - 0.0792$
		4:3	最短 (LW)	$L=0.0594 \times SD - 0.0800$
			最長 (LT)	$L=0.0938 \times SD - 0.0792$
長焦点ズームレンズ	品番: ET-DLE350	16:10	最短 (LW)	$L=0.0827 \times SD - 0.1351$
			最長 (LT)	$L=0.1249 \times SD - 0.1346$
		16:9	最短 (LW)	$L=0.0850 \times SD - 0.1351$
			最長 (LT)	$L=0.1284 \times SD - 0.1346$
		4:3	最短 (LW)	$L=0.0936 \times SD - 0.1351$
			最長 (LT)	$L=0.1414 \times SD - 0.1346$
超長焦点ズームレンズ	品番: ET-DLE450	16:10	最短 (LW)	$L=0.1252 \times SD - 0.3017$
			最長 (LT)	$L=0.1979 \times SD - 0.2991$
		16:9	最短 (LW)	$L=0.1286 \times SD - 0.3017$
			最長 (LT)	$L=0.2034 \times SD - 0.2991$
		4:3	最短 (LW)	$L=0.1417 \times SD - 0.3017$
			最長 (LT)	$L=0.2240 \times SD - 0.2991$

■ 投写レンズ別投写距離計算式 (PT-DX800 の場合)

レンズタイプ		アスペクト比	投写距離 (L) 計算式	
標準ズームレンズ	—	4 : 3	最短 (LW)	$L=0.0370 \times SD - 0.0746$
			最長 (LT)	$L=0.0517 \times SD - 0.0725$
		16 : 9	最短 (LW)	$L=0.0403 \times SD - 0.0746$
			最長 (LT)	$L=0.0563 \times SD - 0.0725$
固定焦点レンズ	品番 : ET-DLE055	4 : 3	—	$L=0.0171 \times SD - 0.0476$
		16 : 9	—	$L=0.0186 \times SD - 0.0476$
超短焦点ズームレンズ	品番 : ET-DLE080	4 : 3	最短 (LW)	$L=0.0170 \times SD - 0.0471$
			最長 (LT)	$L=0.0211 \times SD - 0.0442$
		16 : 9	最短 (LW)	$L=0.0186 \times SD - 0.0471$
			最長 (LT)	$L=0.0230 \times SD - 0.0442$
短焦点ズームレンズ	品番 : ET-DLE150	4 : 3	最短 (LW)	$L=0.0280 \times SD - 0.0540$
			最長 (LT)	$L=0.0403 \times SD - 0.0498$
		16 : 9	最短 (LW)	$L=0.0305 \times SD - 0.0540$
			最長 (LT)	$L=0.0439 \times SD - 0.0498$
中焦点ズームレンズ	品番 : ET-DLE250	4 : 3	最短 (LW)	$L=0.0488 \times SD - 0.0800$
			最長 (LT)	$L=0.0771 \times SD - 0.0792$
		16 : 9	最短 (LW)	$L=0.0532 \times SD - 0.0800$
			最長 (LT)	$L=0.0840 \times SD - 0.0792$
長焦点ズームレンズ	品番 : ET-DLE350	4 : 3	最短 (LW)	$L=0.0770 \times SD - 0.1351$
			最長 (LT)	$L=0.1163 \times SD - 0.1346$
		16 : 9	最短 (LW)	$L=0.0839 \times SD - 0.1351$
			最長 (LT)	$L=0.1267 \times SD - 0.1346$
超長焦点ズームレンズ	品番 : ET-DLE450	4 : 3	最短 (LW)	$L=0.1165 \times SD - 0.3017$
			最長 (LT)	$L=0.1842 \times SD - 0.2991$
		16 : 9	最短 (LW)	$L=0.1270 \times SD - 0.3017$
			最長 (LT)	$L=0.2007 \times SD - 0.2991$

アジャスター脚の調整

図のように、アジャスター脚を回すと脚を伸ばすことができます。逆に回すと元に戻すことができます。(上下に投写角度を調整することができます。)



調整可能量

前面アジャスター脚: 30 mm

お願い

- ランプ点灯中は排気口から熱風が出ています。アジャスター脚を調整するときは、排気口に直接手を触れないでください。

投写レンズの取り外し / 取り付けかた

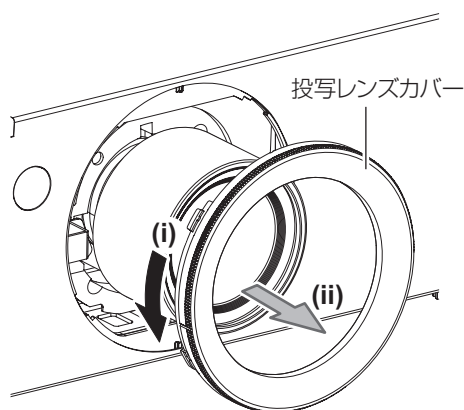
投写レンズの取り外し / 取り付けかたは、標準ズームレンズと別売品で同じです。
投写レンズの交換や取り外しの際は、あらかじめレンズ位置をホームポジションに移動させておいてください。
(👁️ 34 ページ)

お願い

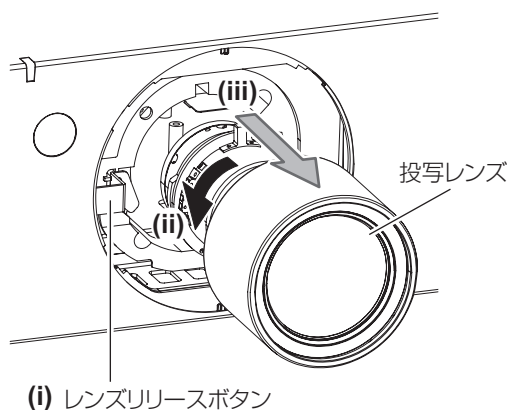
- 投写レンズの交換は本機の電源を切ってから行ってください。
- 投写レンズの信号接点には指を触れないようにしてください。ほこりや汚れなどにより、接触不良の原因となることがあります。
- レンズ面は素手でさわらないでください。
- 投写レンズを取り付ける前に、本体に付いている防塵スポンジと投写レンズに付いている本体側のレンズカバーを取り外してください。
- 超短焦点ズームレンズ（品番：ET-DLE080）の場合、投写レンズカバーの取り外し / 取り付けの順序が異なります。詳しくは、ET-DLE080 に付属の説明書をご覧ください。

投写レンズの取り外しかた

1) 投写レンズカバーを反時計方向に回し、取り外す



2) レンズリリースボタンを押しながら反時計方向に投写レンズを回しきり、投写レンズを取り出す

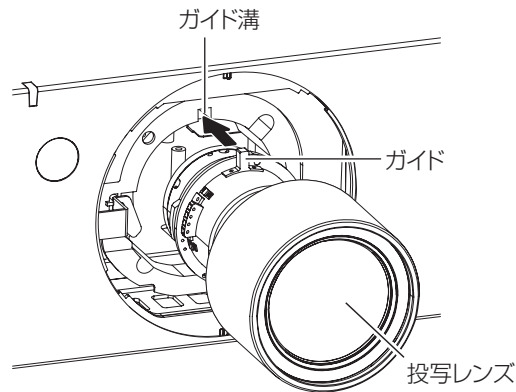


お願い

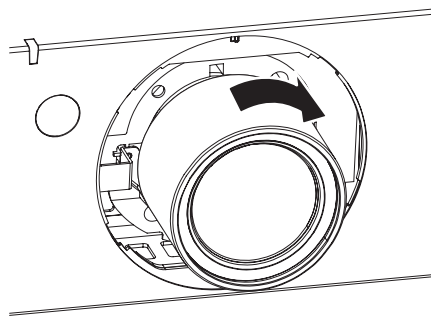
- 取り外した投写レンズは振動や衝撃を与えないように保管してください。

投写レンズの取り付けかた

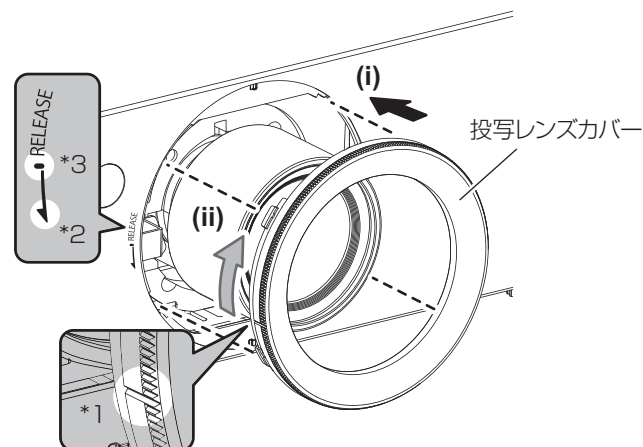
- 1) 投写レンズカバーを取り外し、投写レンズのガイドを本体のガイド溝に合わせて奥まで差し込む



- 2) 時計方向に「カチッ」と音がするまで回す



- 3) 投写レンズカバーの目印 (*1 の溝) を本体の矢印先端 (*2) に合わせて取り付け、*1 の溝が *3 の印に合うまで投写レンズカバーを回し、固定する



お願い

- 投写レンズを反時計方向に回して、抜けないことを確認してください。

接続する

接続の前に

- 接続の前に、本機と接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を切ってからケーブルの接続をしてください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、画像がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター（TBC）の接続が必要です。
- 本機に接続できる信号はビデオ信号、Sビデオ信号、アナログRGB信号（同期信号はTTLレベル）、およびデジタル信号です。
- コンピューターのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
- 各機器と本機を、長いケーブルを使用して接続する場合は、ケーブル補償器などを使用してください。本機が正常に映像を出画できないことがあります。

■〈S-VIDEO IN〉端子のピン配列と信号名

外側から見た図	ピン No.	信号名
	(1)	アース（輝度信号）
	(2)	アース（色信号）
	(3)	輝度信号
	(4)	色信号

■〈RGB 2 IN〉端子のピン配列と信号名

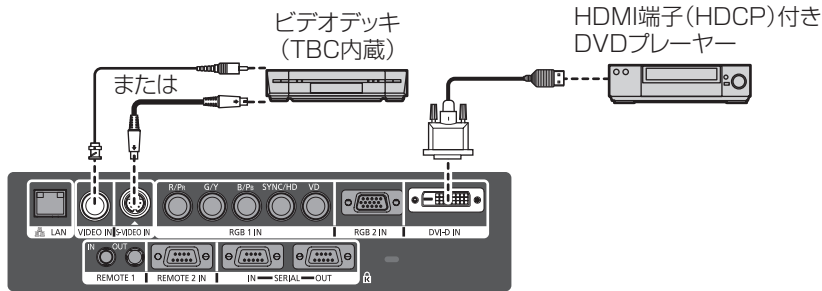
外側から見た図	ピン No.	信号名
	(1)	R/PR
	(2)	G/Y
	(3)	B/PB
	(12)	DDC データ
	(13)	SYNC/HD
	(14)	VD
	(15)	DDC クロック

(4)、(9) は未使用です。
(5)～(8)、(10)、(11) は GND 端子です。

■〈DVI-D IN〉端子のピン配列と信号名

外側から見た図	ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
	(1)	T.M.D.S データ 2-	(13)	—
	(2)	T.M.D.S データ 2+	(14)	+5 V
	(3)	T.M.D.S データ 2/4 シールド	(15)	GND
	(4)	—	(16)	ホットプラグ検出
	(5)	—	(17)	T.M.D.S データ 0-
	(6)	DDC クロック	(18)	T.M.D.S データ 0+
	(7)	DDC データ	(19)	T.M.D.S データ 0/5 シールド
	(8)	—	(20)	—
	(9)	T.M.D.S データ 1-	(21)	—
	(10)	T.M.D.S データ 1+	(22)	T.M.D.S クロック シールド
	(11)	T.M.D.S データ 1/3 シールド	(23)	T.M.D.S クロック +
	(12)	—	(24)	T.M.D.S クロック -

映像機器との接続 (例)



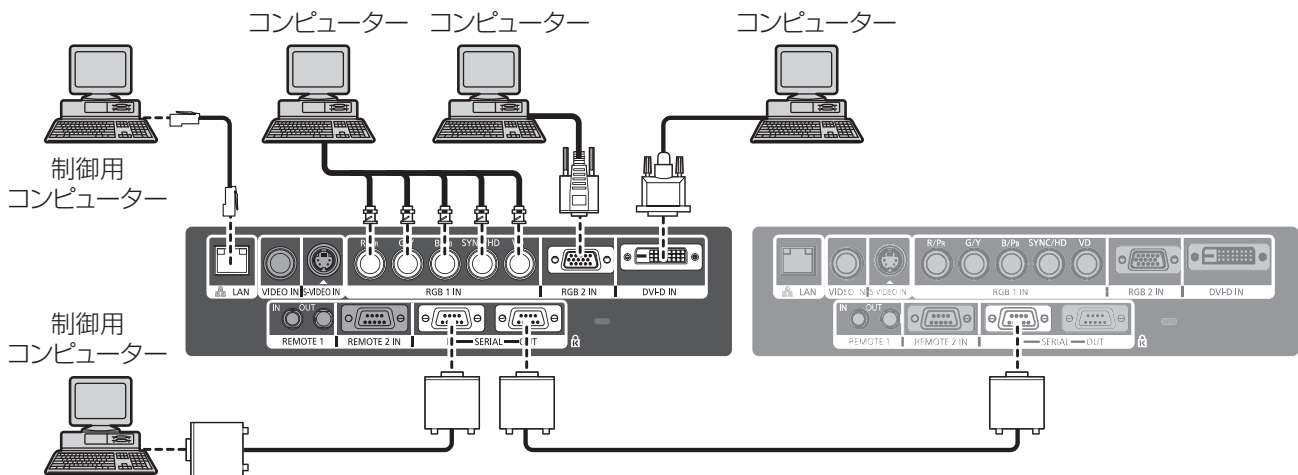
お願い

- ビデオデッキを接続するときは、必ず、次のどちらかを使用してください。
 - タイムベースコレクター (TBC) 内蔵のビデオデッキを使用する
 - 本機とビデオデッキの間にタイムベースコレクター (TBC) を使用する
- バースト信号が非標準の信号を接続すると、映像が乱れる場合があります。その場合は、本機との間にタイムベースコレクター (TBC) を接続してください。

お知らせ

- 〈DVI-D IN〉端子は、HDMI および DVI-D 対応機器との接続ができます。ただし、一部の機器では映像が出ないなど、正常に表示しない場合があります。(👉 56 ページ)
- HDMI 対応の機器を接続する場合は、HDMI-DVI-D 変換ケーブルが必要です。
- DVI-D 入力時は、接続する機器によって EDID 設定が必要になることがあります。(👉 56 ページ)

コンピューターとの接続 (例)



お知らせ

- 〈DVI-D IN〉端子はシングルリンクのみ対応しています。
- 本機が投写できるコンピューターからのRGB信号は、“対応信号リスト”(👉 100 ページ)を参照してください。
- レジューム機能 (ラストメモリー) を持つコンピューターを使用して本機を動作させるには、レジューム機能のリセットが必要になることがあります。
- SYNC ON GREEN 信号入力時には 〈SYNC/HD〉端子、〈VD〉端子へ同期信号を入力しないでください。
- DVI-D 入力時は、接続する機器によって EDID 設定が必要になることがあります。(👉 56 ページ)

注意

コンピューターや外部機器に接続する際、各々の機器に付属の電源コードとシールドされた市販のケーブルを使用してください。

電源を入れる / 切る

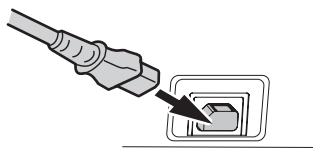
電源コードを接続する

電源コードの抜けを防止するため、付属の電源コード抜け防止カバーで電源コードと本体を必ず固定してください。

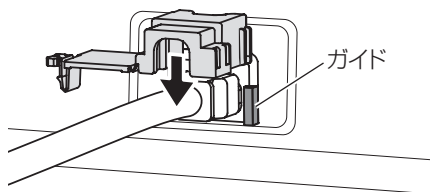
主電源(MAIN POWER)スイッチが<OFF>側になっていることを確認してから、電源コードを接続してください。

■取り付けかた

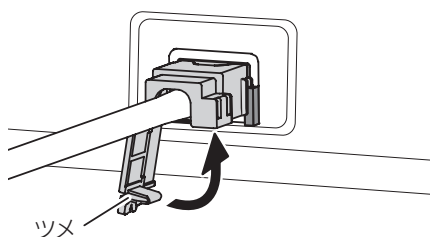
- 1) 本体側面の AC 入力端子 (AC IN) と電源コードのコネクターの形状を確認し、向きを合わせてしっかりと奥まで差し込む



- 2) 本体の AC 入力端子 (AC IN) の上からガイドに沿って、電源コード抜け防止カバーを取り付ける



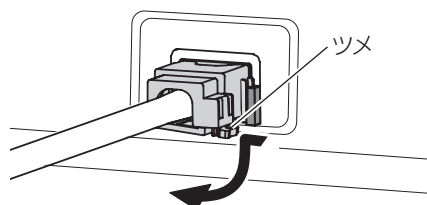
- 3) 電源コード抜け防止カバーのツメがカチッと音がするまで押し込み、取り付ける



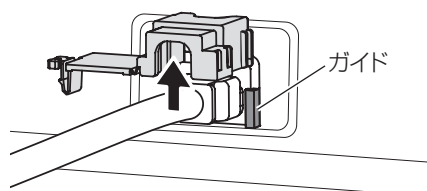
- 4) 電源プラグをコンセントに差し込む

■取り外しかた

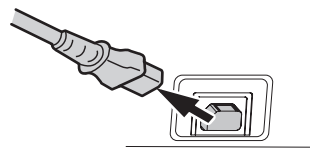
- 1) 本体側面の主電源 (MAIN POWER) スイッチが <OFF> 側になっていることを確認し、コンセントから電源プラグを抜く
- 2) 電源コード抜け防止カバーのツメを押し下げて外す



- 3) 電源コード抜け防止カバーを本体の AC 入力端子 (AC IN) のガイドに沿って上に取り外す



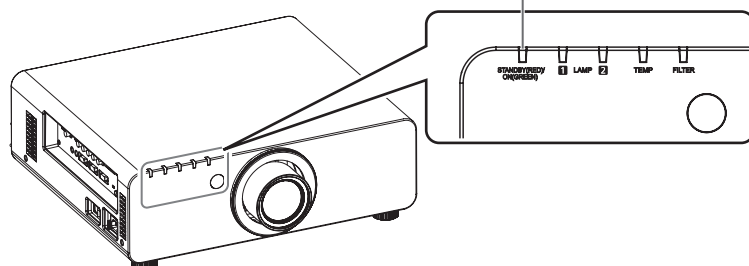
- 4) 本体の AC 入力端子 (AC IN) から電源コードのコネクターを抜く



電源インジケータについて

電源の状態を表示します。電源インジケータ〈STANDBY (RED) / ON (GREEN)〉の状態をよく確認し、操作してください。

電源インジケータ〈STANDBY (RED) / ON (GREEN)〉

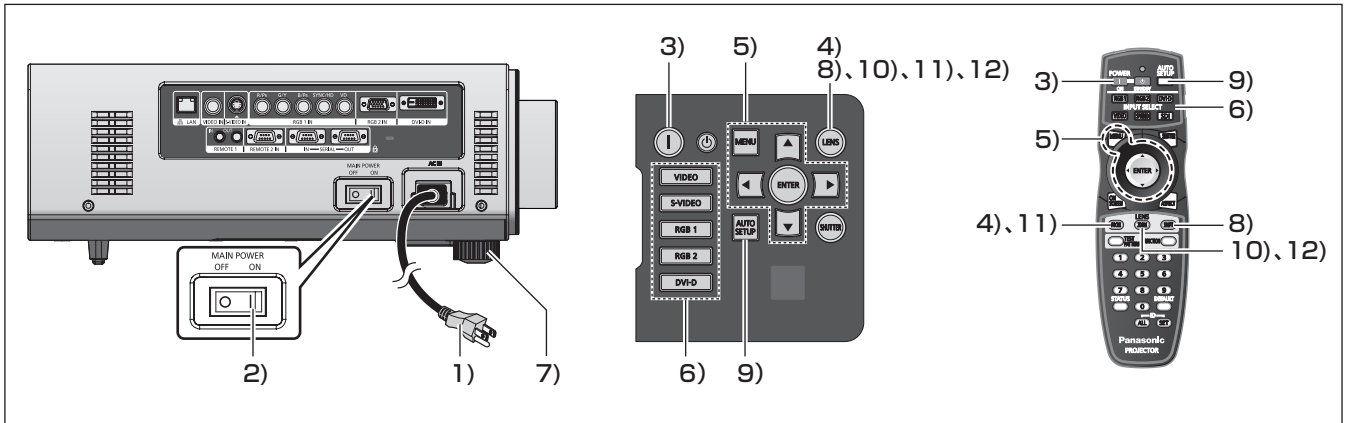


点灯状況		本機の状態
消灯	消灯	主電源が切れています。
赤色	点灯	電源が切れています。(スタンバイ状態です) ●電源入〈I〉ボタンを押すと、本機は投写を開始します。 ランプインジケータ〈LAMP1〉/〈LAMP2〉、温度インジケータ〈TEMP〉点滅時は動作しないことがあります。(85 ページ)
緑色	点灯	投写状態です。
オレンジ色	点灯	電源を切る準備をしています。 しばらくすると、電源が切れます。(スタンバイ状態になります。)

お知らせ

- 電源インジケータ〈STANDBY (RED) / ON (GREEN)〉がオレンジ色に点灯中は、ファンが回転し、本機を冷却しています。
- スタンバイ状態(電源インジケータ〈STANDBY (RED) / ON (GREEN)〉が赤色に点灯中)でも、電力を消費しています。

電源を入れる / 切る (つづき)



電源を入れる

別売品の投写レンズをご使用の場合は、電源を入れる前に投写レンズを取り付けてください。(☞ 27 ページ)

あらかじめレンズカバーを取り外してください。

1) 電源プラグをコンセントに接続する (AC100 V 50 Hz/60 Hz)

2) 主電源〈MAIN POWER〉スイッチの〈ON〉側を押して電源を入れる

- 電源インジケータ〈STANDBY (RED) / ON (GREEN)〉が赤色に点灯してスタンバイ状態になります。

3) 電源入〈I〉ボタンを押す

- 電源インジケータ〈STANDBY (RED) / ON (GREEN)〉が緑色に点灯し、しばらくすると映像が投写されます。

お知らせ

- 0°C付近で電源を入れた場合、出画までに5分程度のウォームアップ時間が必要なことがあります。ウォームアップ中は温度インジケータ〈TEMP〉が点灯します。ウォームアップが完了すると温度インジケータ〈TEMP〉が消灯し、映像を投写します。インジケータによる状態表示については、「インジケータが点灯したら」(☞ 85 ページ)をご覧ください。
- 使用環境温度が低く、ウォームアップ時間が5分を超える場合は異常とみなし、自動的に電源をスタンバイ状態にします。この場合は使用環境温度を0°C以上にし、再度主電源を切った後、電源を入れる操作をやり直してください。
- メニューの [プロジェクターセットアップ] → [スタンバイモード] (☞ 61 ページ) を [エコ] に設定した場合、[ノーマル] 設定時と比べて、電源を入れたときの出画が約10秒遅くなる場合があります。
- 前回使用時にダイレクトパワーオフ機能を使用して、投写中に主電源〈MAIN POWER〉スイッチを〈OFF〉にして終了した場合は、電源プラグをコンセントに接続した状態で主電源〈MAIN POWER〉スイッチを〈ON〉にすると、しばらくして電源インジケータ〈STANDBY (RED) / ON (GREEN)〉が緑色に点灯し、映像が投写されます。

調整・選択をする

フォーカス調整は、映像を映した状態で30分以上経過したのちに行うことをお勧めします。

4) 〈FOCUS〉ボタンを押して、画像のフォーカスをおおまかに合わせる(☞ 34 ページ)

5) メニューの [投写方式] (☞ 59 ページ) と [冷却条件] (☞ 60 ページ) で、投写方式を設定する

- メニューの操作については、「メニュー画面の操作方法」(☞ 39 ページ) をご覧ください。

6) 入力切替 (〈RGB1〉、〈RGB2〉、〈DVI-D〉、〈VIDEO〉、〈S-VIDEO〉) ボタンを押して入力信号を選択する (☞ 36 ページ)

7) 本体の前後左右の傾きをアジャスター脚で調整する (☞ 25 ページ)

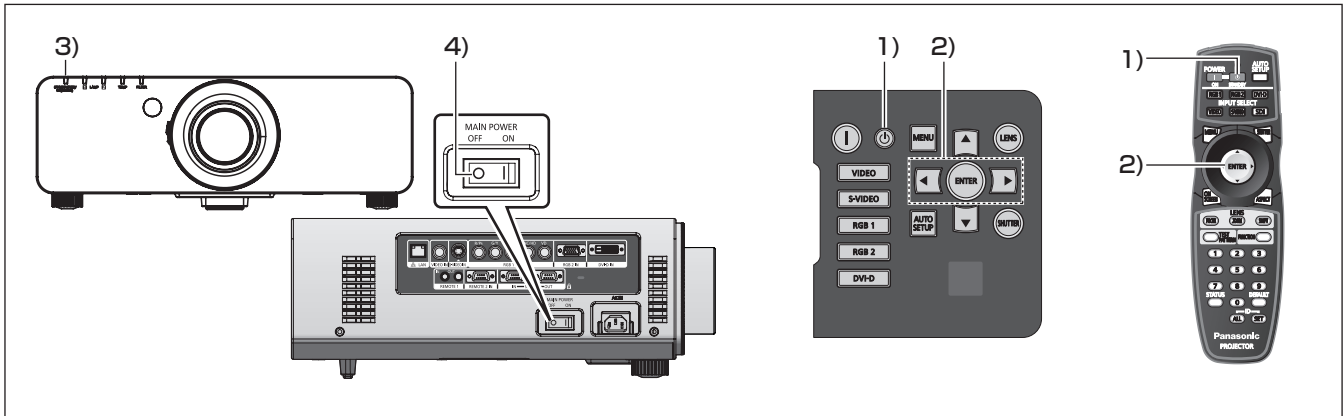
8) 〈SHIFT〉ボタンを押して画像の位置を調整する (☞ 34 ページ)

9) 入力信号がRGB信号の場合は〈AUTO SETUP〉ボタンを押す (☞ 37 ページ)

10) 〈ZOOM〉ボタンを押して、画像の大きさをスクリーンに合わせる(☞ 34 ページ)

11) 再度、〈FOCUS〉ボタンでフォーカスを調整する

12) 再度、〈ZOOM〉ボタンでズームを調整して画像の大きさをスクリーンに合わせる



電源を切る

- 1) 電源スタンバイ (⏻) ボタンを押す
- 2) ◀▶ ボタンで [実行] を選び、(ENTER) ボタンを押す
(または、電源スタンバイ (⏻) ボタンを再度押す)
 - 映像の投写が停止し、本体の電源インジケータ (STANDBY (RED) / ON (GREEN)) がオレンジ色に点灯します。
(ファンは回転したままです。)
- 3) 本体の電源インジケータ (STANDBY (RED) / ON (GREEN)) が赤色に点灯 (ファンが停止) するまで待つ
- 4) 主電源 (MAIN POWER) スイッチの (OFF) 側を押して電源を切る

お知らせ

- 電源を切ったあと、すぐに電源を入れないください。
電源を切ったあとの光源ランプ冷却中に電源を入れても点灯しないことがあります。この場合は光源ランプがスタンバイ状態になってから、再度電源を入れ直してください。ランプの温度が高い状態で電源を入れるとランプの寿命を早めるおそれがあります。
- 本体の主電源が入ったまま、リモコンで電源を切った場合、約 8 W の電力を消費します。
([スタンバイモード] を [ノーマル] に設定時)
メニューの [スタンバイモード] (👉 61 ページ) の設定を [エコ] にした場合、スタンバイ時の消費電力を節約できます。




ダイレクトパワーオフ機能

投写中や光源ランプ消灯直後に主電源 (MAIN POWER) スイッチを (OFF) にしても、内部に蓄えられた電力によりファンが動作し、光源ランプを冷却します。天つり設置など、プロジェクターの主電源 (MAIN POWER) スイッチを容易に (OFF) にできない環境でも、直接電源ブレーカーで電源を落とすことができます。また、万一停電になった場合や電源を切った直後に電源コードを抜いてしまった場合でも安心です。

お知らせ

- 前回使用時に、投写中に直接電源ブレーカーで電源を落として終了した場合は、電源ブレーカーを入れるとしばらくして電源インジケータ (STANDBY (RED) / ON (GREEN)) が緑色に点灯し、映像投写へと移行します。
- ダイレクトパワーオフで冷却した場合、次回電源を入れたときに、投写状態になるまで通常よりも時間がかかる場合があります。
- 運搬・保管のために梱包する場合、ファンが停止していることを確認してください。

投写する

外部機器の接続、投写レンズの取り付け（ 27 ページ）、電源コードの接続（ 30 ページ）を確認し、電源を入れる（ 32 ページ）と投写を開始します。投写する映像を選択し、映像の映り具合を調整してください。



投写する映像を選択する

映像の入力を切り換えます。

本体操作部またはリモコンの入力切換（〈RGB1〉、〈RGB2〉、〈DVI-D〉、〈VIDEO〉、〈S-VIDEO〉） ボタンを押す

- 選択した入力信号の映像が投写されます。

お願い

- 接続機器や再生する DVD、ビデオテープなどによっては、正常に映像が映らない場合があります。メニューの [映像] → [システムセクター]（ 45 ページ）で入力信号に合ったシステム方式に設定してください。
- 投写するスクリーンと映像の縦横比を確認し、メニューの [位置調整] → [アスペクト]（ 46 ページ）で最適な縦横比に切り換えてください。

フォーカス調整、ズーム調整、シフト調整のしかた

本機とスクリーンの位置関係が正しく設置された状態で、スクリーンに投写された映像や位置がずれている場合は、フォーカス、ズーム、シフトを調整してください。


■ 本体で操作する場合

- 1) 本体操作部の 〈LENS〉 ボタンを押す
 - ボタンを押すごとに、[フォーカス] [ズーム] [シフト] の順に設定画面が切り換わります。
- 2) それぞれの調整項目を選び、▲▼◀▶ ボタンで調整する

■ リモコンで操作する場合

- 1) リモコンのレンズ（〈FOCUS〉、〈ZOOM〉、〈SHIFT〉） ボタンを押す
 - 〈FOCUS〉 ボタンを押す：
フォーカス調整をします。
 - 〈ZOOM〉 ボタンを押す：
ズーム調整をします。
 - 〈SHIFT〉 ボタンを押す：
シフト調整をします。
- 2) それぞれの調整項目を選び、▲▼◀▶ ボタンで調整する

お知らせ

- ズーム機能のないレンズを使用した場合でもズーム調整メニューが表示されますが動作はしません。
- 約 3 秒以上 ▲▼◀▶ ボタンを押し続けると、速く動作させることができます。
- フォーカス調整は、映像を映した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをお勧めします。
- （フォーカスがずれて文字が判別できない状態でも）表示されているメニュー項目が色で判別できるように、[フォーカス] のみ黄色で表示されます。（工場出荷時の状態）
[フォーカス] の表示色は、メニューの [OSD デザイン]（ 57 ページ）の設定によって異なります。

レンズ位置のホームポジションへの移動のしかた

- 1) 本体操作部の 〈LENS〉 ボタンまたはリモコンの 〈SHIFT〉 ボタンを 3 秒以上押す
- 2) [ホームポジション] メニューが表示されている間に（約 5 秒） 〈ENTER〉 ボタンを押す

レンズ
ホームポジション
[ENTER] 実行
[MENU] 中止

- メニュー画面に [実行中] と表示され、レンズ位置がホームポジションに戻ります。

お願い

- レンズのホームポジションは、レンズ交換やセット収納のためのレンズ位置で、光学的な画面中央位置ではありません。

レンズ位置移動による（光学シフト）調整範囲

レンズ位置の移動は調整範囲内で行ってください。

調整範囲外へレンズ位置を移動すると、フォーカスが変わる場合がありますのでご注意ください。このような動作になるのは、光学部品の保護のためにレンズの移動を規制しているためです。光軸シフト機能により、標準投写位置を基準に下図の範囲で投写位置を調整できます。

レンズタイプ	ズームレンズ	
	標準ズームレンズ、ET-DLE150、 ET-DLE250、ET-DLE350、ET-DLE450	ET-DLE080
PT-DW730		
PT-DX800		

* 上図は、本機を床置きで設置する場合の数値です。

お知らせ

- 固定焦点レンズ（品番：ET-DLE055）を装着している場合は、シフト調整ができません。

リモコンで操作する



お知らせ

- オンスクリーン表示がオフ（非表示）の状態、本体操作部の〈MENU〉ボタンを3秒以上長押しすると、オンスクリーン表示の非表示状態を解除します。

入力信号を切り換える

投写する入力信号を切り換えることができます。



リモコンまたは本体操作部の入力切替（〈RGB1〉、〈RGB2〉、〈DVI-D〉、〈VIDEO〉、〈S-VIDEO〉）ボタンを押す

〈RGB1〉	RGB1 に入力を切り換えます。
〈RGB2〉	RGB2 に入力を切り換えます。
〈DVI-D〉	DVI-D に入力を切り換えます。
〈VIDEO〉	VIDEO に入力を切り換えます。
〈S-VIDEO〉	S-VIDEO に入力を切り換えます。

お知らせ

- 本機は〈SDI〉ボタンに対応していません。

ステータス機能を使う

本体の状態を表示します。



リモコンの〈STATUS〉ボタンを押す

- [ステータス] 画面が表示されます。

ステータス		1/3
入力	RGB2	
名前	SXGA60+-A1	
信号周波数	65.22k Hz/59.99Hz	
プロジェクター使用時間	1h	
ランプ1	11h / ON /	
ランプ2	1h / ON /	
吸気温度	31°C / 87° F	
光学モジュール温度	27°C / 80° F	
ランプ周辺温度	31°C / 87° F	

お知らせ

- メニューの [プロジェクターセットアップ] から表示させることもできます。(41 ページ)

シャッター機能を使う

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像を一時的に消すことができます。



- 1) リモコンまたは本体操作部の〈SHUTTER〉ボタンを押す
 - 映像が消えます。

- 2) 再度〈SHUTTER〉ボタンを押す
 - 映像がでます。

オンスクリーン表示機能を使う

メニューや入力端子名などのオンスクリーン表示を視聴者に見せたくない場合に、オンスクリーン表示機能をオフ（非表示）にします。



- 1) リモコンの〈ON SCREEN〉ボタンを押す
 - オンスクリーン表示が消えます。
- 2) 再度〈ON SCREEN〉ボタンを押す
 - オンスクリーン表示がでます。

オートセットアップ機能を使う

コンピューター信号のようなドット構成されたアナログ RGB 信号入力時の解像度、クロックフェーズ、映像位置、または DVI-D 信号入力時の映像位置を自動で調整できます。(DVD プレーヤーの出力信号のような動画フォーマットの信号ではオートセットアップは動作しません。) 自動調整時は、最外郭が明るい白枠で、白黒がはっきりしたキャラクター文字などを含む画像を入力することをお勧めします。写真や CG のような中間調を含む画像は適しません。



リモコンまたは本体操作部の〈AUTO SETUP〉ボタンを押す

- 正常に終了した場合は「正常終了」と表示されます。

お知らせ

- 正常終了した場合でもクロックフェーズがずれることがあります。このときは、メニューの「位置調整」→「クロックフェーズ」(☞ 48 ページ)で調整してください。
- 画面の端がわからないような画像や暗い画像を入力すると、「異常終了」となったり、「正常終了」と表示されても正しく調整できていなかったりすることがあります。このときは、メニューの「アドバンスドメニュー」→「入力解像度」(☞ 50 ページ)、「位置調整」→「クロックフェーズ」(☞ 48 ページ)、「シフト」(☞ 46 ページ)の設定を調整してください。
- 特殊な信号は、メニューの「表示オプション」→「自動調整」(☞ 55 ページ)に従って調整してください。
- コンピューターの機種によっては自動調整できない場合があります。
- コンポジットシンクや SYNC ON GREEN の同期信号では自動調整できない場合があります。
- 自動調整中、数秒間画像が乱れる場合がありますが、異常ではありません。
- 入力信号ごとに調整が必要です。
- 自動調整中に〈MENU〉ボタンを押すと、自動調整を取り消すことができます。
- オートセットアップが可能な RGB 信号であっても、動画映像が入力されている状態で、オートセットアップ機能を使用した場合、正常に調整できていないことがあります。「異常終了」と表示されるか、「正常終了」と表示されても正常に調整できていないことがあります。

ファンクションボタンを使う

リモコンの〈FUNCTION〉ボタンに「無効」、「サブメモリー」、「システムセクター」、「システムデライトビュー」、「フリーズ」、「2 画面」を割り当てることで、簡単なショートカットボタンとして使用できます。

FUNCTION ボタン

リモコンの〈FUNCTION〉ボタンを押す

お知らせ

- 「2 画面」は PT-DW730 のみ設定ができます。
- ボタンの割り当ては、メニューの「プロジェクターセットアップ」→「ファンクションボタン」(☞ 63 ページ)で行います。

内蔵テストパターンを表示する

セットの状態を確認するために、9 種類の内蔵テストパターンを表示させることができます。テストパターンを表示させる場合は、次の手順で操作してください。

TEST PATTERN ボタン

1) リモコンの〈TEST PATTERN〉ボタンを押す

2) ◀▶ ボタンでテストパターンを選択する

お知らせ

- メニューの「テストパターン」(☞ 65 ページ)でも設定できます。
- 位置、サイズなどの設定内容はテストパターンには反映されません。必ず入力信号を表示させた状態で各種調整を行ってください。

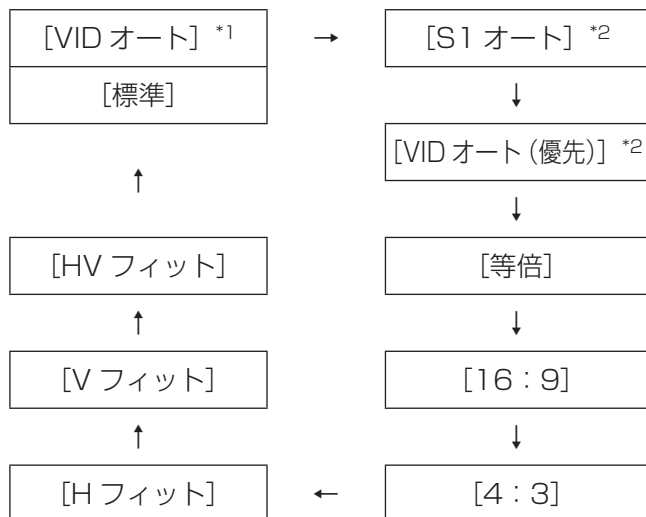
映像の縦横比を切り換える

入力に応じて映像の縦横比（アスペクト比）を切り換えることができます。



リモコンの〈ASPECT〉ボタンを押す

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



*1 : VIDEO、S-VIDEO (NTSC) 入力時のみ

*2 : S-VIDEO (NTSC) 入力時のみ

お知らせ

- 入力信号によっては、選択できないアスペクトモードがあります。
詳しくは、“[アスペクト]” (👁️ 46 ページ) をご覧ください。

オンスクリーンメニューについて

本機の各種設定や調整は、オンスクリーンメニュー（メニュー画面）を使用します。

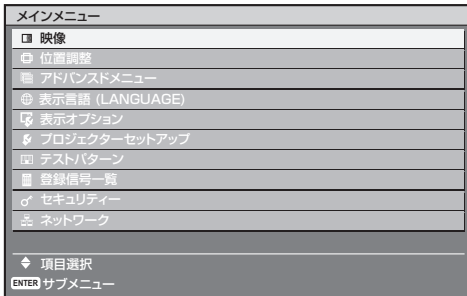
メニュー画面の操作方法

■ 操作の手順

MENU ボタン

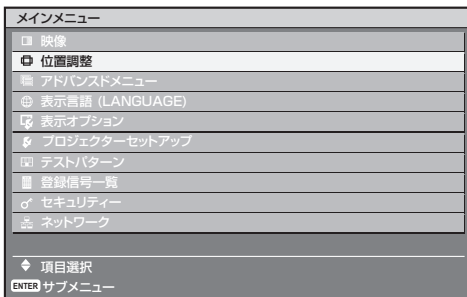
1) リモコンまたは本体操作部の〈MENU〉ボタンを押す

- [メインメニュー] 画面が表示されます。



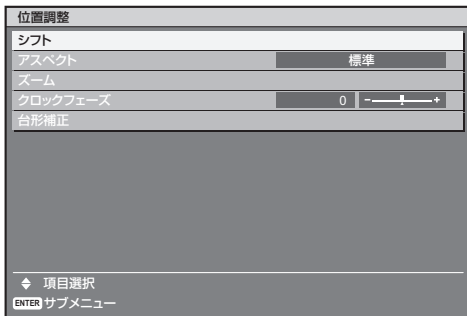
2) ▲▼ボタンを押してメインメニュー項目を選ぶ

- 選択中の項目は黄色のカーソルで表示されます。



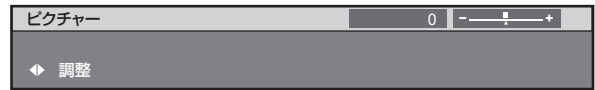
3) 〈ENTER〉ボタンを押す

- 選択したメインメニューのサブメニューが表示されます。



4) ▲▼ボタンを押してサブメニュー項目を選択し、◀▶ボタンを押して設定の切り換えや調整を行う

- 項目によっては◀▶ボタンを押すと、下図のようなバースケールの個別調整画面が表示されます。



お知らせ

- メニュー画面を表示中、〈MENU〉ボタンを押すと、1つ上の階層のメニュー画面に戻ります。
- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目が灰色文字で表示され、項目は選択できません。
- 信号が入力されていない場合でも、調整できるものがあります。
- 約5秒間何も操作せずに放置していると、個別調整画面は自動で消えます。（一部機能を除く）
- メニューの項目については“メインメニュー”（👁️ 40 ページ）や“サブメニュー”（👁️ 40～41 ページ）をご覧ください。
- 工場出荷時、選択中の項目は黄色のカーソルで表示されます。カーソルの表示色は、メニューの [OSD デザイン]（👁️ 57 ページ）の設定によって異なります。

■ 調整値を工場出荷時の状態に戻す

リモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押すと、メニュー項目で調整した値が工場出荷時の状態に戻ります。

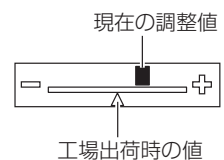
DEFAULT ボタン

リモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押す



お知らせ











- すべての設定を一度に工場出荷時の状態には戻しません。
- サブメニュー項目で調整した値を、一度に工場出荷時の状態に戻すには、メニューの [プロジェクターセットアップ] → [初期化]（👁️ 64 ページ）で行います。
- 〈DEFAULT〉ボタンを押しても、工場出荷時の状態に戻らない項目もあります。それらの項目は個別に操作してください。
- 個別調整画面のバースケールの下にある三角マークは、工場出荷時の値を示しています。また、三角マークは、入力される信号によって位置が異なります。



オンスクリーンメニューについて (つづき)

メインメニュー

メインメニューには以下の 10 項目があります。
メインメニューを選択すると、サブメニューの選択画面に移ります。

メインメニュー項目		ページ
	[映像]	40
	[位置調整]	40
	[アドバンスドメニュー]	40
	[表示言語 (LANGUAGE)]	41
	[表示オプション]	41
	[プロジェクターセットアップ]	41
	[テストパターン]	41
	[登録信号一覧]	41
	[セキュリティ]	41
	[ネットワーク]	41

サブメニュー

選択したメインメニューのサブメニューが表示され、各項目の設定・調整ができます。

■ [映像]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[映像モード]	[スタンダード] *1	42
[ピクチャー]	[0]	42
[黒レベル]	[0]	42
[色の濃さ]	[0]	42
[色あい]	[0]	43
[色温度設定]	[デフォルト]	43
[白ゲイン]	[10]	44
[システムデイルイトビュー]	[オフ] *1	44
[シャープネス]	[6]	44
[ノイズリダクション]	[1]	44
[AI]	[オン]	45
[システムセレクター]	[YPbPr] *1	45

*1：入力信号により異なります。

お知らせ

- 映像モードによって工場出荷時の値が異なる場合があります。

■ [位置調整]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[シフト]	—	46
[アスペクト]	[標準] *1	46
[ズーム]	—	47
[クロックフェーズ]	[16]	48
[台形補正]	—	48

*1：入力信号により異なります。

■ [アドバンスドメニュー]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[デジタルシネマリアリティー]	[オート] *1	49
[ブランキング]	—	49
[入力解像度]	—	50
[クランプ位置]	[0]	50
[エッジブレンド]	[オフ]	50
[ラスターポジション]	—	51

*1：入力信号により異なります。

■ [表示言語 (LANGUAGE)]

項目の詳細 (👁️ 52 ページ)

■ [表示オプション]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[カラーマッチング]	[オフ]	53
[カラーコレクション]	[オフ]	54
[コントラストモード]	[標準]	54
[スクリーン設定]	—	55
[入力自動セットアップ]	[オフ]	55
[自動調整]	—	55
[DVI-D IN]	—	56
[オンスクリーン表示]	—	56
[バックカラー]	[ブルー]	57
[スタートアップロゴ]	[デフォルト ロゴ]	58
[フリーズ]	—	58
[2画面] *1	—	58

*1 : PT-DW730 のみ。

■ [プロジェクターセットアップ]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[プロジェクターID]	[オール]	59
[投写方式]	[フロント/ 床置]	59
[高地モード]	[オフ]	59
[冷却条件]	[床置設置]	60
[ランプ選択]	[デュアル]	60
[ランプリレー]	[オフ]	61
[ランプ出力]	[高]	61
[スタンバイモード]	[ノーマル]	61
[RS-232C]	—	61
[REMOTE2 端子モード]	[標準]	62
[ステータス]	—	62
[無信号自動オフ]	[無効]	62
[ファンクションボタン]	—	63
[日付と時刻]	—	63
[全ユーザーデータ保存]	—	63
[全ユーザーデータロード]	—	63
[初期化]	—	64
[サービスパスワード]	—	64

■ [テストパターン]

項目の詳細 (👁️ 65 ページ)

■ [登録信号一覧]

項目の詳細 (👁️ 66 ページ)

■ [セキュリティ]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[セキュリティパスワード]	[オフ]	68
[セキュリティパスワード変更]	—	68
[表示設定]	[オフ]	68
[テキスト変更]	—	69
[メニューロック]	[オフ]	69
[メニューロックパスワード]	—	69
[操作設定]	—	69

■ [ネットワーク]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[ネットワーク設定]	—	71
[ネットワークコントロール]	—	71
[ネットワークステータス]	—	71

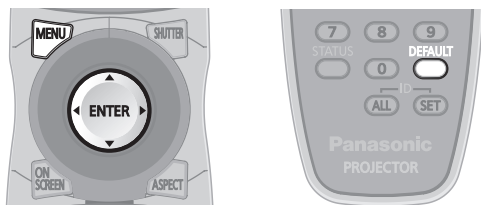
お知らせ

- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目が灰色文字で表示され、項目は選択できません。
- サブメニューの項目、および工場出荷時の値は、選択中の入力端子により表示が異なります。

[映像] について

メニュー画面で、メインメニューから [映像] を選び、サブメニューから項目を選んでください。メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (P.39 ページ) をご覧ください。

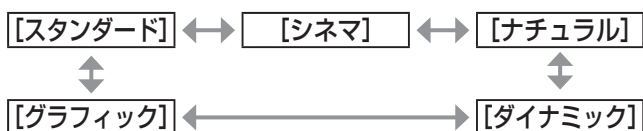
- 項目を選んだら▲▼◀▶ボタンで調整してください。



[映像モード]

ご覧になる映像や視聴環境に合わせて最適な映像モードに設定します。

- 1) ▲▼ボタンで [映像モード] を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
 - [映像モード] 個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンで [映像モード] を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



[スタンダード]	動画系全般に適した画像になります。
[シネマ]	映画ソースに適した画像になります。
[ナチュラル]	sRGB に準拠した画像になります。
[ダイナミック]	明るい場所で使用する場合に適した画像になります。
[グラフィック]	コンピューター入力に適した画像になります。

お知らせ

- 工場出荷時の映像モードは、静止画系信号入力時は [グラフィック]、動画系信号入力時は [スタンダード] です。

[ピクチャー]

色の明暗度を調整します。

- 1) ▲▼ボタンで [ピクチャー] を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
 - [ピクチャー] 個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	画面が明るく映像が濃くなります。	最大値 31
◀ボタンを押す	画面が暗く映像が薄くなります。	最小値 -31

お願い

- 黒レベルを調整する必要がある場合には、[黒レベル] を先に調整してください。

[黒レベル]

画面の暗い部分 (黒色) を調整します。

- 1) ▲▼ボタンで [黒レベル] を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
 - [黒レベル] 個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	画面の暗い部分 (黒色) が明るくなります。	最大値 31
◀ボタンを押す	画面の暗い部分 (黒色) が暗くなります。	最小値 -31

[色の濃さ]

色の濃さを調整します。

- 1) ▲▼ボタンで [色の濃さ] を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
 - [色の濃さ] 個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	色が濃くなります。	最大値 31
◀ボタンを押す	色が薄くなります。	最小値 -31

[色あい]

肌色の部分を調整します。

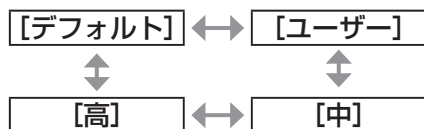
- 1) ▲▼ボタンで [色あい] を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
 - [色あい] 個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	色あいが変化し肌色が緑色がかかります。	最大値 31
◀ボタンを押す	色あいが変化し肌色が赤紫色がかかります。	最小値 -31

[色温度設定]

映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかったりする場合に切り換えます。

- 1) ▲▼ボタンで [色温度設定] を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
 - [色温度設定] 個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンで [色温度設定] を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



- [カラーマッチング] (👁️ 53ページ)の調整が[オフ] 以外に設定されている場合、[色温度設定] は [ユーザー] 固定になります。

■さらにお好みのホワイトバランスに調整する場合

- 4) 手順 3) で [ユーザー] を選択する
- 5) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - [ホワイトバランス] 画面を表示します。
- 6) ▲▼ボタンで [ホワイトバランス 高] または [ホワイトバランス 低] を選択する
- 7) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - [ホワイトバランス 高] 画面または [ホワイトバランス 低] 画面を表示します。
- 8) ▲▼ボタンで [赤] [緑] [青] を選択する
- 9) ◀▶ボタンでレベルを調整する

調整項目	操作	変化内容	調整範囲
[赤]	▶ボタンを押す	赤色が強くなります。	最大値 高：255 低：63
	◀ボタンを押す	赤色が弱くなります。	
[緑]	▶ボタンを押す	緑色が強くなります。	最小値 高：0 低：0
	◀ボタンを押す	緑色が弱くなります。	
[青]	▶ボタンを押す	青色が強くなります。	出荷設定値 高：255 低：32
	◀ボタンを押す	青色が弱くなります。	

お知らせ

- [色温度設定] は、正しく調整してください。間違った調整をすると、すべての色が正常にでなくなります。調整が合わなくなった場合は、リモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押すと、選択中の項目のみ工場出荷時の標準値に戻せます。
- 内蔵テストパターン (👁️ 65ページ) では、[色温度設定] の設定は反映されません。必ず入力信号を投写させた状態で [色温度設定] の設定をしてください。

[映像] について (つづき)

[白ゲイン]

映像の白色部分の明るさを調整します。

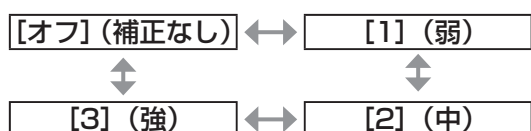
- 1) ▲▼ボタンで [白ゲイン] を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
 - [白ゲイン] 個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	白色の輝きが強くなります。	最大値 10
◀ボタンを押す	自然な映像になります。	最小値 0

[システムデイトビュー]

明るい照明下で映像を投写する場合でも、映像を最適な鮮やかさに補正します。

- 1) ▲▼ボタンで [システムデイトビュー] を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
 - [システムデイトビュー] 個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンで [システムデイトビュー] を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



[シャープネス]

映像のシャープ感を調整します。

- 1) ▲▼ボタンで [シャープネス] を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
 - [シャープネス] 個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	輪郭がシャープになります。	0 ~ 15
◀ボタンを押す	輪郭がやわらかくなります。	

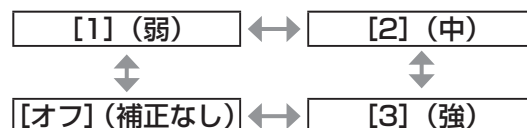
お知らせ

- 調整値が [15] のときに▶ボタンを押すと、[0] になります。また、調整値が [0] のときに◀ボタンを押すと、[15] になります。

[ノイズリダクション]

入力された映像が劣化して、映像信号ノイズが発生している場合に切り換えます。

- 1) ▲▼ボタンで [ノイズリダクション] を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
 - [ノイズリダクション] 個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンで [ノイズリダクション] を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



お願い

- ノイズが少ない入力信号に対して設定すると、映像本来のイメージと違って見える場合があります。その際は [オフ] に設定してください。

[AI]

映像に合わせて階調制御を行い、コントラスト感がある最適な映像を投写します。

- 1) ▲▼ボタンで [AI] を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [AI] 個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンで [AI] を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

[オン] ◀▶ [オフ]

[オン]	AI 補正を有効にします。
[オフ]	AI 補正を無効にします。

[システムセレクター]

本機は入力信号を自動判別しますが、不安定な信号を入力する場合は、手動でシステム方式を設定します。入力信号に合ったシステム方式を設定してください。

- 1) ▲▼ボタンで [システムセレクター] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンでシステム方式を選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す

■ 〈VIDEO IN〉 / 〈S-VIDEO IN〉 端子に入力している場合

- [オート]、[NTSC]、[NTSC4.43]、[PAL]、[PAL-M]、[PAL-N]、[SECAM]、[PAL60] から選択します。

お願い

- 通常は [オート] に設定してください。
- それぞれのテレビの信号方式に設定を切り換えてください。日本国内では NTSC の信号方式が使われています。

お知らせ

- [オート] は、[NTSC]、[NTSC4.43]、[PAL]、[PAL-M]、[PAL-N]、[SECAM]、[PAL60] の中から自動的に判別します。

■ 〈RGB 1 IN〉 / 〈RGB 2 IN〉 端子に入力している場合

- 480i、576i、576p 信号入力時 [RGB]、[YCbCr] から選択します。
- VGA60、480p 信号入力時 [VGA60]、[480p]、[480pRGB] から選択します。
- 上記以外の動画系信号入力時 [RGB]、[YPbPr] から選択します。

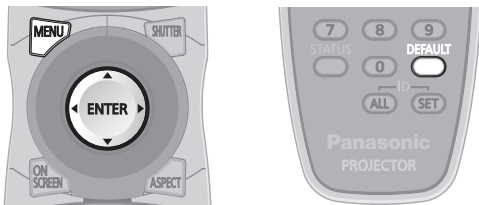
お知らせ

- 対応する信号については、“対応信号リスト” (P100 ページ) を参照してください。

[位置調整] について

メニュー画面で、メインメニューから [位置調整] を選び、サブメニューから項目を選んでください。メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (P.39 ページ) をご覧ください。

- 項目を選んだら▲▼◀▶ボタンで調整してください。



[シフト]

本機とスクリーンの関係位置が正しく設置された状態で、スクリーンに投写された映像位置がずれている場合は、上下左右に映像位置を移動します。

- 1) ▲▼ボタンで [シフト] を選択する
- 2) ◀ENTER▶ ボタンを押す
 - [シフト] 画面を表示します。
- 3) ▲▼◀▶ボタンで位置調整する

■ 垂直位置 (上下) 調整の場合

操作	変化内容	
▲ボタンを押す	映像位置が上へ移動します。	
▼ボタンを押す	映像位置が下へ移動します。	

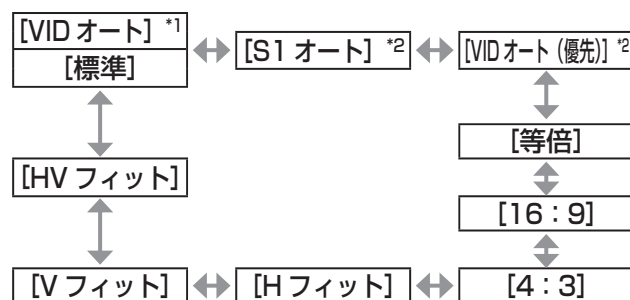
■ 水平位置 (左右) 調整の場合

操作	変化内容	
▶ボタンを押す	映像位置が右へ移動します。	
◀ボタンを押す	映像位置が左へ移動します。	

[アスペクト]

映像の縦横比 (アスペクト比) を切り換えます。[スクリーン設定] で選択したスクリーン範囲でアスペクトを切り換えます。[スクリーン設定] を先に設定してください。(P.55 ページ)

- 1) ▲▼ボタンで [アスペクト] を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは ◀ENTER▶ ボタンを押す
 - [アスペクト] 個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンで [アスペクト] を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



*1 : VIDEO、S-VIDEO (NTSC) 入力時のみ

*2 : S-VIDEO (NTSC) 入力時のみ

■ [標準]

入力信号のアスペクト比のまま表示します。

■ [VID オート]

映像信号に組み入れられたビデオ ID (VID) を識別し、4 : 3、16 : 9 の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。NTSC 信号入力時に有効です。

■ [S1 オート]

S1 信号を識別し、4 : 3、16 : 9 の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。S-VIDEO の NTSC 信号入力時に有効です。

■ [VID オート (優先)]

上記 VID、S1 信号を識別し、VID を検出した場合は VID に従い、VID を検出しない場合は S1 信号に従って 4 : 3、16 : 9 の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。S-VIDEO の NTSC 信号入力時に有効です。

■ [等倍]

入力信号の解像度のまま表示します。

■ [16 : 9]

標準信号入力時*¹ は、アスペクト比を 16 : 9 に変換して表示します。ワイド信号入力時*² は、入力アスペクト比のまま表示します。

■ [4 : 3]

標準信号入力時*¹ は、入力アスペクト比のまま表示します。ワイド信号入力時*² は、[スクリーンフォーマット] で [4 : 3] を選択している場合、アスペクト比を 4 : 3 に変換して表示します。[スクリーンフォーマット] が [4 : 3] 以外の場合は、4 : 3 スクリーンに収まるように入力アスペクト比のまま縮小して表示します。

■ [H フィット]

[スクリーンフォーマット] で選択したスクリーン範囲の幅をすべて使って表示します。[スクリーンフォーマット] で選択されたスクリーンのアスペクトよりも縦長のアスペクト比を持つ信号は、画像の上下が切れて表示されます。

■ [V フィット]

[スクリーンフォーマット] で選択したスクリーン範囲の高さをすべて使って表示します。

■ [HV フィット]

[スクリーンフォーマット] で選択したスクリーン範囲全体に映像を表示します。入力信号とスクリーン範囲のアスペクト比が異なる場合は、[スクリーンフォーマット] で選択されたスクリーンのアスペクトに変換して表示します。

*1 : 標準信号入力時とは、アスペクト比 4 : 3、5 : 4 の信号入力時です。

*2 : ワイド信号入力時とは、アスペクト比 16 : 10、16 : 9、15 : 9、15 : 10 の信号入力時です。

お知らせ

- 入力信号によっては、選択できないサイズモードがあります。NTSC 信号の場合、[標準] は選択できません。
- 入力信号と異なるアスペクト比を選択すると、オリジナルの映像と見え方に差が出ます。この点に注意して、アスペクト比を選択してください。
- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店やホテルなどの場所で、本機を使用して画面の圧縮や引き伸ばしなどをすると、著作権法上で保護されている作者の権利を侵害するおそれがあります。本機のアスペクト調整、ズーム機能などの機能を利用するときはご注意ください。
- ワイド画面ではない従来（通常）の 4 : 3 の映像をワイド画面で投写すると、周辺画像が一部見えなくなることや、変形して見えることがあります。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、4 : 3 の映像でご覧ください。

【ズーム】

画面サイズを調整します。

1) ▲▼ボタンで [ズーム] を選択する

2) <ENTER> ボタンを押す

- [ズーム] 画面を表示します。

3) ▲▼ボタンで [垂直]、[水平] を選択し、◀▶ボタンで調整する

■ [アスペクト] を [標準] に設定している場合

1) ▲▼ボタンで [モード] を選択する

2) ◀▶ボタンで [モード] を切り換える

[インターナル]	[スクリーンフォーマット] で設定されたアスペクト領域内でサイズを拡大します。
[フル]	[スクリーンフォーマット] で設定された表示エリアの全領域を使って拡大します。

お知らせ

- [アスペクト] で [等倍] を選択した場合、[ズーム] 調整は表示されません。
- [アスペクト] で [標準] 以外を選択した場合、[モード] 切り換えは表示されません。

[位置調整] について (つづき)

[クロックフェーズ]

画像のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

- 1) ▲▼ボタンで [クロックフェーズ] を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは <ENTER> ボタンを押す
 - [クロックフェーズ] 個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンで調整する
 - 調整値は、[0] ~ [31] まで変化します。ノイズが少なくなるように調整してください。

お知らせ

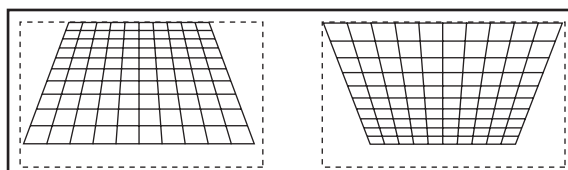
- 入力しているコンピューターの出力が不安定であると最適値がない場合があります。
- 総ドット数がずれていると最適値がない場合があります。
- [クロックフェーズ] の調整ができるのは、<RGB 1 IN> 端子または <RGB 2 IN> 端子に信号を入力した場合のみです。
- ドットクロック周波数が 150 MHz 以上の信号を投写する場合は、[クロックフェーズ] の調整をしてもノイズがなくなる場合があります。
- デジタル信号入力時は [クロックフェーズ] の調整ができません。
- 調整値が [31] のときに▶ボタンを押すと、[0] になります。また、調整値が [0] のときに◀ボタンを押すと、[31] になります。

[台形補正]

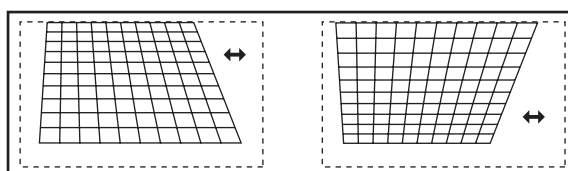
本機を傾けて設置したり、スクリーンが傾いていたりしている場合に発生する台形ひずみを補正します。

- 1) ▲▼ボタンで [台形補正] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) 調整する項目を選ぶ
- 4) ◀▶ボタンで調整する

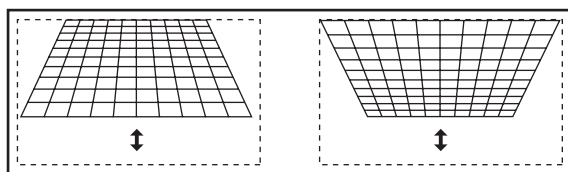
■ [台形補正]



■ [サブ台形補正]



■ [リニアリティ]



お知らせ

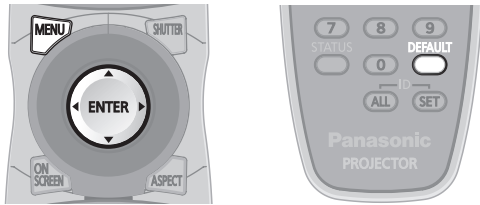
- [台形補正] で各種調整をすると、メニューやロゴがスクリーンからはみ出る場合があります。
- [台形補正] の各種調整では、縦方向の傾きに対して $\pm 40^\circ$ まで補正できます。ただし、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。できるだけ補正量が少なくなるように設置してください。(固定焦点レンズ (品番: ET-DLE055)、超短焦点ズームレンズ (品番: ET-DLE080) 使用時は $\pm 30^\circ$ です。)
- [台形補正] で各種調整をすると、画面サイズも変化します。
- レンズシフトの位置によっては、台形ひずみが発生します。
- 補正量、レンズズーム量によっては、画面サイズの縦横比がずれる場合があります。

[アドバンスドメニュー] について

メニュー画面で、メインメニューから [アドバンスドメニュー] を選び、サブメニューから項目を選んでください。

メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (P.39 ページ) をご覧ください。

- 項目を選んだら ▲▼◀▶ ボタンで調整してください。



[デジタルシネマリアリティー]

PAL (または SECAM) の 576i 信号や NTSC の 480i 信号、および 1080/50i、1080/60i 信号が入力されたとき、シネマ処理をして垂直解像度をさらに上げ、画質を向上させます。

1) ▲▼ ボタンで [デジタルシネマリアリティー] を選択する

2) ◀▶ ボタンで [デジタルシネマリアリティー] を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



[25p 固定] (576i, 1080/50i 信号入力時)
[30p 固定] (480i, 1080/60i 信号入力時)

[オート]	自動検出し、シネマ処理をします。 (工場出荷時の値)
[オフ]	シネマ処理をしません。
[25p 固定]	576i または 1080/50i 信号が入力されたとき強制シネマ処理 (2:2 プルダウン) になります。
[30p 固定]	480i または 1080/60i 信号が入力されたとき強制シネマ処理 (2:2 プルダウン) になります。

お知らせ

- [デジタルシネマリアリティー] では、2:2 でプルダウンされた信号以外を [25p 固定] または、[30p 固定] に設定すると、画質が劣化します。(垂直解像度が悪くなります。)

[ブランキング]

ビデオデッキなどの映像投写時、画面端にノイズがでている場合やスクリーンから画像がわずかにはみ出ている場合などにブランキング幅を調整します。

1) ▲▼ ボタンで [ブランキング] を選択する

2) <ENTER> ボタンを押す

- [ブランキング] 調整画面を表示します。

3) ▲▼ ボタンで調整項目を選択する

4) ◀▶ ボタンでブランキング調整する

- 下記の範囲で変化します。

PT-DW730 の場合

左右 0 ~ 639、上下 0 ~ 399

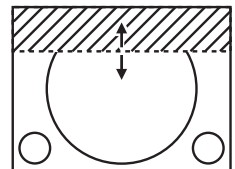
PT-DX800 の場合

左右 0 ~ 511、上下 0 ~ 383

画面上側ブランキング補正 (上) の場合

◀ ボタンを押すとブランキング幅が上へ移動します。

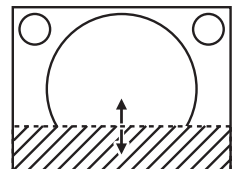
▶ ボタンを押すとブランキング幅が下へ移動します。



画面下側ブランキング補正 (下) の場合

▶ ボタンを押すとブランキング幅が上へ移動します。

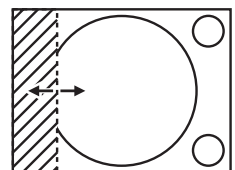
◀ ボタンを押すとブランキング幅が下へ移動します。



画面左側ブランキング補正 (左) の場合

▶ ボタンを押すとブランキング幅が右へ移動します。

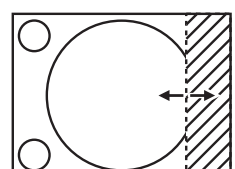
◀ ボタンを押すとブランキング幅が左へ移動します。



画面右側ブランキング補正 (右) の場合

◀ ボタンを押すとブランキング幅が右へ移動します。

▶ ボタンを押すとブランキング幅が左へ移動します。



[アドバンスドメニュー] について (つづき)

[入力解像度]

画面のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

- 1) ▲▼ボタンで [入力解像度] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - [入力解像度] 画面を表示します。
- 3) ▲▼ボタンで [総ドット数]、[表示ドット数]、[総ライン数] または [表示ライン数] を選択し、◀▶ボタンで調整する
 - 各項目には入力した信号に応じた数値が自動的に表示されます。画面に縦縞や画面欠けが発生する場合、表示された数値を上下させて画面を見ながら最適な点に調整してください。

お知らせ

- 全白信号入力では上記縦縞は発生しません。
- 調整中に画像が乱れる場合がありますが、異常ではありません。
- [入力解像度] の調整ができるのは、<RGB 1 IN> 端子または <RGB 2 IN> 端子に RGB 信号を入力した場合のみです。
- ドットクロックが 150 MHz 以上の信号は調整できません。

[クランプ位置]

映像の黒部分がつぶれている場合や、緑色になっている場合に最良点に調整します。

- 1) ▲▼ボタンで [クランプ位置] を選択する
- 2) ◀▶ボタンで調整する
 - 調整値は 0 ~ 255 まで変化します。
 - クランプ位置調整の最適値
黒部分がつぶれている場合：
黒部分のつぶれが最も改善する点が最適値です。
黒部分が緑色になっている場合：
緑色部分が黒くなり、つぶれが改善する点が最適値です。

お知らせ

- [クランプ位置] の調整ができるのは、<RGB 1 IN> 端子または <RGB 2 IN> 端子に信号を入力した場合のみです。

[エッジブレンディング]

マルチ画面で使用する場合に、重なっている部分に明るさの傾斜をつけることで、画面のつなぎ目を目立ちにくくします。

- 1) ▲▼ボタンで [エッジブレンディング] を選択する
- 2) ◀▶ボタンで [エッジブレンディング] を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

[オフ] ↔ [オン]

[オフ]	エッジブレンディング機能をオフにします。
[オン]	エッジブレンディング機能をオンにします。

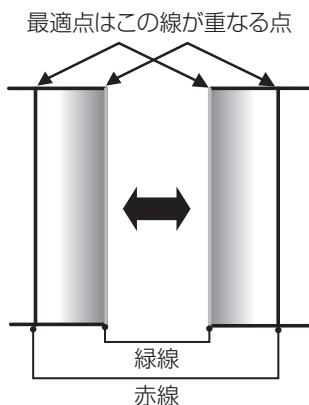
- 3) [オン] を選択した場合は <ENTER> ボタンを押す
 - [エッジブレンディング] 画面を表示します。
- 4) ▲▼ボタンで補正する場所を指定する
 - 上をつなぐ場合：[上] を [オン]
 - 下をつなぐ場合：[下] を [オン]
 - 左をつなぐ場合：[左] を [オン]
 - 右をつなぐ場合：[右] を [オン]
- 5) ◀▶ボタンを押して [オン] [オフ] を切り換える
- 6) ▲▼ボタンで [開始] または [幅] を選択し、◀▶ボタンで開始位置および補正幅を調整する

■調整用のマーカーを表示させる場合

- 7) ▲▼ボタンで [マーカー] を選択する

8) ◀▶ボタンで [オン] に切り換える

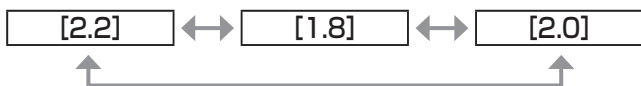
- 映像位置調整用のマーカーが表示されます。緑線は手順 6) の [開始] で調整されたエッジブレンディング開始位置です。赤線は手順 6) の [幅] で調整されたエッジブレンディング終了位置です。つなぎ合わせるセット同士で赤と緑の線が重なる位置が最適点です。つなぎ合わせるセット同士の補正幅は必ず同じ値にしてください。補正幅が異なるセット同士では、最適なつなぎ合わせができなくなります。



9) ▲▼ボタンで [ガンマ選択] を選択する

10) ◀▶ボタンで [ガンマ選択] を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



11) ▲▼ボタンで [黒レベル調整] を選択する

12) <ENTER> ボタンを押す

- [黒レベル調整] 画面を表示します。

13) ▲▼ボタンで [黒レベル インサイド] を選択する

14) <ENTER> ボタンを押す

- [黒レベル インサイド] 個別調整画面を表示します。
- [連動] を [オフ] に設定すると、[赤]、[緑]、[青] の個別調整ができます。

15) ▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで調整する

- 調整が終わったら、<MENU> ボタンを押して [黒レベル調整] 画面に戻ります。

16) ▲▼ボタンで [アウトサイド領域] の [上] [下] [左] [右] を選択する

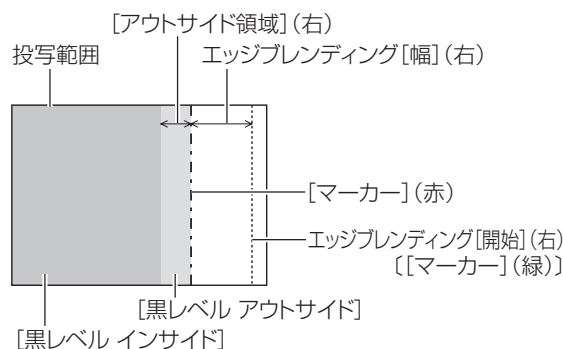
17) ◀▶ボタンで [黒レベル インサイド] の調整をする領域 (幅) を設定する

18) ▲▼ボタンで [黒レベル アウトサイド] を選択する

19) <ENTER> ボタンを押す

- [黒レベル アウトサイド] 個別調整画面を表示します。
- [連動] を [オフ] に設定すると、[赤]、[緑]、[青] の個別調整ができます。

20) ▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで調整する



お知らせ

- [黒レベル調整] は、[エッジブレンディング] を用いてマルチ画面を構成した場合に、映像を重ね合わせた部分の黒レベルが明るくなるのを目立ちにくくする機能です。[黒レベル インサイド] を調整し、映像を重ね合わせた部分と重ね合わせていない部分の黒レベルが同じになる補正量が最適点です。[黒レベル インサイド] を調整後、映像を重ね合わせた部分と重ね合わせていない部分の境目付近のみが明るくなる場合は、上、下、左、右の幅を調整してください。幅調整により境目付近のみ明るくなった場合は、[黒レベル アウトサイド] を調整してください。
- ゲインの高いスクリーンやリアスクリーン使用時は、見る位置によってつなぎ合わせ部が不連続に見えることがあります。

[ラスターポジション]

入力された映像が表示可能エリア全体を使用していない場合、映像を表示エリア内で任意の位置に移動させることができます。

1) ▲▼ボタンで [ラスターポジション] を選択する

2) <ENTER> ボタンを押す

- [ラスターポジション] 画面を表示します。

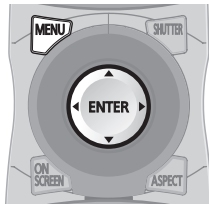
3) ▲▼◀▶ボタンで位置を調整する

【表示言語 (LANGUAGE)】 について

メニュー画面で、メインメニューから【表示言語 (LANGUAGE)】を選び、サブメニューを表示させます。

メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (P.39 ページ) をご覧ください。

- ▲▼ボタンで選び、〈ENTER〉ボタンで言語の設定をしてください。



表示言語を切り換える

オンスクリーン表示の言語を切り換えます。

表示言語 (LANGUAGE)
ENGLISH
DEUTSCH
FRANÇAIS
ESPAÑOL
ITALIANO
● 日本語
中文
РУССКИЙ
한국어

- 切り換えた言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などが表示されます。
- 英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、日本語、中国語、ロシア語、韓国語への切り換えができます。

お知らせ

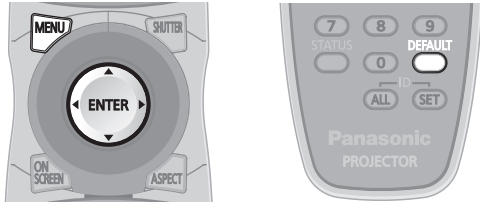
- 本機は、日本語でオンスクリーン表示するように設定されています。(工場出荷時)

[表示オプション] について

メニュー画面で、メインメニューから [表示オプション] を選び、サブメニューから項目を選んでください。

メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (P.39 ページ) をご覧ください。

- 項目を選んだら ▲▼◀▶ ボタンで設定してください。



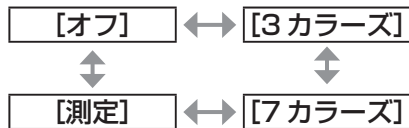
[カラーマッチング]

複数のセットを同時に使うような場合に、セット間の色ばらつきを補正します。

- 1) ▲▼ボタンで [カラーマッチング] を選択する

- 2) ◀▶ボタンで [カラーマッチング] を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



[オフ]	カラーマッチングの調整をしません。
[3 カラーズ]	[赤] [緑] [青] の3色を調整できます。
[7 カラーズ]	[赤] [緑] [青] [シアン] [マゼンタ] [イエロー] [白] の7色を調整できます。
[測定]	このモードについての詳細は、“測定器を用いたカラーマッチング調整” (P.54 ページ) をご覧ください。

■手順 2) で [3 カラーズ] または [7 カラーズ] を選択した場合

- 3) <ENTER> ボタンを押す

- [3 カラーズ] または [7 カラーズ] 画面を表示します。

- 4) ▲▼ボタンで [赤] [緑] [青] ([7 カラーズ] の場合は、[赤] [緑] [青] [シアン] [マゼンタ] [イエロー] [白]) を選択する

- 5) <ENTER> ボタンを押す

- [3 カラーズ:赤]、[3 カラーズ:緑]、[3 カラーズ:青] または [3 カラーズ:白] 画面を表示します。

[7 カラーズ] の場合は、[7 カラーズ:赤]、[7 カラーズ:緑]、[7 カラーズ:青]、[7 カラーズ:シアン]、[7 カラーズ:マゼンタ]、[7 カラーズ:イエロー] または [7 カラーズ:白] 画面を表示します。

- 6) ◀▶ボタンで調整する

- 調整値は [0] *1 ~ [2048] まで変化します。
*1: 調整する色によって下限値が異なります。

お知らせ

- 調整色を補正する場合の動作

調整色と同じ補正色を動かす場合:

調整色の輝度が変わります。

補正色赤を動かす場合: 調整色に赤を加減します。

補正色緑を動かす場合: 調整色に緑を加減します。

補正色青を動かす場合: 調整色に青を加減します。

- 調整には熟練を要しますので、プロジェクターに関する知識がある方もしくはサービスマンの方が調整してください。
- 各調整項目はすべて <DEFAULT> ボタンを押すと工場出荷時の値に戻すことができます。
- [カラーマッチング] を [オフ] 以外に設定した場合、[AI] と [カラーコレクション] は [オフ] に固定され、[色温度設定] は [ユーザー] に固定されます。(ただし [ホワイトバランス 高] は調整できません。)

[表示オプション] について (つづき)

■ 測定器を用いたカラーマッチング調整

色度座標と輝度が測定できる色彩色度計を用いて [赤] [緑] [青] [シアン] [マゼンタ] [イエロー] [白] の色をお好みの色に変更できます。

● 現在の輝度と色度座標を入力する

- 1) ▲▼ボタンで [カラーマッチング] を選択する
- 2) ◀▶ボタンで [測定] を選択する
- 3) <ENTER> ボタンを押す
 - [カラーマッチング：測定] 画面を表示します。
- 4) ▲▼ボタンで [測定データ] を選択する
- 5) <ENTER> ボタンを押す
 - [測定データ] 画面を表示します。
- 6) 色彩色度計で輝度 (Y) と色度座標 (x,y) を測定する
- 7) ▲▼ボタンで色を選択し、◀▶ボタンで数値を調整する
- 8) すべての入力が終わったら、<MENU> ボタンを押す
 - [カラーマッチング：測定] 画面を表示します。

● お好みの色の座標を入力する

- 1) ▲▼ボタンで [ターゲットデータ] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - [ターゲットデータ] 画面を表示します。
- 3) ▲▼ボタンで色を選択し、◀▶ボタンでお好みの色の座標を入力する
- 4) すべての入力が終わったら、<MENU> ボタンを押す

お知らせ

- ターゲットデータが本機の色域外の場合、正しい色が表示できません。
- [自動テストパターン] を [オン] にしておくと、選択された調整色の調整用テストパターンが自動的に表示されます。
- 色彩色差計などの計測器を使用して測定データを測定する場合は、[映像モード] を [ダイナミック] に設定したうえで測定してください。
- 使用される計測器および測定環境によってターゲットデータの色度座標と測定器の測定値にずれが発生する場合があります。

[カラーコレクション]

入力信号の方式ごとに、色の調整・登録ができます。

- 1) ▲▼ボタンで [カラーコレクション] を選択する
- 2) ◀▶ボタンで [カラーコレクション] 機能を切り換える

[オフ]	標準設定
[ユーザー]	VIDEO、S-VIDEO、RGB、YPbPr/YCbCr の4つの信号方式ごとに赤、緑、青、シアン、マゼンタ、イエローの6色を調整し、登録できます。<ENTER> ボタンを押し、詳細を設定してください。

[コントラストモード]

2種類のモードがあります。使用する環境に合わせて設定します。

- 1) ▲▼ボタンで [コントラストモード] を選択する
- 2) ◀▶ボタンで [コントラストモード] 機能を切り換える

[標準]	明るさが最大になります。
[高]	コントラストが最大になります。

[スクリーン設定]

スクリーンサイズを設定します。投写映像のアスペクト変更の際に、設定したスクリーンに合わせて最適な映像位置に補正します。ご使用のスクリーンに合わせて設定してください。

- 1) ▲▼ボタンで [スクリーン設定] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - [スクリーン設定] 画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンで [スクリーンフォーマット] を切り換える

■ PT-DW730

[16 : 10] ↔ [16 : 9]

■ PT-DX800

[4 : 3] ↔ [16 : 9]

- 4) ▲▼ボタンで [スクリーン位置] を選択する
- 5) ◀▶ボタンで [スクリーン位置] を調整する
 - PT-DW730 の場合、垂直位置を -40 ~ +40 まで調整できます。
 - PT-DX800 の場合、垂直位置を -96 ~ +96 まで調整できます。

お知らせ

- PT-DW730 で [スクリーンフォーマット] が [16 : 10] のとき、および PT-DX800 で [スクリーンフォーマット] が [4 : 3] のとき、[スクリーン位置] は調整できません。

[入力自動セットアップ]

会議などで、未登録の信号を頻繁に入力する場合、その都度リモコンの <AUTO SETUP> ボタンを押さなくても画面表示位置を自動で調整できます。

- 1) ▲▼ボタンで [入力自動セットアップ] を選択する
- 2) ◀▶ボタンで [入力自動セットアップ] 機能を切り換える

[オフ] ↔ [オン]

[オフ]	入力自動セットアップ機能をオフにします。
[オン]	投写中の映像が、未登録の信号に変わった場合、自動的にオートセットアップを行います。

[自動調整]

特殊な信号や横長 (16 : 9 など) の信号を調整するときに設定します。

- 1) ▲▼ボタンで [自動調整] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - [自動調整] 画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンで [モード] を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

[標準] ↔ [ワイド] ↔ [ユーザー]

[標準]	画像アスペクトが 4 : 3、5 : 4 の信号を受像する場合に選択します。(対応解像度は、640 x 400、640 x 480、800 x 600、832 x 624、1 024 x 768、1 152 x 864、1 152 x 870、1 280 x 960、1 280 x 1 024、1 600 x 1 200、1 400 x 1 050 です)
[ワイド]	画像アスペクトがワイドの信号を受像する場合に選択します。(対応解像度は、1 280 x 720、1 280 x 800、1 440 x 900、1 680 x 1 050、1 920 x 1 080、1 920 x 1 200 です)
[ユーザー]	特殊な水平解像度 (表示ドット数) の信号を受像する場合に選択します。

[表示オプション] について (つづき)

■手順 3) で [標準] または [ワイド] を選択した場合

4) <ENTER> ボタンを押す

- 自動調整を実行します。自動調整中は [実行中] と表示されます。終了すると [自動調整] 画面に戻ります。

■手順 3) で [ユーザー] を選択した場合

4) ▲▼ボタンで [表示ドット数] を選択し、◀▶ボタンで [表示ドット数] を信号源の水平解像度に合わせる

5) ▲▼ボタンで [モード] を選択する

6) <ENTER> ボタンを押す

- 自動調整を実行します。自動調整中は [実行中] と表示されます。終了すると [自動調整] 画面に戻ります。

5) ▲▼ボタンで [DVI 信号レベル] を選択する

6) ◀▶ボタンで [DVI 信号レベル] を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

[0-255 : PC] ↔ [16-235]

[0-255 : PC]	外部機器 (コンピューターなど) が DVI 端子出力で接続している場合などで選択します。
[16-235]	外部機器 (DVD プレーヤーなど) が HDMI 端子出力で変換ケーブルなどを使用し接続している場合などで選択します。

お知らせ

- 最適な設定は、接続する外部機器の出力設定によって異なります。外部機器の出力については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。
- 設定を変更するとプラグアンドプレイ用のデータが変更されます。プラグアンドプレイ対応可能な解像度は“対応信号リスト” (100 ページ) をご確認ください。

[DVI-D IN]

本機の <DVI-D IN> 端子を使用して外部機器と接続している場合、正常な映像が映らないときに設定を切り換えます。

1) ▲▼ボタンで [DVI-D IN] を選択する

2) <ENTER> ボタンを押す

- [DVI-D IN] 画面を表示します。

3) ▲▼ボタンで [DVI EDID] を選択する

4) ◀▶ボタンで [DVI EDID] を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

[EDID3] ↔ [EDID1] ↔ [EDID2 : PC]

[EDID3]	動画系、静止画系の映像信号を自動的に切り換えて投写します。
[EDID1]	動画系の映像信号を出力する外部機器 (DVD プレーヤーなど) が <DVI-D IN> 端子に接続されているときに主に選択します。
[EDID2 : PC]	静止画系の映像信号を出力する外部機器 (コンピューターなど) が <DVI-D IN> 端子に接続されているときに主に選択します。

[オンスクリーン表示]

オンスクリーン表示を設定します。

1) ▲▼ボタンで [オンスクリーン表示] を選択する

2) <ENTER> ボタンを押す

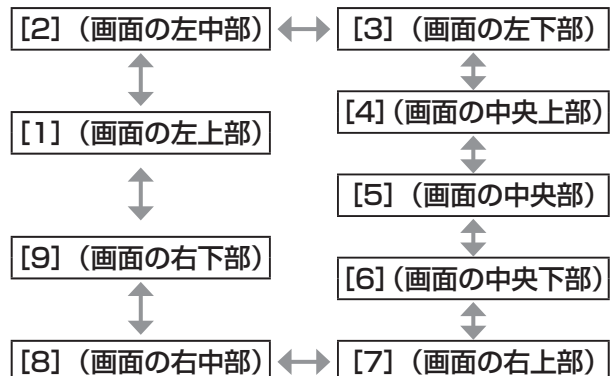
- [オンスクリーン表示] 画面を表示します。

3) ▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで切り換える

■ [OSD 位置]

メニュー画面 (OSD) の位置を設定します。

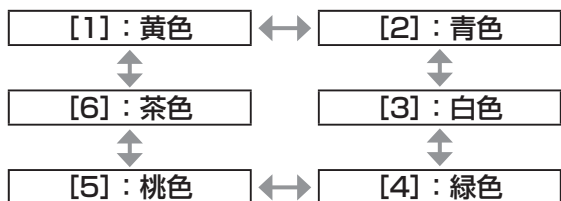
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



■ [OSD デザイン]

メニュー画面 (OSD) の色を設定します。

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



■ [OSD メモリー]

メニュー画面 (OSD) のカーソルの位置を保持するかどうかを設定します。

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



お知らせ

- [オン] に設定している場合でも、本体の主電源〈MAIN POWER〉スイッチを〈OFF〉にすると、カーソル位置は保持されません。

■ [入力ガイド]

[OSD 位置] で設定された位置に現在選択している入力端子名を表示するかどうかを設定します。

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



■ [警告メッセージ]

警告メッセージの表示 / 非表示を設定します。

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

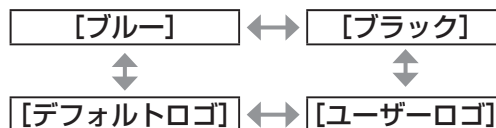


[バックカラー]

信号が入力されていないときの投写画面の色を設定します。

- 1) ▲▼ボタンで [バックカラー] を選択する
- 2) ◀▶ボタンで [バックカラー] を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



[ブルー]	投写画面全体に青色を表示します。
[ブラック]	投写画面全体に黒色を表示します。
[ユーザーロゴ]	投写画面にユーザーが登録した画像を表示します。
[デフォルトロゴ]	投写画面に Panasonic ロゴを表示します。

お知らせ

- [ユーザーロゴ] の画像作成・登録には、別途ソフトウェア「ロゴ転送ソフトウェア」が必要です。弊社 WEB サイトサポート情報 (<http://panasonic.biz/projector/support/index.html>) のアプリケーションソフトダウンロードをご覧ください。

[表示オプション] について (つづき)

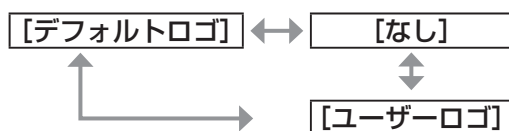
[スタートアップロゴ]

電源を入れたときのロゴ表示を設定します。

1) ▲▼ボタンで [スタートアップロゴ] を選択する

2) ◀▶ボタンで [スタートアップロゴ] を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



[デフォルトロゴ]	Panasonic ロゴを表示します。
[なし]	スタートアップロゴ表示を無効にします。
[ユーザーロゴ]	ユーザーが登録した画像を表示します。

お知らせ

- スタートアップロゴは、約 15 秒で消えます。
- [ユーザーロゴ] の画像作成・登録には、別途ソフトウェア「ロゴ転送ソフトウェア」が必要です。弊社 WEB サイトサポート情報 (<http://panasonic.biz/projector/support/index.html>) のアプリケーションソフトダウンロードをご覧ください。

[フリーズ]

外部機器の再生に関係なく、一時的に投写映像を静止させます。

1) ▲▼ボタンで [フリーズ] を選択する

2) <ENTER> ボタンを押す

- <MENU> ボタン押すと解除されます。

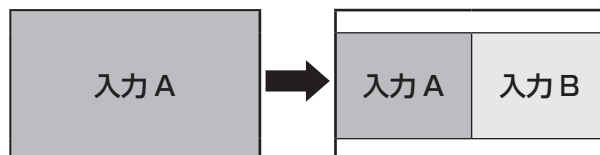
[2 画面] (PT-DW730 のみ)

異なる 2 つの入力信号を、同時に表示します。

1) ▲▼ボタンで [2 画面] を選択する

2) <ENTER> ボタンを押す

- 2 画面表示します。

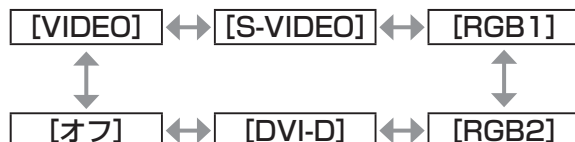


3) <MENU> ボタンを押す

- [サブ入力選択] 画面を表示します。

4) ▲▼ボタンで入力 B 側に表示させたい映像を選択する

- 画面右 (入力 B) 側に表示させたい映像を、▲▼ボタンで選択します。



5) <ENTER> ボタンを押す

お知らせ

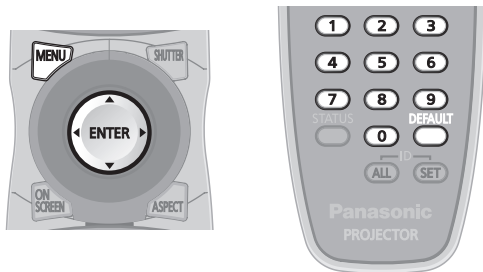
- 2 画面表示を解除するには、[オフ] を選択し、<ENTER> ボタンを押します。
- [フリーズ] は入力 A 側に対して設定されます。
- 2 画面表示中は、メニュー項目の調整・設定はできません。
- [映像] の設定は、入力 A 側の値が適用されます。([ピクチャー]、[黒レベル]、[色の濃さ]、[色あい]、[シャープネス] については、入力 A、B それぞれの値が適用されます。)
- リモコンの <ASPECT> ボタンや [アスペクト] の設定で選択したアスペクト比を保持したまま 2 画面表示します。
- 入力信号の組み合わせによっては、2 画面表示ができない場合があります。詳しくは“2 画面表示組み合わせ一覧表 (PT-DW730 のみ)” (P.99 ページ) をご覧ください。

[プロジェクターセットアップ] について

メニュー画面で、メインメニューから【プロジェクターセットアップ】を選び、サブメニューから項目を選んでください。

メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (P.39 ページ) をご覧ください。

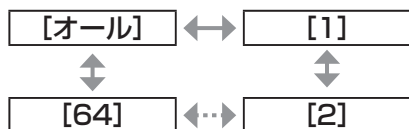
- 項目を選んだら▲▼◀▶ボタンで設定してください。



[プロジェクター ID]

本機には ID ナンバーの設定機能があり、本機を複数台並べてご使用の場合には、1 つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。

- 1) ▲▼ボタンで【プロジェクター ID】を選択する
- 2) ◀▶ボタンで【プロジェクター ID】を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



お知らせ

- ID ナンバーは【オール】 [1] ~ [64] まで設定可能です。
- ID ナンバーを指定した場合は、リモコンの ID ナンバーを本機の ID ナンバーに合わせる必要があります。
- ID ナンバーを【オール】に設定すると、リモコンまたはコンピューターで制御の際、何番を指定しても本機は動作します。
本機を複数台並べて設置する場合、ID ナンバーを【オール】に設定していると、他の ID ナンバーを設定した本機と分けて制御できなくなります。
- リモコンの ID ナンバーを設定する方法は“リモコンの ID ナンバーを指定する” (P.18 ページ) を参照してください。

[投写方式]

本機の設置状態に合わせて、投写方式を設定します。画面表示が上下逆になったり、反転して映ったりしている場合は、投写方式を変更してください。

- 1) ▲▼ボタンで【投写方式】を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 【投写方式】画面を表示します。
- 3) ▲▼ボタンで投写方式を選択する

【フロント / 床置】	スクリーン前方にある机の上などに設置する場合
【フロント / 天つり】	スクリーン前方にある天つり金具 (別売品) を使用して設置する場合
【リア / 床置】	スクリーン後方 (透過式スクリーン使用) にある机の上などに設置する場合
【リア / 天つり】	スクリーン後方 (透過式スクリーン使用) に天つり金具 (別売品) を使用して設置する場合

- 4) <ENTER> ボタンを押す
- 5) 確認のメッセージが表示されるので、【実行】または【中止】を選択し、<ENTER> ボタンを押す

お願い

- 【投写方式】の設定を変更した場合は、【冷却条件】 (P.60 ページ) が正しく設定されているか確認してください。

[高地モード]

海拔 1 400 m 以上 ~ 2 700 m 未満の場所で使用する場合は、【オン】に設定します。

- 1) ▲▼ボタンで【高地モード】を選択する
- 2) ◀▶ボタンで【高地モード】を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



【オフ】	海拔 1 400 m 未満で使用する場合
【オン】	高地 (海拔 1 400 m 以上 ~ 2 700 m 未満) で使用する場合

- 3) 確認のメッセージが表示されるので、【実行】または【中止】を選択し、<ENTER> ボタンを押す

お知らせ

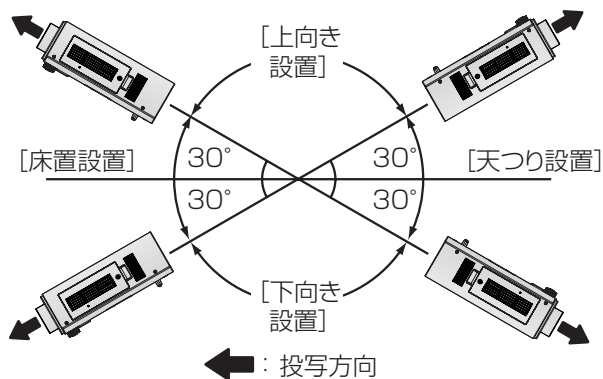
- 【オン】に設定した場合、ファンの回転数が上がり、動作音が大きくなります。

[プロジェクターセットアップ] について (つづき)

[冷却条件]

投写する方向によってファンの制御を変更します。投写する方向に合わせ、下図を参考にして [冷却条件] を正しく設定してください。誤った設定のまま使用するとランプの寿命を早める原因になります。

- 1) ▲▼ボタンで [冷却条件] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - [冷却条件] 画面を表示します。
- 3) ▲▼ボタンで冷却条件を選択する

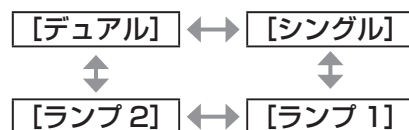


- 4) <ENTER> ボタンを押す
- 5) 確認のメッセージが表示されるので、[実行] または [中止] を選択し、<ENTER> ボタンを押す

[ランプ選択]

本体に内蔵されている 2 つの光源ランプを、使用条件や目的に合わせ、2 灯もしくは 1 灯の明るさに切り換えます。[シングル] に設定すると、ランプ使用時間によって点灯するランプを自動選択します。

- 1) ▲▼ボタンで [ランプ選択] を選択する
- 2) ◀▶ボタンで [ランプ選択] を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



[デュアル]	2 灯とも点灯します。
[シングル]	1 灯が点灯します。(使用時間の短いランプを自動選択します。)
[ランプ 1]	ランプユニット 1 が常に点灯します。
[ランプ 2]	ランプユニット 2 が常に点灯します。

- 3) <ENTER> ボタンを押す

お知らせ

- [シングル]、[ランプ 1]、[ランプ 2] のとき、ランプが不点灯状態になったり、使用時間が 2 000 時間 ([ランプ出力] を [高] に設定時) を超えたりするともう一方のランプが点灯します。[デュアル] のとき、いずれかのランプが不点灯状態になったり、使用時間が 2 000 時間 ([ランプ出力] を [高] に設定時) を超えたりすると、もう一方のランプのみ点灯します。ただし、ランプ 2 灯とも不点灯状態になった場合や、どちらのランプも 2 000 時間 ([ランプ出力] を [高] に設定時) を超えている場合、本機はスタンバイ状態になります。
- 項目の文字色は状態を示しています。
 - 緑→現在の設定
 - 黄→現在の設定 (失灯か点灯に失敗しているランプがあるとき)
 - 赤→点灯に失敗したランプ
 - 白→上記以外
- 短時間の使用を繰り返すと、ランプの交換サイクルが早くなります。

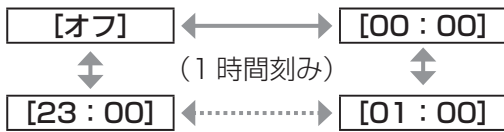
[プロジェクターセットアップ] について (つづき)

[ランプリレー]

22 時間以上連続で使用する場合に、点灯するランプを自動で切り換えることにより、ランプの連続使用による劣化を軽減できます。

- 1) ▲▼ボタンで [ランプリレー] を選択する
- 2) ◀▶ボタンで [ランプリレー] を切り換える

- ボタンを押すごとに、ランプを切り換える時刻設定が下図のように切り換わります。



お知らせ

- ランプリレー機能は、[ランプ選択] で [デュアル] または [シングル] を選択した場合に有効になります。
- [ランプ選択] で [デュアル] 選択時、設定した時刻から 4 時間の間はランプ 1 灯のみ点灯状態となります。
- 時刻はローカル時刻で動作します。(👁️ 63 ページ)

[ランプ出力]

本体の使用環境や目的に合わせてランプの明るさを切り換えます。

- 1) ▲▼ボタンで [ランプ出力] を選択する
- 2) ◀▶ボタンで [ランプ出力] を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



[高]	高い輝度が必要なときに設定します。
[低]	高い輝度を必要としないときに設定します。

お知らせ

- [低] に設定した場合、消費電力の節約、動作音の低減、ランプの寿命をのばすことができます。

[スタンバイモード]

スタンバイ時の電力を設定します。

- 1) ▲▼ボタンで [スタンバイモード] を選択する
- 2) ◀▶ボタンで [スタンバイモード] を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



お知らせ

- [エコ] に設定した場合、スタンバイ時にネットワーク機能と <SERIAL OUT> 端子が使用できません。また、RS-232C コマンドの一部が使用できません。[ノーマル] に設定した場合、スタンバイ時にネットワーク機能と <SERIAL OUT> 端子が使用できます。
- [エコ] に設定した場合、[ノーマル] 設定時と比べて、電源を入れたときの出画が約 10 秒遅くなることがあります。

[RS-232C]

<SERIAL IN> / <SERIAL OUT> 端子の通信条件を設定します。

- 1) ▲▼ボタンで [RS-232C] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンを押して通信条件を選択する
- 4) ◀▶ボタンを押して設定する

お知らせ

- “シリアル端子について” (👁️ 96 ページ) をご覧ください。

[プロジェクターセットアップ] について (つづき)

[REMOTE2 端子モード]

〈REMOTE 2 IN〉端子を設定します。

- 1) ▲▼ボタンで [REMOTE2 端子モード] を選択する
- 2) ◀▶ボタンで [REMOTE2 端子モード] を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



[標準]	〈REMOTE 2 IN〉端子のピン配列を本機標準の設定で使用します。 (P.98 ページ)
[ユーザー]	〈REMOTE 2 IN〉端子の設定を変更する場合に使用します。

■手順 2) で [ユーザー] を選択した場合

- 3) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 4) ▲▼ボタンで [2 番ピン] から [8 番ピン] までのいずれかを選択し、◀▶ボタンで設定を切り換える

[ステータス]

本体の状態を表示します。

- 1) ▲▼ボタンで [ステータス] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 3) ◀▶ボタンを押してページを切り換える

[入力]	現在選択されている入力端子を表示します。
[名前]	入力信号名を表示します。
[信号周波数]	入力信号の周波数を表示します。
[プロジェクター使用時間]	プロジェクターの稼働時間を表示します。
[ランプ 1] *1	ランプ 1 の点灯時間を表示します。
[ランプ 2] *1	ランプ 2 の点灯時間を表示します。
[吸気温度]	プロジェクターの吸気温度状態を表示します。
[光学モジュール温度]	プロジェクターの内部温度状態を表示します。
[ランプ周辺温度]	プロジェクターのランプ周辺温度状態が表示されます。
[プロジェクタータイプ]	プロジェクターの種類を表示します。
[シリアル番号]	本機のシリアル番号を表示します。
[ランプ品番]	ランプユニットの品番を表示します。

[ランプ 1 シリアル番号]	ランプ 1 のシリアル番号を表示します。
[ランプ 2 シリアル番号]	ランプ 2 のシリアル番号を表示します。
[メインバージョン]	本機のファームウェアのメインバージョンを表示します。
[サブバージョン]	本機のファームウェアのサブバージョンを表示します。
[ネットワークバージョン]	本機のネットワークバージョンを表示します。
[オンカウント]	<ul style="list-style-type: none"> ● [パワーオン] : 電源を入れた回数を表示します。 ● [ランプ 1 オン] : ランプ 1 の点灯回数を表示します。 ● [ランプ 2 オン] : ランプ 2 の点灯回数を表示します。 ● [シャッター] : シャッター機能の使用回数を表示します。
[ランプ 1]	使用時間の詳細を表示します。
[ランプ 2]	使用時間の詳細を表示します。
[登録信号数]	登録信号数を表示します。
[REMOTE2 ステータス]	REMOTE2 の制御状態を表示します。

*1: 表示されるランプ点灯時間は実時間です。
ランプ交換の目安を算出するには、以下のような換算が必要になります。

$$\left[\begin{array}{l} \text{ランプ交換の時間} = \\ \text{[ランプ出力] を [高] に設定時の使用時間} + \\ \text{([ランプ出力] を [低] に設定時の使用時間} \times 2 \div 3) \end{array} \right]$$

お知らせ

- ステータスを表示中に 〈ENTER〉ボタンを押すと、ステータス内容を E メールで送信できます。

[無信号自動オフ]

設定時間までに入力信号が無いと、自動的に本機の電源をスタンバイ状態にします。

- 1) ▲▼ボタンで [無信号自動オフ] を選択する
- 2) ◀▶ボタンで [無信号自動オフ] を切り換える

[無効]	無信号自動オフを無効にします。
[10分]~[90分]	10 分間隔で設定できます。

[プロジェクターセットアップ] について (つづき)

[ファンクションボタン]

リモコンの〈FUNCTION〉ボタンの機能を設定します。

- 1) ▲▼ボタンで [ファンクションボタン] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで機能を選択する

[無効]	〈FUNCTION〉 ボタンを無効にします。
[サブメモリー]	サブメモリーの切り換えをします。(👉 67 ページ)
[システムセレクトター]	[システムセレクトター] の設定を切り換えます。(👉 45 ページ)
[システムデイトライトビュー]	[システムデイトライトビュー] の設定を切り換えます。(👉 44 ページ)
[フリーズ]	映像を一時的に静止画の状態にします。(👉 58 ページ)
[2 画面] *1	2画面表示に切り換えます。(👉 58 ページ)

*1 : PT-DW730 のみ

- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す

[日付と時刻]

本機内蔵時計のタイムゾーンと日時を設定します。

- 1) ▲▼ボタンで [日付と時刻] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで [タイムゾーン] を選択する
- 4) ◀▶ボタンで [タイムゾーン] を切り換える
- 5) ▲▼ボタンで [時刻設定] を選択する
- 6) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [時刻設定] 画面を表示します。
- 7) ▲▼ボタンで設定したい項目を選択し、◀▶ボタンでローカル日時を設定する
- 8) ▲▼ボタンで [設定] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 時刻設定が完了します。

[全ユーザーデータ保存]

各種設定値をプロジェクター内部のメモリーにバックアップとして保存します。

- 1) ▲▼ボタンで [全ユーザーデータ保存] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [セキュリティパスワード] 画面を表示します。
- 3) セキュリティパスワードを入力し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 4) 確認のメッセージが表示されるので、[実行] または [中止] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - データ保存中は [実行中] と表示されます。

お知らせ

- [ユーザーロゴ] に登録した画像の設定は保存されません。

[全ユーザーデータロード]

プロジェクター内部のメモリーにバックアップとして保存した各種設定値を読み込みます。

- 1) ▲▼ボタンで [全ユーザーデータロード] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [セキュリティパスワード] 画面を表示します。
- 3) セキュリティパスワードを入力し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 4) 確認のメッセージが表示されるので、[実行] または [中止] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

お知らせ

- [全ユーザーデータロード] を実行すると、設定値を反映させるためにプロジェクターはスタンバイ状態になります。

[プロジェクターセットアップ] について (つづき)

[初期化]

各種設定値を工場出荷時の値に戻します。

- 1) ▲▼ボタンで [初期化] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [セキュリティーパスワード] 画面を表示します。
- 3) セキュリティーパスワードを入力し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [初期化] 画面を表示します。
- 4) ▲▼ボタンで初期化したい項目を選択する

[全ユーザーデータ]	登録信号、ネットワーク設定、Eメール設定、ロゴイメージを含めた全設定値を工場出荷時の値に戻します。 設定値を反映させるために、プロジェクターはスタンバイ状態になります。
[登録信号]	入力信号ごとに保存している設定値をすべて消去します。 登録信号の一部分だけを消去する場合は、“登録した信号を削除する” (☞ 66 ページ)を行ってください。
[ネットワーク / Eメール]	ネットワーク設定、Eメール設定を工場出荷時の値に戻します。
[ロゴイメージ]	[ユーザーロゴ] に登録された画像を消去します。

- 5) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 6) 確認のメッセージが表示されるので、[実行] または [中止] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

[サービスパスワード]

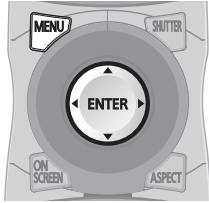
サービスマンが使用します。

[テストパターン] について

メニュー画面で、メインメニューから [テストパターン] を選びます。

メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (P.39 ページ) をご覧ください。

- ◀▶ ボタンで切り換えてください。



お知らせ

- テストパターンの表示中にリモコンの〈ON SCREEN〉ボタンを押すと、メニュー画面を非表示にすることができます。

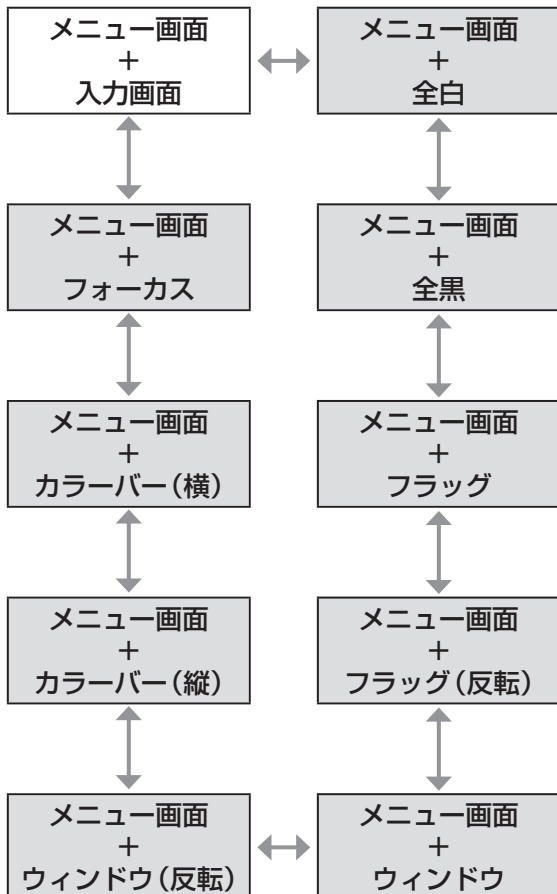
[テストパターン]

本機内蔵のテストパターンを表示します。位置、サイズなどの設定内容はテストパターンには反映されません。必ず入力信号を表示させた状態で各種調整を行ってください。


◀▶ ボタンで各種テストパターンを切り換える

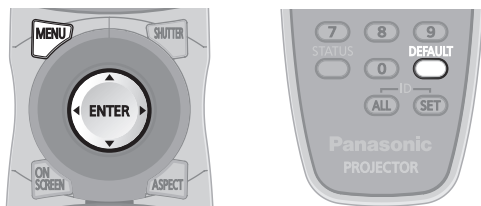
■ 内蔵テストパターンの表示チャート

◀▶ ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。




【登録信号一覧】 について

メニュー画面で、メインメニューから【登録信号一覧】を選びます。
メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法”（ 39 ページ）をご覧ください。



登録信号詳細

- 名前は、サブメモリー（ 67 ページ）ごとに設定可能です。
- メモリー番号：A1（1-2）

↑ ↑
サブメモリー番号

アドレス番号（A1、A2、…H7、H8）
信号が登録されている場合

新規登録

新規信号が入力され、リモコンまたは本体操作部の〈MENU〉ボタンを押すと登録が完了し、【メインメニュー】画面が表示されます。

お知らせ

- 本機に対して登録できる信号数は、サブメモリーを含めて 96 個までです。
- メモリー番号は 12 ページ（A～L 各 8 メモリー、1 ページに 8 メモリーが可能）あり、空いているメモリーの中で若い番号に登録されます。メモリーの空きがない場合は古い信号から順番に上書きされます。
- 登録される名前は入力信号とメモリー番号により自動で決定されます。
- メニューが表示されている場合は、新規信号が入力された時点で登録が完了します。

登録信号の名前の変更

- 1) ▲▼◀▶ ボタンで詳細を表示したい信号を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 【登録信号詳細】 画面を表示します。
 - 入力信号の名前、メモリー番号、入力端子、周波数、同期信号などが表示されます。
 - 〈MENU〉 ボタンを押すと【登録信号一覧】画面に戻ります。
- 3) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 【登録信号名変更】 画面を表示します。
- 4) ▲▼◀▶ ボタンで文字を選び、〈ENTER〉 ボタンを押して入力する
- 5) 名前の変更を完了後▲▼◀▶ ボタンで【OK】を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 登録が完了し【登録信号詳細】画面に戻ります。
 - ▲▼◀▶ ボタンで【CANCEL】を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押すと変更した信号名は登録されず、自動登録された信号名のままになります。

登録した信号を削除する

- 1) ▲▼◀▶ ボタンで削除する信号を選択する
- 2) 〈DEFAULT〉 ボタンを押す
 - 【登録信号削除】 画面を表示します。
 - 削除しない場合は〈MENU〉ボタンを押すと【登録信号一覧】画面に戻ります。
- 3) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 選択した信号が削除されます。

サブメモリーについて

本機は同期信号源の周波数や形態により同一信号と判断した場合でも画像調整データを複数登録できるサブメモリー機能を持っています。同一信号源によるアスペクト切り換えやホワイトバランスなどの、画質調整が必要な場合にご使用ください。サブメモリーは、画面アスペクト比、[映像] 項目で調整したデータ ([ピクチャー]、[黒レベル] などの項目) など、信号ごとに調整できるデータすべてを含みます。

■サブメモリーへの登録方法

- 1) 通常画面 (メニューが表示されていない状態) において ◀▶ ボタンを押す
 - サブメモリーが登録されていない場合は、サブメモリー登録確認画面が表示されます。手順 3) に進んでください。
 - 現在入力している信号に対して登録されているサブメモリーの一覧が表示されます。
 - メニューの [プロジェクターセットアップ] → [ファンクションボタン] で [サブメモリー] を選択すると、◀▶ ボタンの代わりに <FUNCTION> ボタンを使用できます。
- 2) [サブメモリー一覧] において ▲▼◀▶ ボタンで登録するサブメモリー番号を選択する
- 3) <ENTER> ボタンを押す
 - [登録信号名変更] 画面を表示します。
- 4) ▲▼◀▶ ボタンで [OK] を選択し、<ENTER> ボタンを押す
 - 登録信号の名前を変更する場合は、“登録信号の名前の変更” (🔍 66 ページ) の手順 4)、5) を行ってください。

■サブメモリーへの切り換え方法

- 1) 通常画面 (メニューが表示されていない状態) において ◀▶ ボタンを押す
 - 現在入力している信号に対して登録されているサブメモリーの一覧が表示されます。
- 2) [サブメモリー一覧] において ▲▼◀▶ ボタンで切り換える信号を選択する
- 3) <ENTER> ボタンを押す
 - 手順 2) で選択した信号に切り換わります。

■サブメモリーの削除方法

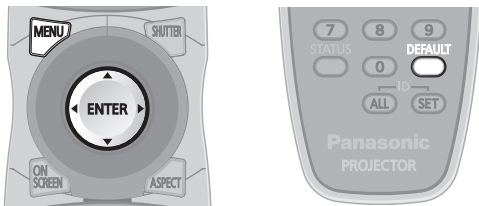
- 1) 通常画面 (メニューが表示されていない状態) において ◀▶ ボタンを押す
 - [サブメモリー一覧] 画面を表示します。
- 2) ▲▼◀▶ ボタンで削除したいサブメモリーを選択し、<DEFAULT> ボタンを押す
 - [登録信号削除] 画面を表示します。
 - 削除しない場合は <MENU> ボタンを押すと [登録信号一覧] 画面に戻ります。
- 3) <ENTER> ボタンを押す
 - 選択したサブメモリーが削除されます。

[セキュリティ] について

メニュー画面で、メインメニューから**[セキュリティ]**を選び、サブメニューから項目を選んでください。

メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (P.39 ページ) をご覧ください。

- 初めてご使用になる場合
初期パスワード：▲▼▼▲▶▼◀ボタンの順に押し、〈ENTER〉ボタンを押してください。
- 項目を選んだら▲▼◀▶ボタンで設定してください。



お願い

- **[セキュリティ]**画面を表示してから行ってください。
- **[セキュリティ]**画面を表示するとパスワードの入力が求められます。設定したセキュリティパスワードを入力してから操作を続けてください。
- 以前にパスワードを変更した場合、変更後のパスワードを入力し、〈ENTER〉ボタンを押してください。

お知らせ

- 入力したパスワードは画面上では、*印で表示されます。

[セキュリティパスワード]

電源を入れたときに**[セキュリティパスワード]**画面を表示させます。間違ったパスワードを入力した場合、電源スタンバイ〈P〉ボタン、〈SHUTTER〉ボタン、〈LENS〉(〈FOCUS〉、〈ZOOM〉、〈SHIFT〉)ボタンでの操作に限定されます。

1) ▲▼ボタンで**[セキュリティパスワード]**を選択する

2) ◀▶ボタンで**[セキュリティパスワード]**を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



[オフ]	セキュリティパスワード入力を無効にします。
[オン]	セキュリティパスワード入力を有効にします。

お知らせ

- お買い上げ時、または全ユーザーデータの初期化をしたあと、**[セキュリティパスワード]**の設定は**[オフ]**になっています。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。

- セキュリティパスワードは、**[セキュリティパスワード]**を**[オン]**に設定したあと、電源を切る(スタンバイ状態にする)と有効になります。

[セキュリティパスワード変更]

セキュリティパスワードを変更します。

1) ▲▼ボタンで**[セキュリティパスワード変更]**を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- **[セキュリティパスワード変更]**画面を表示します。

3) ▲▼◀▶ボタンでパスワードを設定する

- 最大 8 つのボタン操作を設定できます。

4) 〈ENTER〉ボタンを押す

5) 確認のため、再度パスワードを入力する

6) 〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- 入力したパスワードは画面上では、*印で表示されます。
- パスワードを間違えると、画面上にエラーメッセージが表示されます。再度正しいパスワードを入力してください。

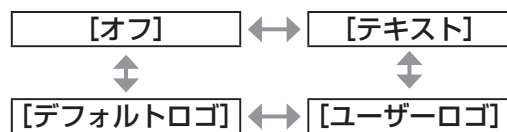
[表示設定]

投写中の映像に、セキュリティメッセージ(文字や画像)を重ねて表示させます。

1) ▲▼ボタンで**[表示設定]**を選択する

2) ◀▶ボタンで**[表示設定]**を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



[オフ]	テキスト表示を無効にします。
[テキスト]	テキスト表示を有効にします。
[ユーザーロゴ]	ユーザーが登録した画像を表示します。
[デフォルトロゴ]	Panasonic ロゴを表示します。

お知らせ

- **[デフォルトロゴ]**に設定すると、通常の投写状態でロゴが全画面表示されます。〈MENU〉ボタンを押してロゴ表示を解除してもメニュー画面が表示されているため、映像全体を見ることはできません。
- **[ユーザーロゴ]**の画像作成・登録には、別途ソフトウェア「ロゴ転送ソフトウェア」が必要です。弊社 WEB サイトサポート情報 (<http://panasonic.biz/projector/support/index.html>) のアプリケーションソフトダウンロードをご覧ください。

[テキスト変更]

[表示設定] で [テキスト] を選択し、テキスト表示を有効にしたときに表示する文字を変更します。

- 1) ▲▼ボタンで [テキスト変更] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - [テキスト変更] 画面を表示します。
- 3) ▲▼◀▶ボタンで文字を選び、<ENTER> ボタンを押して入力する
 - 最大 22 文字まで入力できます。
- 4) ▲▼◀▶ボタンで [OK] を選択し、<ENTER> ボタンを押す
 - テキストが変更されます。

[メニューロック]

<MENU> ボタンでメニューを表示し、メニュー操作できるかどうかを設定します。

- 1) ▲▼ボタンで [メニューロック] を選択する
- 2) ◀▶ボタンで [メニューロック] を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



[オフ]	メニュー操作のロックを解除します。
[オン]	メニュー操作をロックします。

お知らせ

- [メニューロック] を [オン] に設定後、間違ったパスワードを入力した場合は、<MENU> ボタンの操作ができません。
- お買い上げ時、または [全ユーザーデータ] 初期化後、パスワード設定は [オフ] になっています。
- ロック解除の状態は、本機がスタンバイ状態になるまで維持されます。

[メニューロックパスワード]

メニューロックパスワードを変更できます。

- 1) ▲▼ボタンで [メニューロックパスワード] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - [メニューロックパスワード] 画面を表示します。
- 3) ▲▼◀▶ボタンで文字を選び、<ENTER> ボタンを押して入力する
 - 最大 16 文字まで入力できます。
- 4) ▲▼◀▶ボタンで [OK] を選択し、<ENTER> ボタンを押す
 - 中止する場合は [CANCEL] を選んでください。

お願い

- 初めてご使用になるとき、または全ユーザーデータ初期化後、初期のパスワードは「AAAA」です。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。

[操作設定]

本体操作部とリモコンのボタン操作の有効 / 無効を設定します。

- 1) ▲▼ボタンで [操作設定] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - [操作設定] 画面を表示します。
- 3) ▲▼ボタンで [本体操作部] または [リモコン] を選択する
- 4) <ENTER> ボタンを押す
 - [本体操作部] 画面または [リモコン] 画面を表示します。

■ [本体操作部]

- 本体操作部からの制御の制限を設定できます。

[有効]	本体のボタン操作を有効にします。
[無効]	本体のボタン操作を無効にします。

[セキュリティ] について (つづき)

■ [リモコン]

- リモコンからの制御の制限を設定できます。

[有効]	リモコンのボタン操作を有効にします。
[無効]	リモコンのボタン操作を無効にします。

5) ▲▼ボタンで [有効] または [無効] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

6) 確認のメッセージが表示されるので、[実行] または [中止] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

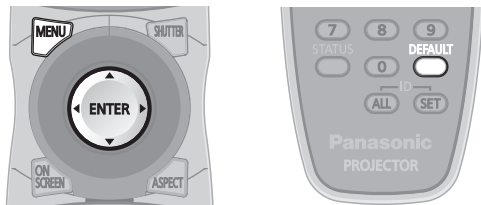
- [無効] に設定した側のボタンで操作すると、[セキュリティパスワード] 画面が表示されます。セキュリティパスワードを入力してください。
- [セキュリティパスワード] 画面は〈MENU〉ボタンを押すか、約 10 秒何も操作しなければ消えます。
- [本体操作部] と [リモコン] の操作を両方とも [無効] にした場合、電源を切る (スタンバイ状態にする) ことができなくなります。
- 設定が反映されるとメニュー画面が消えます。継続して操作する場合は、〈MENU〉ボタンを押してメインメニューを表示させてください。

[ネットワーク] について

メニュー画面で、メインメニューから [ネットワーク] を選び、サブメニューから項目を選んでください。

メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (P.39 ページ) をご覧ください。

- 項目を選んだら ▲▼◀▶ ボタンで設定してください。



[ネットワーク設定]

ネットワーク機能を使用する前に、ネットワークの初期設定を行ってください。

- 1) ▲▼ボタンで [ネットワーク設定] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - [ネットワーク設定] 画面を表示します。
- 3) ▲▼ボタンで各項目を選択し、メニューの操作指示に従って設定を変更する

[プロジェクト名]	DHCP サーバーを利用する場合などに変更してください。
[DHCP]	DHCP サーバーを利用し自動的に IP アドレスを取得する場合は [オン] にします。DHCP サーバーを利用しない場合は [オフ] にします。
[IP アドレス]	DHCP サーバーを利用しない場合は IP アドレスを入力します。
[サブネットマスク]	DHCP サーバーを利用しない場合はサブネットマスクを入力します。
[デフォルトゲートウェイ]	DHCP サーバーを利用しない場合はデフォルトゲートウェイアドレスを入力します。
[保存]	現在のネットワーク設定を保存します。

- 4) ▲▼ボタンで [保存] を選択し、<ENTER> ボタンを押す
- 5) 確認のメッセージが表示されるので、[実行] または [中止] を選択し、<ENTER> ボタンを押す

お知らせ

- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

[ネットワークコントロール]

ネットワークのコントロール方法を設定します。

- 1) ▲▼ボタンで [ネットワークコントロール] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - [ネットワークコントロール] 画面を表示します。
- 3) ▲▼ボタンで各項目を選択し、◀▶ ボタンで設定を変更する

[WEB コントロール]	WEB ブラウザーで制御したい場合 [オン] に設定します。
[PJLink コントロール]	PJLink プロトコルで制御したい場合 [オン] に設定します。
[コマンドコントロール]	<SERIAL IN> / <SERIAL OUT> 端子の制御コマンド形式 (P.97 ページ) で制御したい場合 [オン] に設定します。 “LAN 経由の制御コマンドについて” (P.94 ページ) をご確認ください。
[コマンドポート]	コマンドコントロールで使用するポート番号を設定します。
[保存]	現在のネットワークコントロール設定を保存します。

- 4) ▲▼ボタンで [保存] を選択し、<ENTER> ボタンを押す
- 5) 確認のメッセージが表示されるので、[実行] または [中止] を選択し、<ENTER> ボタンを押す

[ネットワークステータス]

本体のネットワーク状態を表示します。

- 1) ▲▼ボタンで [ネットワークステータス] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - [ネットワークステータス] 画面を表示します。

[ネットワーク] について (つづき)

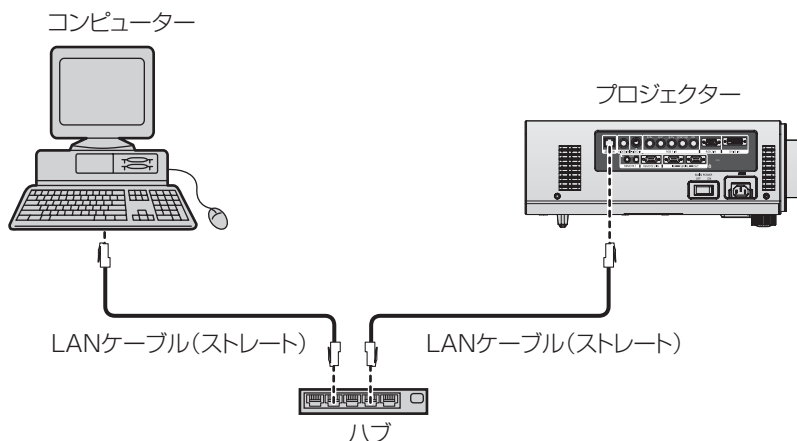
ネットワーク接続

本機はネットワーク機能を備えており、WEB ブラウザーコントロールを使用してコンピューターから下記のような操作ができます。

- プロジェクターの設定と調整
- プロジェクターの状態表示
- プロジェクターが異常時に E メールメッセージを送信

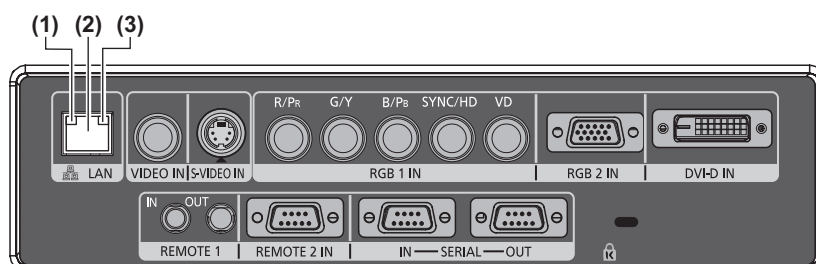
お知らせ

- ネットワーク機能を使用する場合は、LAN ケーブルが必要です。



- 本機能をご使用になる場合は、WEB ブラウザーが必要です。あらかじめ WEB ブラウザーが利用できることを確認してください。
対応 OS : Windows XP/Windows Vista/Windows 7、Mac OS X v10.4/v10.5/v10.6
対応ブラウザ : Internet Explorer 6.0/7.0/8.0、Safari 2.0/3.0/4.0 (Mac OS)
- E メール機能をご使用になる場合は、E メールサーバーと通信する必要があります。あらかじめ E メールが利用できることを確認してください。
- LAN ケーブルはストレート結線でカテゴリ 5 以上対応のものをご使用ください。
- LAN ケーブル長は 100 m 以下のものをご使用ください。

■ ネットワーク機能の各部の名称とはたらき



(1) LAN10/100 ランプ (黄色)

100BASE-TX 接続時に点灯します。

(2) <LAN> 端子 (10BASE-T/100BASE-TX)

LAN ケーブルを接続します。

(3) LAN LINK/ACT ランプ (緑色)

接続時に点灯します。

送受信時に点滅します。

お願い

- LAN は屋内の機器に接続してください。

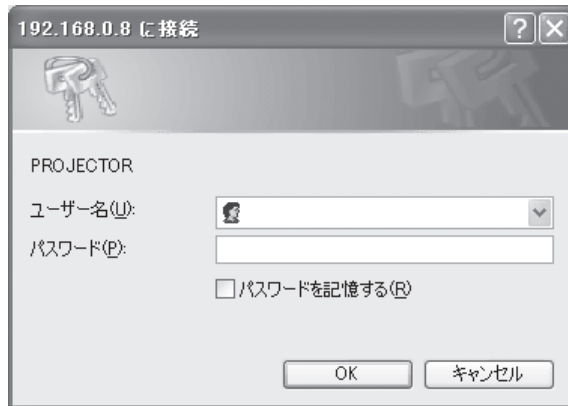
WEB ブラウザーからのアクセスのしかた

1) コンピューターの WEB ブラウザーを起動する

2) WEB ブラウザーの URL 入力欄に本機で設定した IP アドレスを入力する

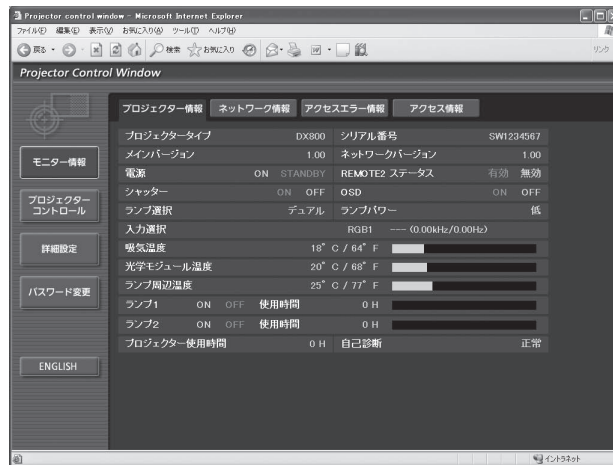
3) ユーザー名とパスワードを入力する

- 工場出荷時の設定は、ユーザー名:user1 (ユーザー権限) /admin1 (アドミニストレーター権限)、パスワード:panasonic (小文字) です。



4) OK をクリックする

- [プロジェクター情報] ページが表示されます。

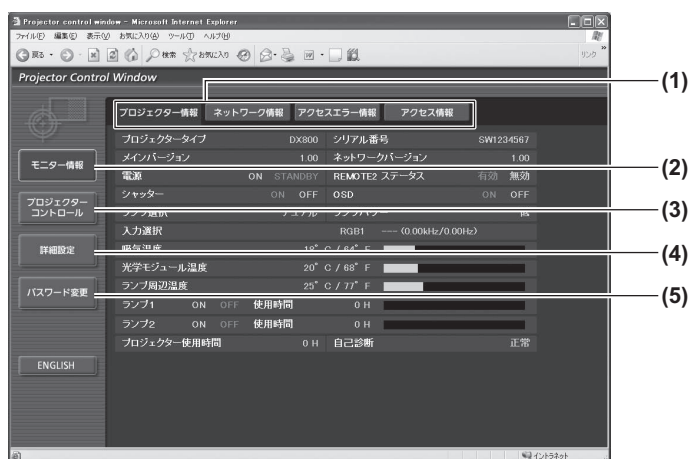


お知らせ

- WEB ブラウザーで制御する場合は、[ネットワークコントロール] (☞ 71 ページ) で [WEB コントロール] を [オン] に設定してください。
- WEB ブラウザーを同時に複数立ち上げて、設定や制御をするのは避けてください。また、複数台のパソコンから同一のプロジェクターに対して設定や制御をするのも避けてください。
- 最初にパスワードを変更してください。(☞ 84 ページ)
- アドミニストレーター権限は、全機能を使用できます。ユーザー権限は、[プロジェクター情報] (☞ 74 ページ)、エラー情報ページの確認 (☞ 75 ページ)、[ネットワーク情報] (☞ 76 ページ)、[基本制御] (☞ 77 ページ)、[パスワード変更] (☞ 84 ページ) のみ使用できます。
- パスワードを 3 回続けて間違えると、数分間ロックされます。

[ネットワーク] について (つづき)

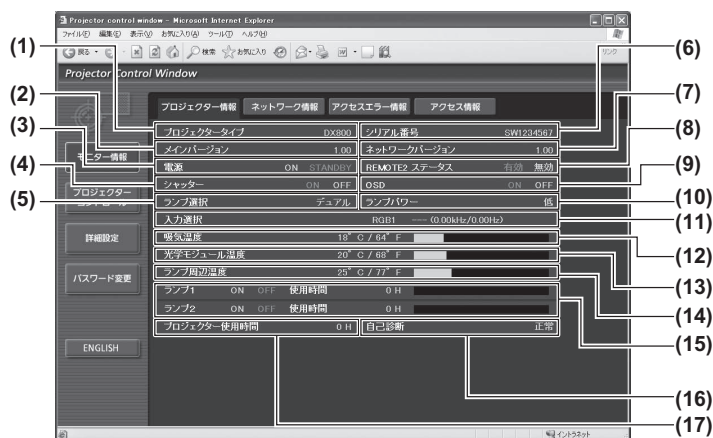
■ 各項目の説明



- (1) ページ切り換えタブ
クリックすると、ページが切り換わります。
- (2) [モニター情報]
この項目をクリックすると、プロジェクターの状態が表示されます。
- (3) [プロジェクターコントロール]
この項目をクリックすると、[プロジェクターコントロール] ページが表示されます。
- (4) [詳細設定]
この項目をクリックすると、[詳細設定] ページが表示されます。
- (5) [パスワード変更]
この項目をクリックすると、[パスワード変更] ページが表示されます。

■ [プロジェクター情報] ページ

[モニター情報] → [プロジェクター情報] をクリックします。
以下の項目における本機の状態を表示します。

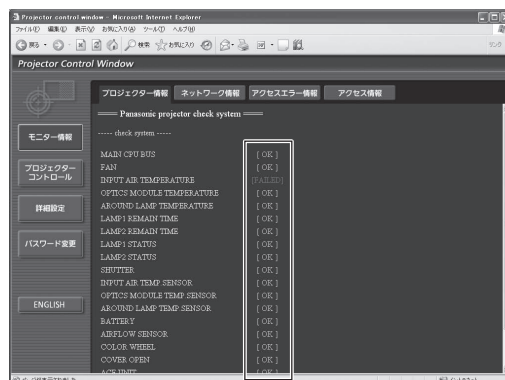
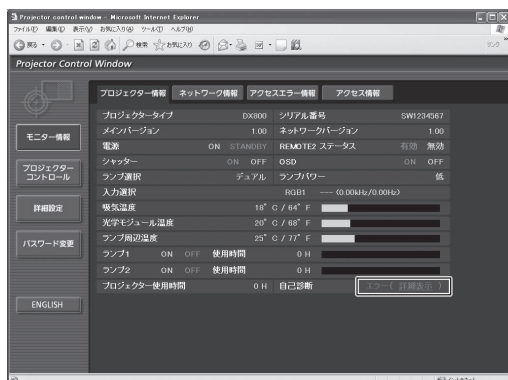


- (1) [プロジェクタータイプ]
プロジェクターの種類を表示します。
- (2) [メインバージョン]
プロジェクター本体のファームウェアバージョンを表示します。
- (3) [電源]
電源の状態を表示します。
- (4) [シャッター]
シャッターの状態を表示します。
- (5) [ランプ選択]
[ランプ選択] (☞ 60 ページ) の設定状態を表示します。
- (6) [シリアル番号]
プロジェクターのシリアル番号を表示します。
- (7) [ネットワークバージョン]
ネットワークのファームウェアのバージョンを表示します。
- (8) [REMOTE2 ステータス]
<REMOTE 2 IN> 端子による制御状態を表示します。
- (9) [OSD]
オンスクリーン表示の状態を表示します。
- (10) [ランプパワー]
[ランプ出力] (☞ 61 ページ) の設定状態を表示します。
- (11) [入力選択]
入力切り換えの状態を表示します。
- (12) [吸気温度]
プロジェクターの吸気温度状態を表示します。
- (13) [光学モジュール温度]
プロジェクターの内部温度状態を表示します。
- (14) [ランプ周辺温度]
プロジェクターのランプ周辺温度状態を表示します。
- (15) [ランプ 1] [ランプ 2] [使用時間]
ランプの点灯状態、使用時間を表示します。
- (16) [自己診断]
自己診断情報を表示します。
- (17) [プロジェクター使用時間]
プロジェクターの稼働時間を表示します。

■ エラー情報ページ

[プロジェクター情報] 画面の自己診断情報表示欄に [エラー (詳細表示)] が表示されたとき、その部分をクリックするとエラー内容が表示されます。

- エラーの内容によっては、プロジェクター保護のためスタンバイ状態になります。



[OK]:正常動作
[FAILED]:異常発生

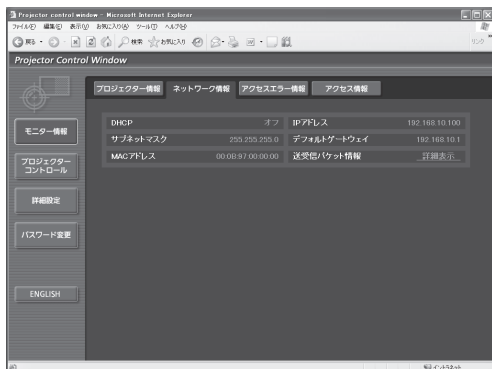
● 異常発生 [FAILED] の項目説明 :

項目	説明
[MAIN CPU BUS]	マイコン回路に異常があります。販売店にご相談ください。
[FAN]	ファンやファン駆動回路に異常があります。販売店にご相談ください。
[INTAKE AIR TEMPERATURE]	吸気温度が高くなっています。暖房機器の近くなど、使用環境温度の高い環境で使用している可能性があります。
[OPTICS MODULE TEMPERATURE]	本機内部の温度が高くなっています。暖房機器の近くなど、使用環境温度の高い環境で使用している可能性があります。
[AROUND LAMP TEMPERATURE]	ランプ周辺の温度が高くなっています。排気口がふさがれている可能性があります。
[LAMP1 REMAIN TIME]	ランプ使用時間が所定の時間を超えており、ランプを交換する時期になっています。
[LAMP2 REMAIN TIME]	
[LAMP1 STATUS]	ランプ点灯に失敗しています。光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。
[LAMP2 STATUS]	
[SHUTTER]	シャッター回路に異常があります。販売店にご相談ください。
[INTAKE AIR TEMP.SENSOR]	吸気温度感知用センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
[OPTICS MODULE TEMP.SENSOR]	本機内部の温度感知センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
[AROUND LAMP TEMP. SENSOR]	排気温度感知用センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
[BATTERY]	電池交換が必要です。販売店にご相談ください。
[AIRFLOW SENSOR]	風量センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
[COLOR WHEEL]	カラーホイールやカラーホイール駆動回路に異常があります。販売店にご相談ください。
[COVER OPEN]	ランプユニット収納扉の取り付けが不完全です。ランプユニット収納扉の取り付けを確認してください。(👉 90 ページ)
[FILTER UNIT]	エアフィルターユニットが装着されていません。エアフィルターユニットの取り付けを確認してください。(👉 88 ページ)
[AIR FILTER]	エアフィルターユニットにほこりがたまりすぎています。主電源 (MAIN POWER) スイッチを (OFF) にして (👉 33 ページ)、エアフィルターのお手入れをしてください。(👉 87 ページ)

[ネットワーク] について (つづき)

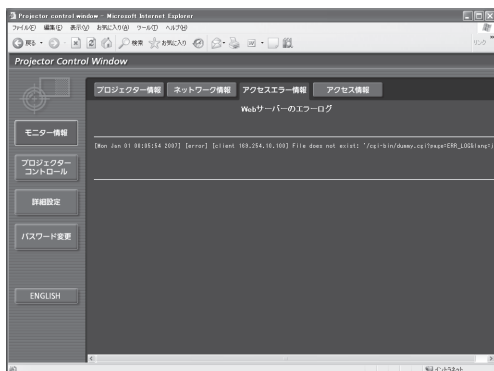
■ [ネットワーク情報] ページ

[モニター情報] → [ネットワーク情報] をクリックします。
現在のネットワークの設定情報が表示されます。



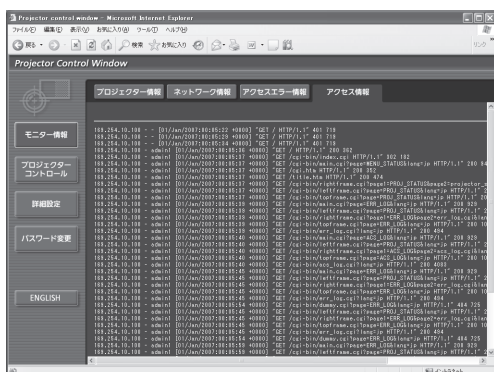
■ [アクセスエラー情報] ページ

[モニター情報] → [アクセスエラー情報] をクリックします。
存在しないページへのアクセスや不正なユーザー名、パスワードでのアクセスなどの WEB サーバーのエラー情報が表示されます。



■ [アクセス情報] ページ

[モニター情報] → [アクセス情報] をクリックします。
WEB 制御ページへアクセスしたユーザー名、アクセス元 IP アドレス、アクセス時間などの情報が表示されます。

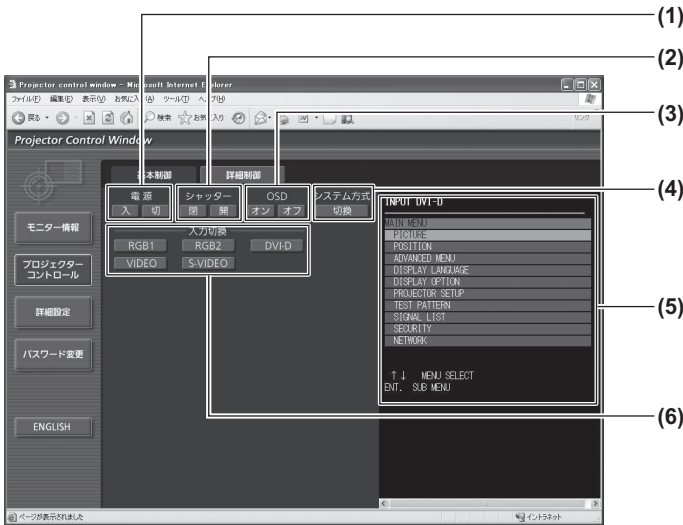


お知らせ

- [アクセスエラー情報] / [アクセス情報] は、過去数千回分のアクセス / リクエストを表示します。一度に多量のアクセス / リクエストが発生した場合は、情報からみれる可能性があります。
- [アクセスエラー情報] / [アクセス情報] は、定期的に確認してください。

■ [基本制御] ページ

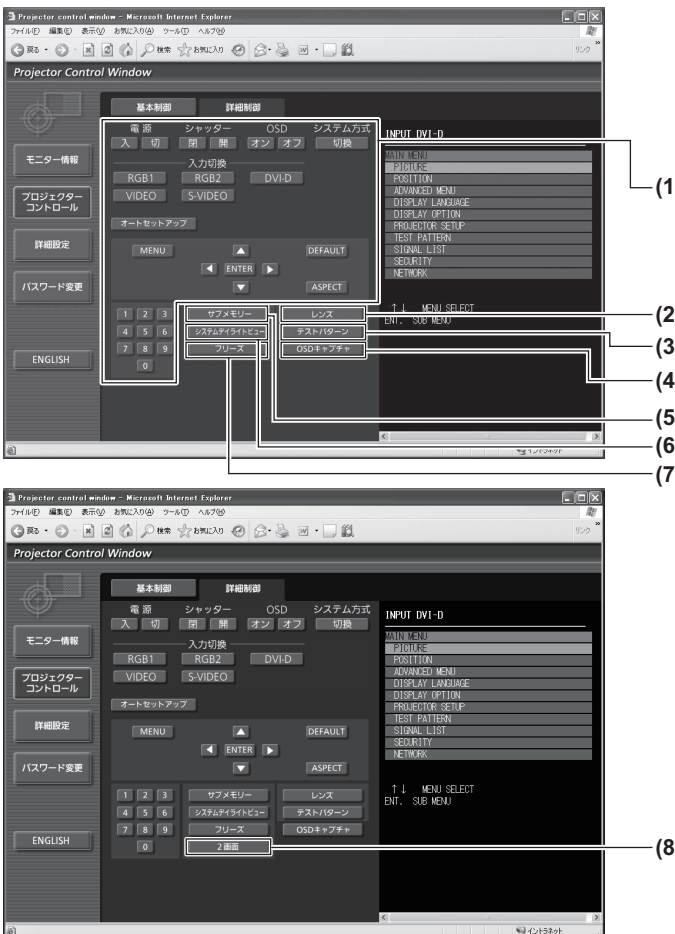
[プロジェクターコントロール] → [基本制御] をクリックします。



- (1) [電源] ([入] / [切])
電源の入 / 切を切り換えます。
- (2) [シャッター] ([閉] / [開])
シャッター機能を使用するかどうかを切り換えます。
- (3) [OSD] ([オン] / [オフ])
オンスクリーン表示機能のオン (表示) / オフ (非表示) を切り換えます。
- (4) [システム方式] ([切換])
システム方式を切り換えます。
- (5) プロジェクターのオンスクリーン表示
プロジェクターのオンスクリーン表示と同じ内容が表示されます。メニューの設定内容の確認や変更ができます。オンスクリーン表示機能がオフ (非表示) に設定されていても表示されます。
- (6) [入力切換] ([RGB1] / [RGB2] / [DVI-D] / [VIDEO] / [S-VIDEO])
入力信号を切り換えます。

■ [詳細制御] ページ

[プロジェクターコントロール] → [詳細制御] をクリックします。

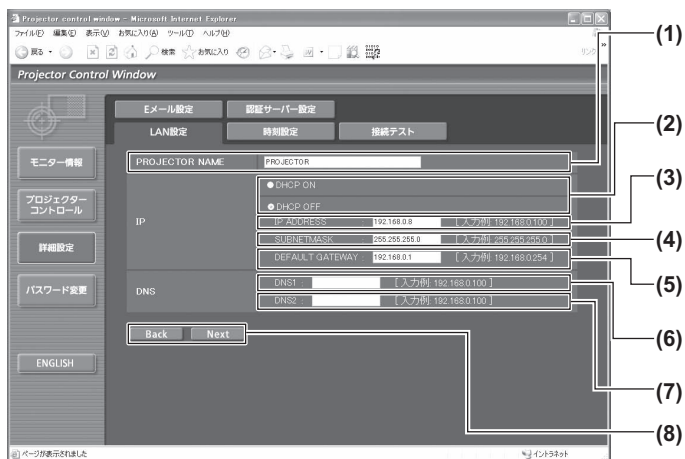


- (1) プロジェクターの制御
リモコンのボタンと同じように各ボタンを押すことによりプロジェクターを制御します。制御後に制御ページ右側のプロジェクターのオンスクリーン表示を更新します。
- (2) [レンズ]
投写レンズを調整します。
- (3) [テストパターン]
テストパターンを表示します。
- (4) [OSD キャプチャ]
制御ページ右側のプロジェクターのオンスクリーン表示を最新の状態に更新します。
- (5) [サブメモリー]
サブメモリーの切り換えをします。
- (6) [システムデライトビュー]
システムデライトビューの設定を切り換えます。
- (7) [フリーズ]
映像を一時的に静止画の状態にします。
- (8) [2画面] (PT-DW730 のみ)
異なる 2 つの入力信号を、同時に表示します。

■ [LAN 設定] ページ

[詳細設定] → [LAN 設定] をクリックします。

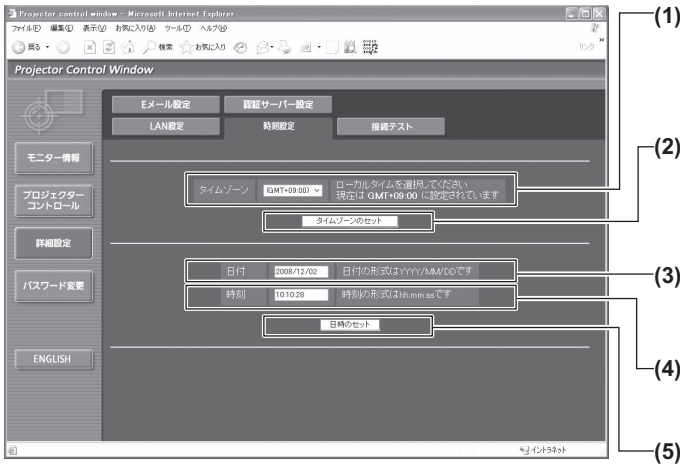
- [LAN 設定] をクリックすると、[CAUTION!] 画面が表示されます。
- [Next] ボタンを押すと、現在の設定内容が表示されます。
- [Change] ボタンを押すと、下図の設定変更画面が表示されます。



- (1) **[PROJECTOR NAME]**
プロジェクターの名前を入力します。DHCP サーバーを利用する場合などにホスト名が必要であれば入力してください。
- (2) **[DHCP ON] / [DHCP OFF]**
DHCP クライアント機能を有効にする場合は [DHCP ON] にします。
- (3) **[IP ADDRESS]**
DHCP サーバーを利用しない場合は IP アドレスを入力します。
- (4) **[SUBNETMASK]**
DHCP サーバーを利用しない場合はサブネットマスクを入力します。
- (5) **[DEFAULT GATEWAY]**
DHCP サーバーを利用しない場合はゲートウェイアドレスを入力します。
- (6) **[DNS 1]**
DNS1 サーバーアドレス (プライマリー) の入力使用可能文字：
数字 (0～9)、ピリオド (.)
(例：192.168.0.253)
- (7) **[DNS2]**
DNS2 サーバーアドレス (セカンダリー) の入力使用可能文字：
数字 (0～9)、ピリオド (.)
(例：192.168.0.254)
- (8) **[Back] / [Next]**
[Next] ボタンを押すと、設定内容を確認する画面が表示されます。[Submit] を押して設定を更新します。

■ [時刻設定] ページ

[詳細設定] → [時刻設定] をクリックします。



- (1) **[タイムゾーン]**
タイムゾーンを選択します。
(日本は GMT+09:00)
- (2) **[タイムゾーンのセット]**
タイムゾーンの設定を更新します。
- (3) **[日付]**
変更する日付を入力します。
- (4) **[時刻]**
変更する時間を入力します。
- (5) **[日時のセット]**
日時設定を更新します。

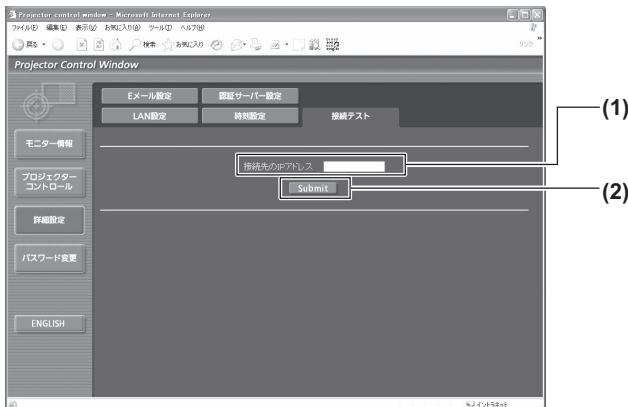
お知らせ

- 時刻を設定してもすぐに時刻が合わなくなる場合は、本機内部の電池交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

■ [接続テスト] ページ

メールサーバー、POP サーバー、DNS サーバーなどとネットワークが接続しているかを確認できます。

[詳細設定] → [接続テスト] をクリックします。



- (1) **[接続先の IP アドレス]**
テストするサーバーの IP アドレスを入力します。
- (2) **[Submit]**
接続テストを実行します。

```
PING 198.245.80.10 (198.245.80.10): 56 data bytes
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=0 ttl=255 time=0.7 ms
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=1 ttl=255 time=0.4 ms
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=2 ttl=255 time=0.4 ms
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=3 ttl=255 time=0.4 ms
--- 198.245.80.10 ping statistics ---
4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 0.4/0.4/0.7 ms
```

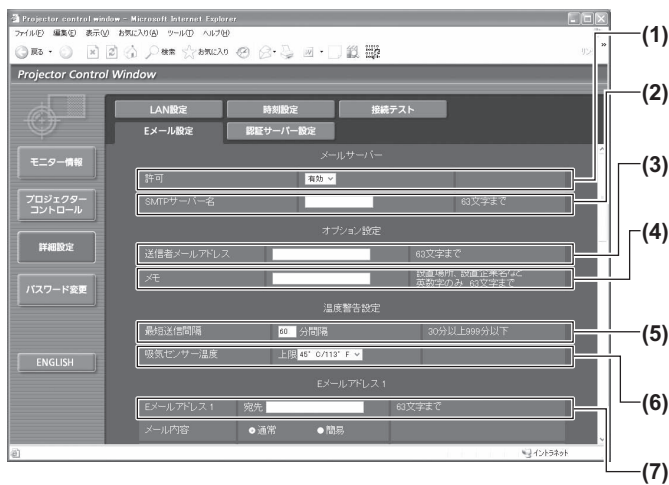
- (3) 接続できた場合の表示例
- (4) 接続できなかった場合の表示例

```
PING 198.245.80.100 (198.245.80.100): 56 data bytes
--- 198.245.80.100 ping statistics ---
4 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
```

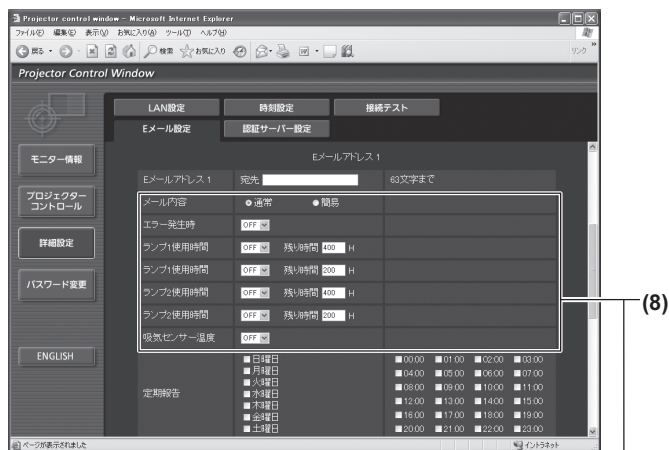
[ネットワーク] について (つづき)

■ [Eメール設定] ページ

異常時やランプの使用時間が設定値になったとき、あらかじめ設定しておいた E メールアドレス (最大 2 か所) にメールを送信できます。
[詳細設定] → [Eメール設定] をクリックします。



- (1) **[許可]**
Eメール機能を使用する場合は「有効」を選択してください。
- (2) **[SMTPサーバー名]**
Eメールサーバー (SMTP) の IP アドレスかサーバー名を入力してください。サーバー名を入力する場合は、DNSサーバーの設定が必要です。
- (3) **[送信者メールアドレス]**
プロジェクターの Eメールアドレスを入力してください。(半角で 63 文字まで)
- (4) **[メモ]**
Eメールの発信元がわかりやすいように、プロジェクターの設置場所などを入力できます。(半角で 63 文字まで)
- (5) **[最短送信間隔]**
温度警告メールの最短時間間隔を変更できます。初期値は 60 分です。この場合、温度警告メールを送信後 60 分間は、再び警告温度になってもメールを送信できません。
- (6) **[吸気センサー温度]**
温度警告メール用の設定温度を変更できます。この値を超えた場合、温度警告メールを送信します。
- (7) **[Eメールアドレス 1]**
送信する宛先の Eメールアドレスを入力してください。

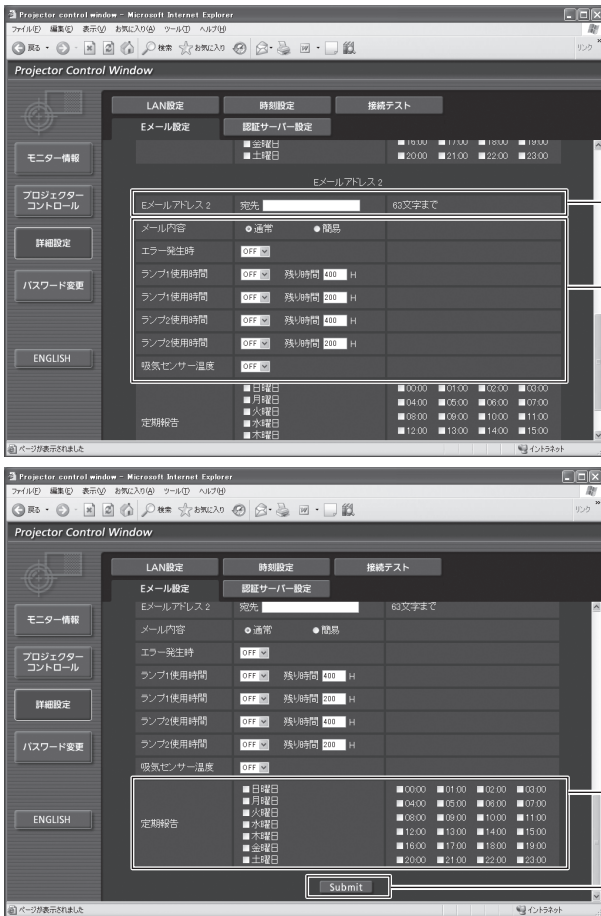


- (8) **Eメールを送信する条件の設定**
Eメールを送信する条件を選択します。
[メール内容] : 「通常」か「簡易」を選択します。
[エラー発生時] : 自己診断でエラーが発生した場合に送信します。
[ランプ 1 使用時間] : ランプ 1 の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合に送信します。
[ランプ 2 使用時間] : ランプ 2 の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合に送信します。
[吸気センサー温度] : 吸気温度が上欄に設定された値になった場合に送信します。
[定期報告] : Eメールを定期的を送信する場合はチェックします。チェックの付いている曜日・時間にメールを送信します。



調整と設定

■ [Eメール設定] ページ (つづき)



(1) [Eメールアドレス 2]

2つのEメールアドレスを使う場合に、送信する宛先のEメールアドレスを入力します。
2つのEメールアドレスを使わない場合は未記入にします。

(2) Eメールを送信する条件の設定

2つ目のEメールアドレスにEメールを送信する条件を選択します。

[メール内容] :

[通常] か [簡易] を選択します。

[エラー発生時] :

自己診断でエラーが発生した場合に送信します。

[ランプ1 使用時間] :

ランプ1の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合に送信します。

[ランプ2 使用時間] :

ランプ2の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合に送信します。

[吸気センサー温度] :

吸気温度が上欄に設定された値になった場合に送信します。

[定期報告] :

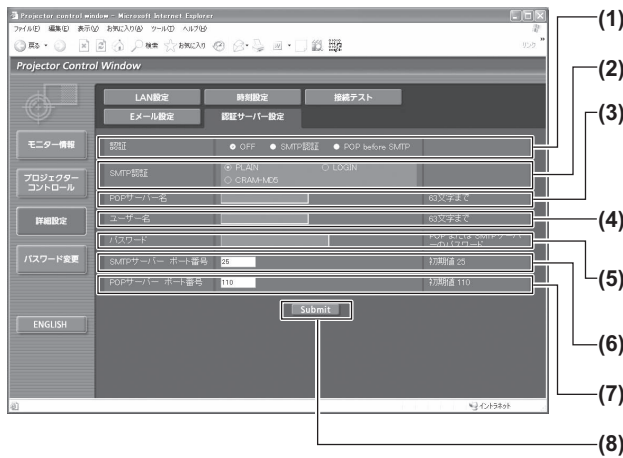
2つ目のEメールアドレスにEメールを定期的
に送信する場合はチェックします。チェックの
付いている曜日・時間にメールを送信します。

(3) [Submit]

設定を更新します。

■ [認証サーバー設定] ページ

メール送信に POP 認証または SMTP 認証が必要な場合は認証項目を設定します。
[詳細設定] → [認証サーバー設定] をクリックします。



- (1) **[認証]**
インターネットプロバイダー側が指示する認証方式を選択します。
- (2) **[SMTP 認証]**
SMTP 認証を選択した場合に設定します。
- (3) **[POP サーバー名]**
POP サーバー名を入力します。
使用可能文字：
英数字 (A～Z、a～z、0～9)
マイナス記号 (-) ピリオド (.)
- (4) **[ユーザー名]**
POP サーバーまたは SMTP サーバーのユーザー名を入力します。
- (5) **[パスワード]**
POP サーバーまたは SMTP サーバーのパスワードを入力します。
- (6) **[SMTP サーバー ポート番号]**
SMTP サーバーのポート番号を入力します。
(通常は 25 番です)
- (7) **[POP サーバー ポート番号]**
POP サーバーのポート番号を入力します。
(通常は 110 番です)
- (8) **[Submit]**
設定を更新します。

■送信するメール内容

●E メール設定時のメール送信例

E メール設定を行ったときはこのようなメールを発信します。

```

=== Panasonic projector report(CONFIGURE) ===
Projector Type      : DX800
Serial No          : SH1234567

--- E-mail setup data ---
TEMPERATURE WARNING SETUP
MINIMUM TIME       at [ 60] minutes interval
INTAKE AIR TEMPERATURE Over [ 45C / 113F ]

ERROR              [ OFF ]
LAMP1 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 400] H
LAMP1 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 200] H
LAMP2 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 400] H
LAMP2 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 200] H
INTAKE AIR TEMPERATURE [ OFF ]
PERIODIC REPORT
Sunday [ OFF] Monday [ OFF] Tuesday [ OFF] Wednesday [ OFF ]
Thursday [ OFF] Friday [ OFF] Saturday [ OFF ]

00:00 [ OFF ] 01:00 [ OFF ] 02:00 [ OFF ] 03:00 [ OFF ]
04:00 [ OFF ] 05:00 [ OFF ] 06:00 [ OFF ] 07:00 [ OFF ]
08:00 [ OFF ] 09:00 [ OFF ] 10:00 [ OFF ] 11:00 [ OFF ]
12:00 [ OFF ] 13:00 [ OFF ] 14:00 [ OFF ] 15:00 [ OFF ]
16:00 [ OFF ] 17:00 [ OFF ] 18:00 [ OFF ] 19:00 [ OFF ]
20:00 [ OFF ] 21:00 [ OFF ] 22:00 [ OFF ] 23:00 [ OFF ]

--- check system ---
MAIN CPU BUS           [ OK ]
FAN                    [ OK ]
INTAKE AIR TEMPERATURE [ OK ]
OPTICS MODULE TEMPERATURE [ OK ]
AROUND LAMP TEMPERATURE [ OK ]
    
```

●エラー時のメール送信例

エラーになったときはこのようなメールを発信します。

```

=== Panasonic projector report(ERROR) ===
Projector Type      : DX800
Serial No          : SH1234567

--- check system ---
MAIN CPU BUS           [ OK ]
FAN                    [ OK ]
INTAKE AIR TEMPERATURE [ OK ]
OPTICS MODULE TEMPERATURE [ OK ]
AROUND LAMP TEMPERATURE [ OK ]
LAMP1 REMAIN TIME      [ OK ]
LAMP2 REMAIN TIME      [ OK ]
LAMP1 STATUS           [ OK ]
LAMP2 STATUS           [ OK ]
SHUTTER                [ OK ]
INTAKE AIR TEMP.SENSOR [ OK ]
OPTICS MODULE TEMP.SENSOR [ OK ]
AROUND LAMP TEMP.SENSOR [ OK ]
BATTERY                [ OK ]
AIRFLOW SENSOR         [ OK ]
COLOR WHEEL            [ OK ]
COVER OPEN             [ OK ]
FILTER UNIT            [ FAILED ]
AIR FILTER              [ OK ]
(Error code 04 00 00 00 00 00 00)

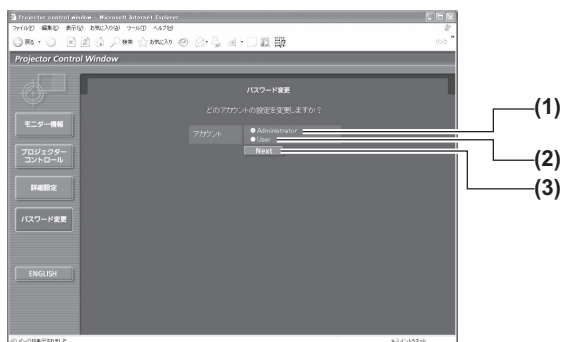
Intake air temperature : 27 degC / 80 degF
Optics module temperature : 33 degC / 91 degF
Around lamp temperature : 32 degC / 89 degF
PROJECTOR RUNTIME      0 H
POWER ON                0 times
LAMP1 ON                0 times
LAMP1 LOW               0 H
LAMP1 HIGH              0 H
LAMP1 REMAIN            2000 H
LAMP2 ON                0 times
LAMP2 LOW               0 H
LAMP2 HIGH              0 H
LAMP2 REMAIN            2000 H

--- Current status ---
MAIN VERSION            1.00
NETWORK VERSION         1.00
    
```

[ネットワーク] について (つづき)

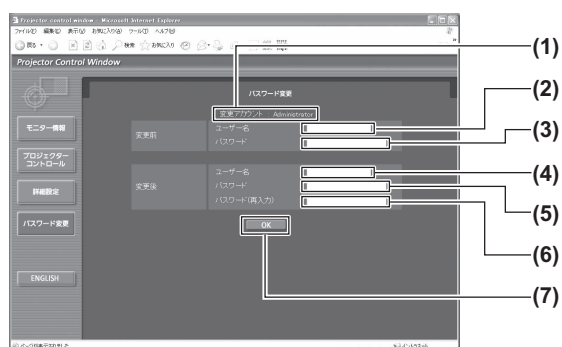
■ ユーザー名 [パスワード変更] ページ

[パスワード変更] をクリックします。



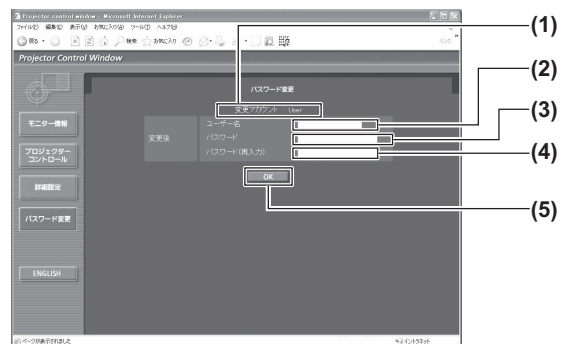
- (1) **[Administrator]**
[Administrator] (アドミニストレーター) の設定を変更する場合に選択します。
- (2) **[User]**
[User] (ユーザー) の設定を変更する場合に選択します。
- (3) **[Next]**
パスワードの設定を変更する画面を表示します。

● [Administrator] (アドミニストレーター) について



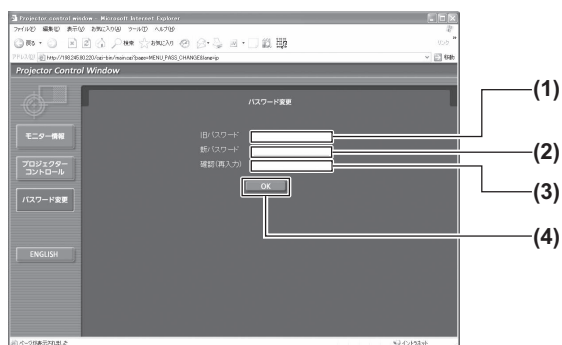
- (1) **[変更アカウント]**
変更するアカウントが表示されます。
- (2) **[変更前] [ユーザー名]**
変更前のユーザー名を入力します。
- (3) **[変更前] [パスワード]**
変更前のパスワードを入力します。
- (4) **[変更後] [ユーザー名]**
変更後のユーザー名を入力します。
- (5) **[変更後] [パスワード]**
変更後のパスワードを入力します。
- (6) **[変更後] [パスワード (再入力)]**
変更後のパスワードを再度入力します。
- (7) **[OK]**
パスワードの変更を確認します。

● [User] (ユーザー) について



- (1) **[変更アカウント]**
変更するアカウントが表示されます。
- (2) **[変更後] [ユーザー名]**
変更後のユーザー名を入力します。
- (3) **[変更後] [パスワード]**
変更後のパスワードを入力します。
- (4) **[変更後] [パスワード (再入力)]**
変更後のパスワードを再度入力します。
- (5) **[OK]**
パスワードの変更を確認します。

● [パスワード変更] (ユーザー権限でアクセスした場合) ユーザー権限時はパスワードの変更のみ有効です。



- (1) **[旧パスワード]**
変更前のパスワードを入力します。
- (2) **[新パスワード]**
変更後のパスワードを入力します。
- (3) **[確認 (再入力)]**
変更後のパスワードを再度入力します。
- (4) **[OK]**
パスワードの変更を確認します。

お知らせ

- アドミニストレーターのアカウントを変更する場合は、[変更前] の [ユーザー名] と [パスワード] の入力が必要です。

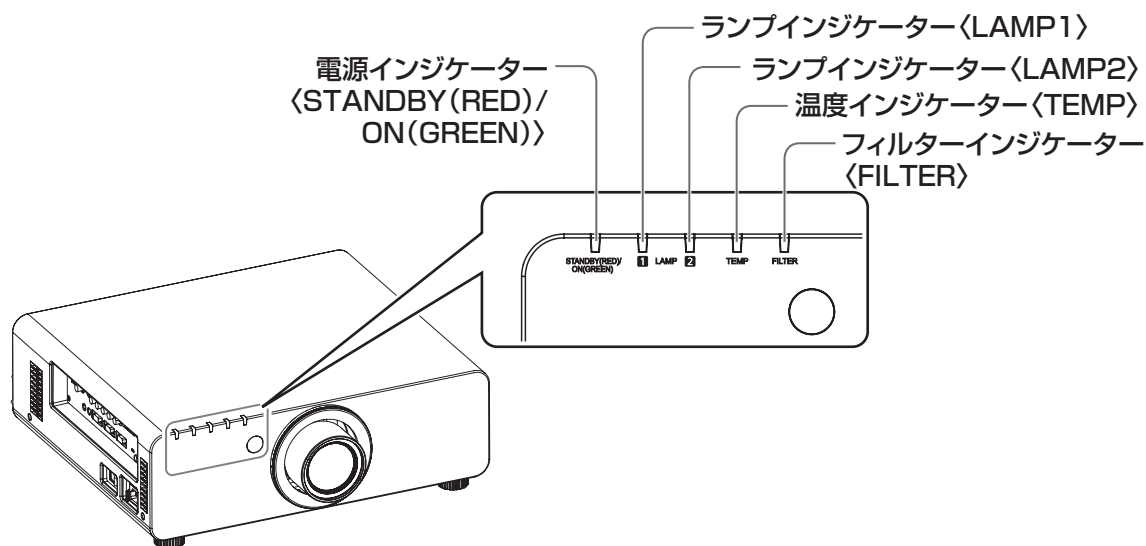
ランプ / 温度 / フィルターインジケータ

インジケータが点灯したら

本機内部に異常が発生すると、ランプインジケータ〈LAMP1〉 / 〈LAMP2〉・温度インジケータ〈TEMP〉・フィルターインジケータ〈FILTER〉のインジケータが点灯や点滅でお知らせします。インジケータの状態を調べて、次の処置を行ってください。

お願い

- 処置を行う際に電源を切るときは、“電源を切る” (☞ 33 ページ) の手順を必ずお守りください。
- 電源の状態は、電源インジケータ〈STANDBY (RED) / ON (GREEN)〉で確認してください。(☞ 31 ページ)



■ ランプインジケータ 〈LAMP1〉 / 〈LAMP2〉

点灯状況	赤色点灯	赤色点滅 (1回)	赤色点滅 (3回)
状態	ランプユニットの交換時期を表示している	ランプユニットが装着されていない	ランプまたはランプ用電源の異常を検知している
お調べください	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の電源を入れたときに「ランプを交換してください。」という表示が出ませんでしたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ランプユニットが装着されていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切った後すぐに電源を入れ直していませんか。 ● ランプ回路に異常が発生しています。電源電圧が変動(低下)していませんか。
処置方法	<ul style="list-style-type: none"> ● ランプユニットの使用時間が1800時間([ランプ出力]を[高]に設定時)に達すると点灯します。 ● ランプユニットを交換してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ランプユニットが装着されていない場合は、ランプユニットを装着してください。 ● ランプユニットが装着されているのに赤色点滅をしている場合は、販売店にご相談ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。 ● 主電源〈MAIN POWER〉スイッチを〈OFF〉にして(☞ 33 ページ)、販売店にご相談ください。

お知らせ

- 上記の処置をしてもランプインジケータ〈LAMP1〉 / 〈LAMP2〉が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

ランプ / 温度 / フィルターインジケーター (つづき)

■ 温度インジケーター 〈TEMP〉

点灯状況	赤色点灯		赤色点滅 (1回)	赤色点滅 (3回)
状態	ウォームアップ状態	内部が高温になっている (警告)	内部が高温になっている (スタンバイ状態)	ファンが止まっている
お調べください	● 気温が低い (0℃付近) 状態で電源を入れませんでしたか。	● 吸気口 / 排気口がふさがれていませんか。 ● 気温の高い所で使用していませんか。 ● フィルターインジケーター 〈FILTER〉 が点灯していませんか。		—
処置方法	● このままの状態でも5分ほどお待ちください。 ● 周囲温度 0℃～45℃*1 の場所に設置してください。	● 吸気口 / 排気口をふさいでいるものを取り除いてください。 ● 周囲温度 0℃～45℃*1、周囲湿度 20%～80% (非結露) の場所に設置してください。		● 主電源 〈MAIN POWER〉 スイッチを 〈OFF〉 にして (☞ 33 ページ)、販売店にご相談ください。

*1: 高地 (海拔 1 400 m ~ 2 700 m) で使用する場合、使用環境温度の上限は 5℃低くなります。

お知らせ

- 上記の処置をしても温度インジケーター 〈TEMP〉 が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。
- 次の2つを設定して本機を使用した場合、周囲温度が 40℃ ([高地モード] では 35℃) 以上になると、プロジェクターを保護するために、光出力が約 20%低下することがあります。
 - メニューで [ランプ選択] を [デュアル] に設定時
 - メニューで [ランプ出力] を [高] に設定時

■ フィルターインジケーター 〈FILTER〉

点灯状況	赤色点灯			赤色点滅
状態	フィルターが目づまりしている あるいは、周囲または内部が異常に高温になっている			エアフィルターユニットが装着されていない
お調べください	● エアフィルターユニットが汚れていませんか。	● 吸気口 / 排気口がふさがれていませんか。	● [高地モード] が正しく設定されていますか。	● エアフィルターユニットが装着されていますか。
処置方法	● エアフィルターユニットのお手入れをしてください。 (☞ 87 ページ)	● 吸気口 / 排気口をふさいでいるものを取り除いてください。	● 海拔 1 400 m 以上 ~ 2 700 m 未満で使用する場合は、[高地モード] (☞ 59 ページ) を [オン] に設定してください。 ● 海拔 2 700 m 以上の場所では使用しないでください。	● エアフィルターユニットを装着してください。

お知らせ

- 上記の処置をしてもフィルターインジケーター 〈FILTER〉 が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。
- 電源を入れたときに、エアフィルターユニットが装着されていない場合、フィルターインジケーター 〈FILTER〉 が赤色点滅し、10分後に電源が切れます。
- フィルターが目づまりすると、[ランプ選択] を [デュアル] に設定していても、ランプ 1 灯のみの点灯状態になることがあります。エアフィルターユニットのお手入れをするか、新しいエアフィルターユニットに交換すると解除されます。

お手入れ / 部品交換

お手入れ / 部品交換の前に

- お手入れや部品交換を行うときは、必ず電源を切ってください。(☞ 30、33 ページ)
- 電源を切るときは、“電源を切る” (☞ 33 ページ) の手順を必ずお守りください。

お手入れ

■ 外装ケース

汚れやほこりはやわらかい乾いた布でふき取ってください。

- 汚れがひどいときは水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤、または台所用洗剤を使用しないでください。使用すると外装ケースが変質するおそれがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■ レンズの前面

レンズの前面に付着したごみやほこりは、清潔なやわらかい乾いた布でふき取ってください。

- 毛羽立った布、油分・水分を含んだ布、ほこりの付いた布でふかないでください。
- レンズは傷つきやすい素材のため、強くこすらないでください。

お願い

- レンズはガラス部品です。堅いものに当てたり、強くふいたりすると傷つくおそれがあります。取り扱いにはご注意ください。

■ エアフィルターユニット

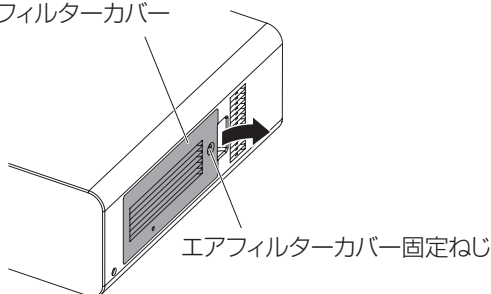
次の場合はエアフィルターユニットのお手入れを行ってください。

- エアフィルターがほこりなどによって目づまりし、画面上に交換メッセージが表示され、フィルターインジケーター〈FILTER〉が赤色点灯をした場合。

1) エアフィルターカバーを外す

- プラスドライバーでエアフィルターカバー固定ねじを反時計方向に空回りするまで回して、取り外してください。

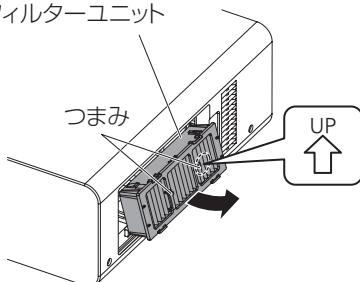
エアフィルターカバー



2) エアフィルターユニットを取り出す

- エアフィルターユニットのつまみを持ち、プロジェクター本体からエアフィルターユニットを引き出してください。

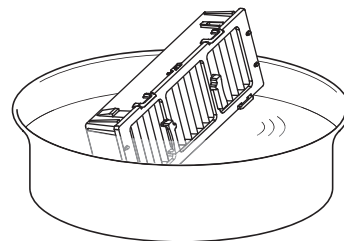
エアフィルターユニット



3) エアフィルターユニットを洗浄し、乾燥させる

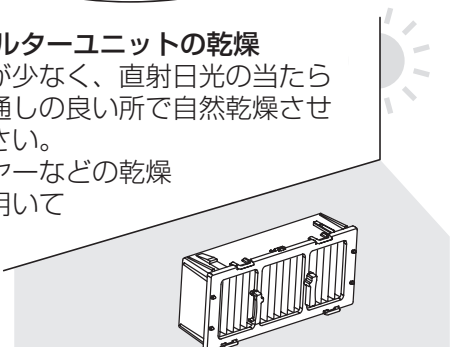
● エアフィルターユニットの洗浄

- (a) エアフィルターユニットを、水またはぬるま湯につけ、軽くゆすぐ
 - ブラシなどの洗浄器具は使用しないでください。
 - ゆすぐ際は、エアフィルターユニットの枠を持ち、フィルター部に強い力をかけないようにしてください。
- (b) 2～3回、新しい水ですすぎ洗いをする
 - すすぎが不十分だとにおいの原因になります。



● エアフィルターユニットの乾燥

- ほこりが少なく、直射日光の当たらない風通しの良い所で自然乾燥させてください。
- ドライヤーなどの乾燥器具を用いて乾燥させないでください。



お手入れ / 部品交換 (つづき)

4) エアフィルターユニットをプロジェクター本体に取り付ける

- エアフィルターユニットには、上下方向の区別があります。(矢印(↑)方向を確認してください。)
- 手順 2) の逆の手順で取り付けてください。

5) エアフィルターカバーをプロジェクター本体に取り付けて、プラスドライバーでエアフィルターカバー固定ねじを締めつける

- 手順 1) の逆の手順で取り付けてください。

お願い

- エアフィルターユニットを洗浄した際は、十分に乾燥させてから本体に取り付けてください。ぬれたまま取り付けると、感電や故障の原因になります。

- エアフィルターユニットを分解しないでください。

お知らせ

- エアフィルターユニットは必ず正しく取り付けてご使用ください。取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因になるため 10 分後に電源が切れます。(電源が切れるまでの時間が、1 分刻みで表示されます。)
- エアフィルターユニットを破損した場合や洗っても汚れが目立つ場合は、新しい交換用フィルターユニット(品番: ET-EMF300)に交換してください。
- 洗浄によるリサイクルは 2 回を目安に新品と交換することをお勧めします。
- 洗浄後のフィルターの性能は、初期に比べて低下することがあります。

部品交換

■ エアフィルターユニット

お手入れをしても、汚れが目立つようになったら交換時期です。
交換用フィルターユニット(品番: ET-EMF300)は別売品です。ご購入の際は販売店にご相談ください。

■ エアフィルターユニットの交換手順

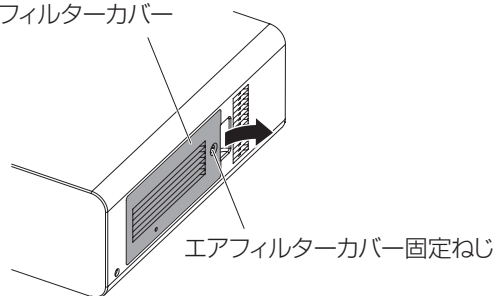
お願い

- エアフィルターユニットを交換する前に、必ず電源を切ってください。
- 部品交換に際しては、必ずプロジェクター本体の安定を確保して、エアフィルターユニットが落下しても安全な場所で実施してください。

1) エアフィルターカバーを外す

- プラスドライバーでエアフィルターカバー固定ねじを反時計方向に空回りするまで回して、取り外してください。

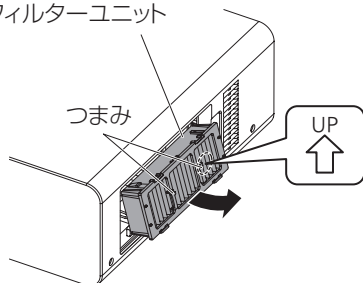
エアフィルターカバー



2) エアフィルターユニットを取り出す

- エアフィルターユニットのつまみを持ち、プロジェクター本体からエアフィルターユニットを引き出してください。

エアフィルターユニット



- エアフィルターユニットを取り出したあとに、エアフィルターユニット収納部及び本体側吸気口に大きなゴミ、ほこりがある場合は、取り除いてください。

3) 別売品の交換用フィルターユニット(品番: ET-EMF300)をプロジェクター本体に取り付ける

- エアフィルターユニットには、上下方向の区別があります。(矢印(↑)方向を確認してください。)
- 手順 2) の逆の手順で取り付けてください。

4) エアフィルターカバーをプロジェクター本体に取り付けて、プラスドライバーでエアフィルターカバー固定ねじを締めつける

- 手順 1) の逆の手順で取り付けてください。

お願い

- プロジェクターの電源を入れるときは、必ずエアフィルターユニットを取り付けて使用してください。取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因になるため 10 分後に電源が切れます。(電源が切れるまでの時間が、1 分刻みで表示されます。)

お知らせ

- エアフィルターユニットの交換サイクルは、使用環境によって大きく異なります。

■ ランプユニット

ランプユニットは消耗部品です。メニューの[プロジェクターセットアップ]→[ステータス](👁️ 62 ページ)でランプの使用時間を確認し、定期的に交換してください。

ランプユニットの交換は、専門の技術者にご依頼することをお勧めします。販売店にご相談ください。

交換用ランプユニット (品番: ET-LAD60A (1 灯)、ET-LAD60AW (2 灯)) をご購入の際は、販売店にご相談ください。



■ ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから (1 時間以上待ってから) 行う



カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。

■ ランプユニットの交換上のお願ひ

- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物に当てたり落下させたりすると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。
- ランプユニットを交換する際は、必ずランプユニットの取っ手を持って取り扱ってください。
- ランプは破裂することがあります。ランプのガラス破片が飛散しないように、ランプユニットは慎重に交換してください。また、本機を天井に取り付けている場合は、ランプユニットの真下で交換作業をしたり、顔を近づけたりしないでください。
- ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

お 願 ひ

- 必ず、指定のランプユニットを使用してください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。

■ ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。交換の目安は 2 000 時間ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境などの影響を受けて、2 000 時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めの交換用ランプユニットの準備をお勧めします。2 000 時間を過ぎても交換しないまま使用すると、本機故障の原因となるため約 10 分後に自動消灯します。

	オンスクリーン表示	ランプインジケータ
1 800 時間以降	30 秒間表示されます。30 秒以内に本体操作部またはリモコンのいずれかのボタンを押せば、表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。(該当のランプのみ点灯)
2 000 時間以降	いずれかのボタンを押すまで、メッセージは表示されたままです。	

お 知 ら せ

- 2 000 時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については“保証とアフターサービス”(👁️ 105 ページ)をご覧ください。

■ ランプユニットの交換手順

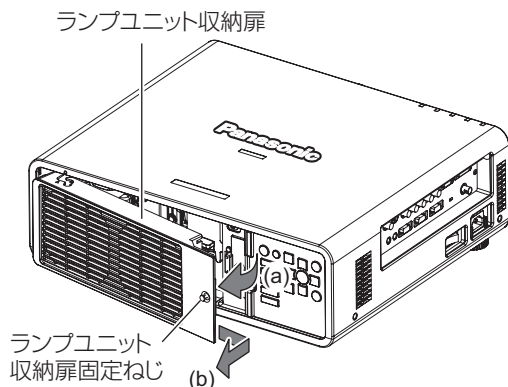
お願い

- 本機を天井に取り付けている場合、ランプユニットの近辺で顔を近づけて作業しないでください。
- ランプユニットや、ランプユニット収納扉は確実に取り付けてください。
- ランプユニットが取り付けにくいときは、いったん取り外してから入れ直してください。無理に押し込むとコネクター部分が破損する場合があります。

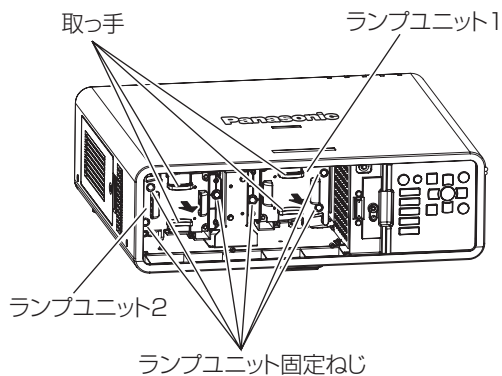
1) “電源を切る”(参照 33 ページ)の手順を守り、主電源〈MAIN POWER〉スイッチを〈OFF〉にしたあと、コンセントから電源プラグを抜き、1 時間以上待ってランプユニット近辺が冷えていることを確認する

2) ランプユニット収納扉を取り外す

- (a) ランプユニット収納扉固定ねじ (1 本) をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプユニット収納扉を矢印方向に開く
- (b) ランプユニット収納扉をしっかりと保持し、操作ボタン側にスライドさせた後、セット後方に引き出し取り外す



3) ランプユニット固定ねじ (それぞれ 3 本ずつ) をプラスドライバーで外し、取っ手をつまんでランプユニットを取り出す



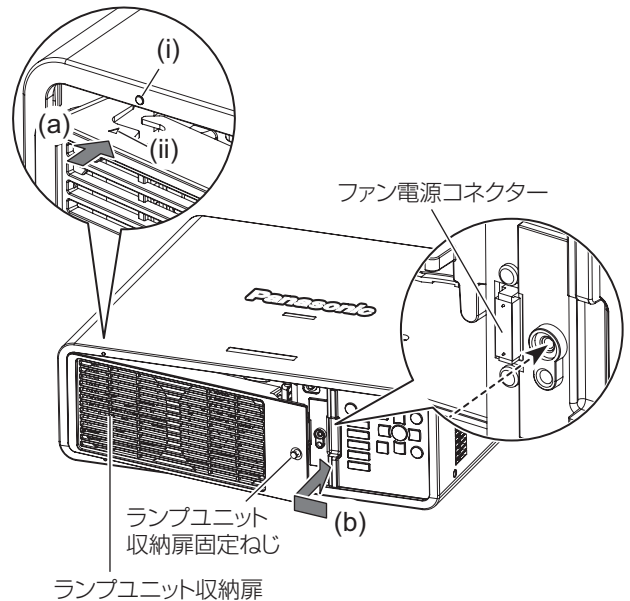
4) 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込む

5) ランプユニット固定ねじ (それぞれ 3 本ずつ) をプラスドライバーでしっかりと締めつける

6) ランプユニット収納扉を取り付ける

- (a) ランプユニット収納扉を、(i) と (ii) の印 (○と△) を合わせて取り付ける
- (b) ランプユニット収納扉を矢印のようにスライドさせ前方にはめ込んだ後、ランプユニット収納扉固定ねじでしっかりと締めつける

- ファン電源コネクターにランプユニット収納扉側のコネクターがしっかりと差し込まれるように取り付けてください。



お知らせ

- 新しいランプユニットに交換した場合、本機側でランプユニットの積算時間が自動的にリセットされます。

故障かな！？

もう一度次の点をお調べください。詳しくは、対応するページをご覧ください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	—
	● 主電源〈MAIN POWER〉スイッチを〈OFF〉にしていますか。	33
	● 電源プラグを差し込んでいるコンセントは通電していますか。	—
	● ブレーカーが落ちていませんか。	—
	● 温度インジケータ〈TEMP〉またはランプインジケータ〈LAMP1〉 / 〈LAMP2〉が点灯または点滅していませんか。	85、86
	● ランプユニット収納扉は確実に取り付けられていますか。	90
映像がでない	● 映像（出力）機器との接続は正しく行われていますか。	28
	● 入力切り換えは正しく選択されていますか。	36
	● [黒レベル] の調整が最小になっていませんか。	42
	● 本機に接続している外部機器は、正常に動作していますか。	—
	● シャッター機能を使用していませんか。	36
映像がボヤけている	● レンズのフォーカスは合っていますか。	34
	● 投写距離は適切ですか。	20
	● レンズが汚れていませんか。	13
	● 本機がスクリーンに対して垂直に設置されていますか。	—
色が薄い / 色あいが悪い	● [色の濃さ]、[色あい] は正しく調整されていますか。	42、43
	● 本体に接続している機器は正しく調整されていますか。	28
	● RGB ケーブルが切れていませんか。	—
リモコンがはたらかない	● 乾電池が消耗していませんか。	—
	● 乾電池の極性は正しくセットされていますか。	18
	● リモコンと本体のリモコン受信部の間に障害物はありませんか。	15
	● リモコン操作有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。	15
	● 蛍光灯などの影響を受けていませんか。	15
	● [操作設定] の [リモコン] の設定が [無効] になっていませんか。	69
	● 〈REMOTE 2 IN〉端子を使って外部制御を行っていませんか。	98
● ID ナンバーの設定の操作を間違えていませんか。	18	
メニュー画面が出ない	● オンスクリーン表示機能をオフ（非表示）にしていますか。	17、36
本体操作部のボタンがはたらかない	● [操作設定] の [本体操作部] の設定が [無効] になっていませんか。	69
	● 〈REMOTE 2 IN〉端子を使って外部制御を行っていませんか。	98

故障かな！？ (つづき)

正常な映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ● [システムセクター] の選択は正しく行われていますか。 ● ビデオテープなど、映像ソース側に異常はありませんか。 ● 本機が対応できない信号を入力していませんか。 	45 — 100
コンピューターからの映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ● ケーブルが長くありませんか。(10 m 以下にしてください。) ● ノート型コンピューターの外部映像出力が、正しく設定されていますか。(例：[Fn] + [F3] あるいは [Fn] + [F10] キーを同時に押すと、外部出力設定が切り替わる場合があります。コンピューターの機種によって異なりますので、コンピューター付属の説明書をご覧ください。) 	— —
コンピューターの DVI-D 出力の映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● [DVI-D IN] の設定が [EDID3]・[EDID2：PC] になっていますか。 ● コンピューターのグラフィックアクセラレーターのドライバーを最新バージョンにすることで改善する可能性があります。 ● [DVI-D IN] の設定を行ってから、コンピューターの電源を入れ直すことで改善する可能性があります。 	56 — 56

お願い

- 表の内容を確認後、正常に動作しない場合は販売店にご相談ください。(👁️ 105 ページ)

PJLink プロトコルを使用する

本機のネットワーク機能は PJLink クラス 1 に対応しており、PJLink プロトコルを使用してコンピューターからプロジェクターの設定やプロジェクターの状態問い合わせの操作ができます。

■対応コマンド

PJLink プロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表のとおりです。

コマンド	制御内容	備考
POWR	電源制御	パラメーター 0=スタンバイ 1=電源入
POWR?	電源状態問い合わせ	パラメーター 0=スタンバイ 1=電源入 2=クーリング中 3=ウォームアップ中
INPT	入力切り換え	パラメーター 11=RGB1 12=RGB2 21=VIDEO
INPT?	入力切り換え問い合わせ	22=S-VIDEO 31=DVI-D
AVMT	シャッター制御	パラメーター 30=シャッター機能オフ (映像ミュート解除)
AVMT?	シャッター状態問い合わせ	31=シャッター機能オン (映像ミュート)
ERST?	エラー状態問い合わせ	パラメーター 1 バイト目: ファンエラーを意味し、0～2 のいずれか 2 バイト目: ランプエラーを意味し、0～2 のいずれか 3 バイト目: 温度エラーを意味し、0～2 のいずれか 4 バイト目: カバーオープンエラーを意味し、0～2 のいずれか 5 バイト目: フィルターエラーを意味し、0～2 のいずれか 6 バイト目: その他のエラーを意味し、0～2 のいずれか 0～2 の各意味は下記のとおり 0=エラーを検知していない 1=警告 2=エラー
LAMP?	ランプ状態問い合わせ	パラメーター 1 つ目の数字 (1～5 桁): ランプ 1 使用時間 2 つ目の数字: 0=ランプ 1 消灯、1=ランプ 1 点灯 3 つ目の数字 (0～5 桁): ランプ 2 使用時間 4 つ目の数字: 0=ランプ 2 消灯、1=ランプ 2 点灯
INST?	入力切り換え一覧問い合わせ	パラメーターは下記の値を応答します 「11 12 21 22 31」
NAME?	プロジェクター名問い合わせ	[ネットワーク設定] の [プロジェクター名] で設定した名称を応答します
INF1?	メーカー名問い合わせ	「Panasonic」と応答します
INF2?	機種名問い合わせ	「DX800」「DW730」と機種名を応答します
INFO?	その他情報問い合わせ	バージョン番号などを応答します
CLSS?	クラス情報問い合わせ	「1」と応答します

■PJLink セキュリティー認証

PJLink で使用するパスワードは、WEB ブラウザーコントロールで設定したパスワードと同じです。認証なしで使用する場合は、WEB ブラウザーコントロールのパスワードをなしに設定してください。

- PJLink に関する仕様については、(社) ビジネス機械・情報システム産業協会の WEB サイトを参照してください。

URL <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

LAN 経由の制御コマンドについて

■ WEB コントロールアドミニストレーター権限パスワード設定時 (プロテクトモード)

● 接続方法

1) プロジェクターの IP アドレスとポート番号 (初期設定値 = 1024) を取得してプロジェクターへ接続を要求する

IP アドレス、ポート番号は共にプロジェクター本体のメニュー画面から取得できます。

IP アドレス	メインメニュー → [ネットワーク] → [ネットワークステータス] から取得
ポート番号	メインメニュー → [ネットワーク] → [ネットワークコントロール] → [コマンドポート] から取得

2) プロジェクターからの応答を確認する 応答データ

データ部	空白	モード	空白	乱数部	終端記号
"NTCONTROL" (ASCII 文字列) 9 bytes	' '	'1'	' '	"ZZZZZZZZ" (ASCII コード 16 進数) 8 bytes	(CR) 0x0d 1 byte
	0x20 1 byte	0x31 1 byte	0x20 1 byte		

モード：1 = プロテクトモード

3) MD5 アルゴリズムを用いて以下のデータから 32 バイトのハッシュ値を生成する "xxxxxx:yyyyy:zzzzzzz"

xxxxxx	WEB コントロールのアドミニストレーター権限ユーザー名 (デフォルトのユーザー名は "admin1")
yyyyy	上記アドミニストレーター権限ユーザーのパスワード (デフォルトのパスワードは "panasonic")
zzzzzzz	手順 2) で取得した 8 バイトの乱数

● コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

ヘッダー			データ部	終端記号
ハッシュ値 (上記 "接続方法" 参照) 32 bytes	'0'	'0'	制御コマンド (ASCII 文字列) 不定長	(CR) 0x0d 1 byte
	0x30 1 byte	0x30 1 byte		

受信データ

ヘッダー			データ部	終端記号
'0'	'0'	制御コマンド (ASCII 文字列) 不定長	(CR) 0x0d 1 byte	
0x30 1 byte	0x30 1 byte			

エラー応答

エラーメッセージ		終端記号
"ERR1"	未定義の制御コマンド	(CR) 0x0d 1 byte
"ERR2"	パラメーター範囲外	
"ERR3"	ビジー状態または受け付け不可期間	
"ERR4"	タイムアウトまたは受け付け不可期間	
"ERR5"	データ長不正	
"ERRA"	パスワード不一致	
	4 byte	

■ WEB コントロールアドミニストレーター権限パスワード非設定時 (非プロテクトモード)

● 接続方法

1) プロジェクターの IP アドレスとポート番号 (初期設定値 = 1024) を取得してプロジェクターへ接続を要求する

IP アドレス、ポート番号は共にプロジェクター本体のメニュー画面から取得できます。

IP アドレス	メインメニュー → [ネットワーク] → [ネットワークステータス] から取得
ポート番号	メインメニュー → [ネットワーク] → [ネットワークコントロール] → [コマンドポート] から取得

2) プロジェクターからの応答を確認する

応答データ

データ部	空白	モード	終端記号
"NTCONTROL" (ASCII 文字列) 9 bytes	' ' 0x20 1 byte	'0' 0x30 1 byte	(CR) 0x0d 1 byte

モード：0=非プロテクトモード

● コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

ヘッダー		データ部	終端記号
'0' 0x30 1 byte	'0' 0x30 1 byte	制御コマンド (ASCII 文字列) 不定長	(CR) 0x0d 1 byte

受信データ

ヘッダー		データ部	終端記号
'0' 0x30 1 byte	'0' 0x30 1 byte	制御コマンド (ASCII 文字列) 不定長	(CR) 0x0d 1 byte

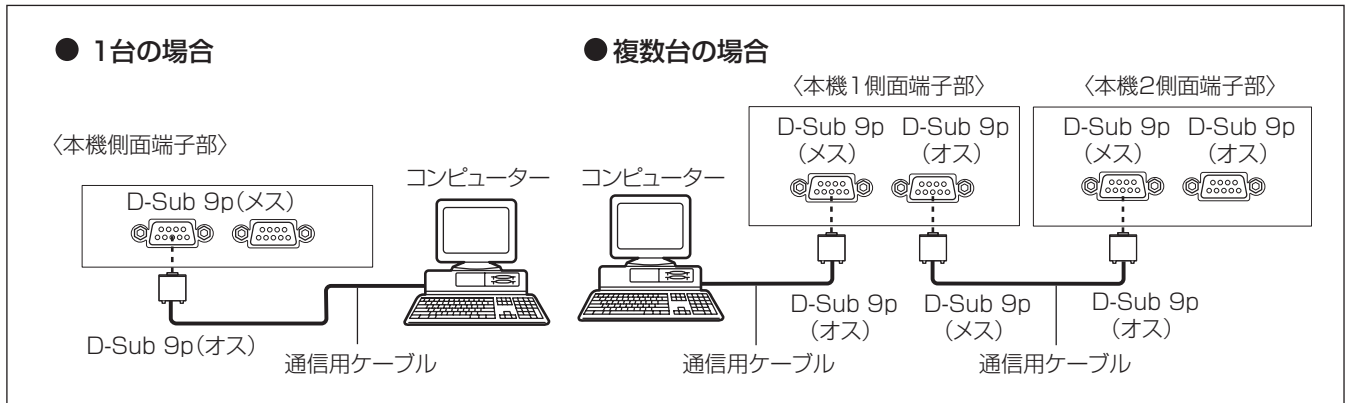
エラー応答

エラーメッセージ		終端記号
"ERR1"	未定義の制御コマンド	(CR) 0x0d
"ERR2"	パラメーター範囲外	
"ERR3"	ビジー状態または受け付け不可期間	
"ERR4"	タイムアウトまたは受け付け不可期間	
"ERR5"	データ長不正	
"ERRA"	パスワード不一致	
4 byte		1 byte

シリアル端子について

本機の側面接続端子部の〈SERIAL IN〉 / 〈SERIAL OUT〉 端子は RS-232C に準拠しており、コンピューターと接続して本機をコンピューターで制御できます。

■ 接続



■ ピン配列と信号名

D-Sub9 ピン (メス) 外側から見た図	ピン No.	信号名	内容
	(1)	—	NC
	(2)	TXD	送信データ
	(3)	RXD	受信データ
	(4)	—	内部で接続されています
	(5)	GND	グラウンド
	(6)	—	NC
	(7)	CTS	内部で接続されています
	(8)	RTS	内部で接続されています
	(9)	—	NC

D-Sub9 ピン (オス) 外側から見た図	ピン No.	信号名	内容
	(1)	—	NC
	(2)	RXD	受信データ
	(3)	TXD	送信データ
	(4)	—	NC
	(5)	GND	グラウンド
	(6)	—	NC
	(7)	RTS	内部で接続されています
	(8)	CTS	内部で接続されています
	(9)	—	NC

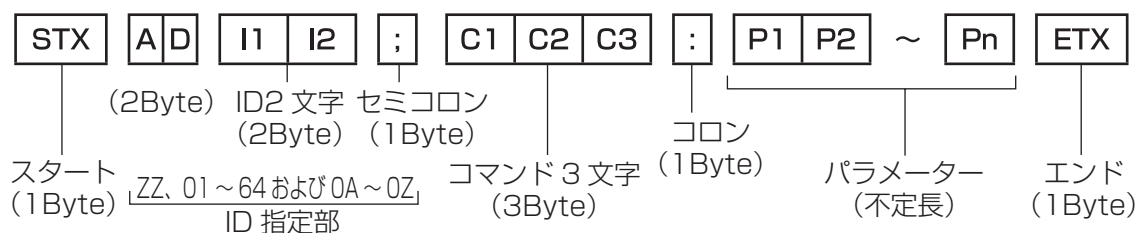
■ 通信条件 (工場出荷時の状態)

信号レベル	RS-232C 準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600 bps
パリティ	なし

キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
S パラメーター	なし

■基本フォーマット

コンピューターからの伝送は STX で開始され、続いて ID、コマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



お願い

- ランプ点灯開始直後にコマンドを送信すると、応答が遅く返って来たり、コマンドが実行できなかつたりすることがあります。60 秒経過後に送受信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから 0.5 秒以上経過後に次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン (:) は必要ありません。

お知らせ

- コマンドが実行できない場合、本機から「ER401」という応答がコンピューター側に送信されます。
- 無効なパラメーターを送信すると、本機から「ER402」という応答がコンピューター側に送信されます。
- RS-232C での ID 送信は ZZ (オール) と 01 ~ 64 および 0A ~ 0Z のグループの対応になっています。
- ID 指定でコマンドを送信した場合、以下のときのみコンピューターへの応答を返します。
 - 本機 ID と一致した場合
 - ID 指定がオールかつ応答 (ID オール) が「オン」の場合
 - ID 指定がグループかつ応答 (ID グループ) が「オン」の場合
- STX と ETX はキャラクターコードです。STX は 16 進数で表すと 02、ETX は 16 進数で表すと 03 となります。

■ケーブル仕様

<コンピューターと接続する場合>

本機側 (<<SERIAL IN> 端子)	1	NC	NC	1	コンピューター側 (DTE 仕様)
	2			2	
	3			3	
	4	NC	NC	4	
	5			5	
	6	NC	NC	6	
	7			7	
	8			8	
	9	NC	NC	9	

<本機を複数台接続する場合>

本機 1 側 (<<SERIAL OUT> 端子)	1	NC	NC	1	本機 2 側 (<<SERIAL IN> 端子)
	2			2	
	3			3	
	4	NC	NC	4	
	5			5	
	6	NC	NC	6	
	7			7	
	8			8	
	9	NC	NC	9	

■制御コマンド

コンピューターで本機を制御する際のコマンドは下表のとおりです。

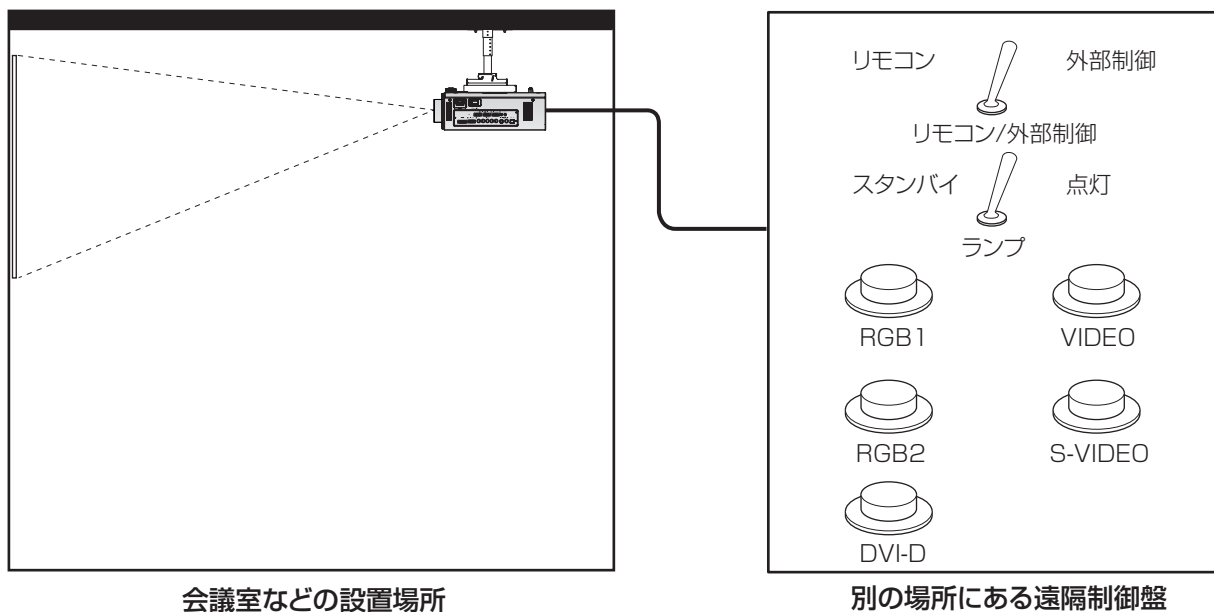
<操作コマンド>

コマンド	内容	備考 (パラメーター)
PON	電源入	電源が入っているかを確認する場合は、「電源問い合わせ」コマンドを使用してください。
POF	電源スタンバイ	
QPW	電源問い合わせ	000=スタンバイ 001=電源入
IIS	入力信号切り換え	VID=VIDEO SVD=S-VIDEO RG1=RGB1 RG2=RGB2 DVI=DVI-D
QSL	使用ランプ選択問い合わせ	0=デュアル 1=シングル*1 2=ランプ 1 3=ランプ 2
LPM	ランプモード	0=デュアル 1=シングル*1 2=ランプ 1 のみオン 3=ランプ 2 のみオン
OLP	ランプ出力設定	0=高 1=低

*1: ランプ 1、ランプ 2 のうち使用時間の短い方を使用します。

リモート 2 入力端子について

リモコンの信号が届かないくらい、本体から離れた場所にある制御盤から本体を遠隔制御（接点制御）できます。本体の側面接続端子部にある〈REMOTE 2 IN〉端子を使用して、制御盤と接続します。



■ ピン配列と信号名

D-Sub9 ピン (外側から見た図)	ピン No.	信号名	オープン (H)	ショート (L)
	(1)	GND	—	GND
	(2)	POWER	OFF	ON
	(3)	RGB1	その他	RGB1
	(4)	RGB2	その他	RGB2
	(5)	VIDEO	その他	VIDEO
	(6)	S-VIDEO	その他	S-VIDEO
	(7)	DVI-D	その他	DVI-D
	(8)	SHUTTER	OFF	ON
	(9)	RST/SET	リモコン制御	外部接点制御

お願い

- 制御を行う場合は必ず、(1) 番、(9) 番ピンを短絡させてください。
- (1) 番、(9) 番ピンを短絡させると、本体操作部とリモコンの以下のボタンが使用できなくなります。
電源入〈I〉ボタン、電源スタンバイ〈P〉ボタン、〈SHUTTER〉ボタンと、これらの機能に相当する RS-232C 用コマンドやネットワーク機能も使用できなくなります。
- (1) 番、(9) 番ピンを短絡させて、さらに (3) ~ (7) 番ピンのいずれかと (1) 番ピンを短絡させると、本体操作部とリモコンの以下のボタンが使用できなくなります。
電源入〈I〉ボタン、電源スタンバイ〈P〉ボタン、〈RGB1〉ボタン、〈RGB2〉ボタン、〈DVI-D〉ボタン、〈VIDEO〉ボタン、〈S-VIDEO〉ボタン、〈SHUTTER〉ボタン、これらの機能に相当する RS-232C 用コマンドやネットワーク機能も使用できなくなります。

お知らせ

- (2) 番ピン ~ (8) 番ピンの設定は、[REMOTE2 端子モード] を [ユーザー] に設定すると変更できます。(P. 62 ページ)

2画面表示組み合わせ一覧表 (PT-DW730のみ)

入力 A 入力 B	RGB1 静止画	RGB1 動画	RGB2 静止画	RGB2 動画	VIDEO	S-VIDEO	DVI 静止画	DVI 動画
RGB1 静止画	—	—	✓	✓	✓	✓	✓	✓
RGB1 動画	—	—	✓	—	—	—	✓	—
RGB2 静止画	✓	✓	—	—	✓	✓	✓	✓
RGB2 動画	✓	—	—	—	—	—	✓	—
VIDEO	✓	—	✓	—	—	—	✓	—
S-VIDEO	✓	—	✓	—	—	—	✓	—
DVI 静止画	✓	✓	✓	✓	✓	✓	—	—
DVI 動画	✓	—	✓	—	—	—	—	—

✓：2画面表示組み合わせが可能

—：2画面表示組み合わせが不可能

「動画」として扱う信号：

480i、576i、480p、576p、1080/60i、1080/50i、1080/60p、
1080/50p、1080/24sF、1080/30p、1080/25p、1080/24p、
720/60p、720/50p、NTSC、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N、PAL60

メニューロックパスワードについて

パスワードを初期設定に戻す場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

対応信号リスト

本機が投写できる映像信号は下表のとおりです。

対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	画質 ^{*3}	プラグアンドプレイ対応 ^{*6}			フォーマット ^{*7}
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			RGB2	DVI-D EDID1	DVI-D EDID2	
NTSC/NTSC4.43/ PAL-M/PAL60	720 x 480i	15.7	59.9	—	A	—	—	—	V/S
PAL/PAL-N/SECAM	720 x 576i	15.6	50.0	—	A	—	—	—	V/S
525i (480i)	720 x 480i	15.7	59.9	13.5	A	—	—	—	R/Y
625i (576i)	720 x 576i	15.6	50.0	13.5	A	—	—	—	R/Y
525p (480p)	720 x 483	31.5	59.9	27.0	A	—	✓	—	D/R/Y
625p (576p)	720 x 576	31.3	50.0	27.0	A	—	✓	—	D/R/Y
1125 (1080) /60i ^{*1}	1 920 x 1 080i	33.8	60.0	74.3	A	—	✓	—	D/R/Y
1125 (1080) /50i	1 920 x 1 080i	28.1	50.0	74.3	A	—	✓	—	D/R/Y
1125 (1080) /24p	1 920 x 1 080	27.0	24.0	74.3	A	—	✓	—	D/R/Y
1125 (1080) /24sF	1 920 x 1 080i	27.0	24.0	74.3	A	—	—	—	D/R/Y
1125 (1080) /25p	1 920 x 1 080	28.1	25.0	74.3	A	—	✓	—	D/R/Y
1125 (1080) /30p	1 920 x 1 080	33.8	30.0	74.3	A	—	—	—	D/R/Y
1125 (1080) /60p	1 920 x 1 080	67.5	60.0	148.5	A	—	✓	—	D/R/Y
1125 (1080) /50p	1 920 x 1 080	56.3	50.0	148.5	A	—	✓	—	D/R/Y
750 (720) /60p	1 280 x 720	45.0	60.0	74.3	AA ^{*4}	—	✓	—	D/R/Y
750 (720) /50p	1 280 x 720	37.5	50.0	74.3	AA ^{*4}	—	✓	—	D/R/Y
VGA400	640 x 400	31.5	70.1	25.2	A	—	—	—	D/R
	640 x 400	37.9	85.1	31.5	A	—	—	—	D/R
VGA480	640 x 480	31.5	59.9	25.2	A	✓	✓	✓	D/R
	640 x 480	35.0	66.7	30.2	A	—	—	—	D/R
	640 x 480	37.9	72.8	31.5	A	✓	—	✓	D/R
	640 x 480	37.5	75.0	31.5	A	✓	—	✓	D/R
	640 x 480	43.3	85.0	36.0	A	—	—	—	D/R
SVGA	800 x 600	35.2	56.3	36.0	A	✓	—	✓	D/R
	800 x 600	37.9	60.3	40.0	A	✓	—	✓	D/R
	800 x 600	48.1	72.2	50.0	A	✓	—	✓	D/R
	800 x 600	46.9	75.0	56.3	A	✓	—	✓	D/R
	800 x 600	53.7	85.1	56.3	A	—	—	—	D/R
MAC16	832 x 624	49.7	74.6	57.3	A	✓	—	✓	D/R
XGA	1 024 x 768	39.6	50.0	51.9	AA ^{*5}	—	—	—	D/R
	1 024 x 768	48.4	60.0	65.0	AA ^{*5}	✓	—	✓	D/R
	1 024 x 768	56.5	70.1	75.0	AA ^{*5}	✓	—	✓	D/R
	1 024 x 768	60.0	75.0	78.8	AA ^{*5}	✓	—	✓	D/R
	1 024 x 768	65.5	81.6	86.0	AA ^{*5}	—	—	—	D/R
	1 024 x 768	68.7	85.0	94.5	AA ^{*5}	—	—	—	D/R
	1 024 x 768	80.0	100.0	105.0	AA ^{*5}	—	—	—	D/R
	1 024 x 768	96.7	120.0	130.0	AA ^{*5}	—	—	—	D/R

対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	画質 ^{*3}	プラグアンドプレイ対応 ^{*6}			フォーマット ^{*7}
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			RGB2	DVI-D EDID1	DVI-D EDID2	
MXGA	1 152 x 864	64.0	71.2	94.2	A	—	—	—	D/R
	1 152 x 864	67.5	74.9	108.0	A	—	—	—	D/R
	1 152 x 864	76.7	85.0	121.5	A	—	—	—	D/R
MAC21	1 152 x 870	68.7	75.1	100.0	A	✓	—	✓	D/R
1280 x 768	1 280 x 768	39.6	49.9	65.3	AA ^{*4}	—	—	—	D/R
	1 280 x 768	47.8	59.9	79.5	AA ^{*4}	—	—	—	D/R
1280 x 800	1 280 x 800	41.3	50.0	68.0	AA ^{*4}	—	—	—	D/R
	1 280 x 800	49.7	59.8	83.5	AA ^{*4}	—	—	—	D/R
MSXGA	1 280 x 960	60.0	60.0	108.0	A	—	—	—	D/R
SXGA	1 280 x 1 024	64.0	60.0	108.0	A	✓	—	✓	D/R
	1 280 x 1 024	80.0	75.0	135.0	A	✓	—	✓	D/R
	1 280 x 1 024	91.1	85.0	157.5	B	—	—	—	D/R
SXGA+	1 400 x 1 050	65.2	60.0	122.6	A	✓	—	✓	D/R
	1 400 x 1 050	82.2	75.0	155.9	B	—	—	—	D/R
WXGA+	1 440 x 900	55.9	59.9	106.5	A	—	—	—	D/R
UXGA	1 600 x 1 200	75.0	60.0	162.0	B	✓	—	✓	D/R
WSXGA+	1 680 x 1 050	65.3	60.0	146.3	A	—	—	—	D/R
1920 x 1080 ^{*2}	1 920 x 1 080	66.6	59.9	138.5	A	—	—	—	D/R
WUXGA ^{*2}	1 920 x 1 200	74.0	60.0	154.0	B	✓	—	✓	D/R

*1： 1035/60i 信号が入力された場合、1080/60i 信号として表示します。

*2： VESA CVT-RB (Reduced Blanking) 準拠

*3： 画質を表す記号は下記のとおりです。

- AA： 最高の画質で投写できます。
- A： 画像処理回路で変換し、投写します。
- B： 画像処理回路で画素を間引いて投写します。

*4： PT-DX800 は記号 A になります。

*5： PT-DW730 は記号 A になります。

*6： プラグアンドプレイ対応に ✓ がある信号は、プロジェクターの EDID (拡張ディスプレイ識別データ) に記述している信号です。プラグアンドプレイ対応に ✓ が無い信号でもフォーマット欄に記載があれば入力可能です。プラグアンドプレイ対応に ✓ が無い信号は、コンピューターが対応していても解像度の選択ができない場合があります。

*7： フォーマットを表す記号は下記のとおりです。

- V： ビデオ
- S： Sビデオ
- D： DVI-D
- R： RGB
- Y： YPbPr

お知らせ

- PT-DW730 の表示ドット数は 1 280 x 800、PT-DX800 の表示ドット数は 1 024 x 768 です。解像度が異なる信号は表示ドット数に変換されて表示されます。
- 解像度のドット数の後ろにある「i」はインターレース信号を意味します。
- インターレース信号接続時は映像にちらつきが発生することがあります。

仕様

本機の仕様は下表のとおりです。

品番		PT-DW730	PT-DW730L	PT-DX800	PT-DX800L
使用電源		AC100 V 50 Hz/60 Hz			
消費電力		810 W			
		〔スタンバイモード〕を〔エコ〕に設定時 0.2 W、〔ノーマル〕に設定時 8 W			
DLP チップ	サイズ	0.65 型 (アスペクト比 16 : 10)		0.7 型 (アスペクト比 4 : 3)	
	表示方式	DLP チップ 1 枚 DLP 方式			
	画素数	1 024 000 画素 (1 280 x 800 ドット)		786 432 画素 (1 024 x 768 ドット)	
レンズ	電動ズーム	1.8 ~ 2.5 : 1		1.8 ~ 2.5 : 1	
	電動フォーカス	F=1.7 ~ 1.9 f=25.6 mm ~ 35.7 mm		オプション F=1.7 ~ 1.9 f=25.6 mm ~ 35.7 mm	
光源ランプ		300 W (最大 310 W) UHM ランプ x 2			
光出力		7 000 lm *1 (ANSI)		8 000 lm *1 (ANSI)	
対応 走査 周波数	ビデオ信号時 (S ビデオ含む)	水平 15.75 kHz/15.63 kHz 垂直 50 Hz/60 Hz			
	RGB 信号時	水平 15 kHz ~ 91 kHz 垂直 50 Hz ~ 85 Hz PIAS (Panasonic Intelligent Auto Scanning) 方式			
		ドットクロック周波数 150 MHz 以下			
	DVI-D 信号時	525p(480p)、625p(576p)、750(720)/60p、750(720)/50p、1125(1080)/60p、 1125(1080)/50p、1125(1080)/60i、1125(1080)/50i、 1125(1080)/24sF、1125(1080)/30p、 1125(1080)/25p、1125(1080)/24p ●表示可能解像度：VGA ~ WUXGA (ノンインターレース) ●ドットクロック周波数：25 MHz ~ 162 MHz ●WUXGA 信号は VESA CMT-RB (Reduced Blanking) 信号のみ対応しています。			
YPbPr 信号時	[525i (480i)] 水平 15.75 kHz 垂直 60 Hz [625i (576i)] 水平 15.63 kHz 垂直 50 Hz [525p (480p)] 水平 31.5 kHz 垂直 60 Hz [625p (576p)] 水平 31.25 kHz 垂直 50 Hz [750 (720) /60p] 水平 45 kHz 垂直 60 Hz [750 (720) /50p] 水平 37.5 kHz 垂直 50 Hz [1035/60i] 水平 33.75 kHz 垂直 60 Hz [1125 (1080) /60i] 水平 33.75 kHz 垂直 60 Hz [1125 (1080) /50i] 水平 28.13 kHz 垂直 50 Hz [1125 (1080) /25p] 水平 28.13 kHz 垂直 25 Hz [1125 (1080) /24p] 水平 27 kHz 垂直 24 Hz [1125 (1080) /24sF] 水平 27 kHz 垂直 48 Hz [1125 (1080) /30p] 水平 33.75 kHz 垂直 30 Hz [1125 (1080) /60p] 水平 67.5 kHz 垂直 60 Hz [1125 (1080) /50p] 水平 56.25 kHz 垂直 50 Hz ●SYNC/HD 端子、VD 端子は、3 値 SYNC には対応していません。				
カラー方式		7 方式 (NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-N/PAL-M/SECAM/PAL60)			
投写画面サイズ		50 ~ 600 型 *2			
画面アスペクト比		16 : 10		4 : 3	
投写方式		フロント天つり / フロント床置き / リア天つり / リア床置き			
コントラスト比		2 500 : 1 (〔コントラストモード〕が〔高〕のとき)		2 000 : 1 (〔コントラストモード〕が〔高〕のとき)	
接続端子	RGB1 入力端子	1 系統 (BNC x 5)			
		[RGB 信号] 0.7 V [p-p] 75 Ω (SYNC ON GREEN 時 1.0 V [p-p] 75 Ω) SYNC/HD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 [YPbPr 信号] Y : 1.0 V [p-p] 同期信号を含む、PbPr : 0.7 V [p-p] 75 Ω			

品番		PT-DW730	PT-DW730L	PT-DX800	PT-DX800L
接続端子	RGB2 入力端子	1 系統 高密度 D-Sub 15 p (メス) [RGB 信号] 0.7 V [p-p] 75 Ω (SYNC ON GREEN 時 1.0 V [p-p] 75 Ω) SYNC/HD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 [YPbPr 信号] Y : 1.0 V [p-p] 同期信号を含む、PbPr : 0.7 V [p-p] 75 Ω			
	VIDEO 入力端子	1 系統 BNC 1.0 V [p-p] 75 Ω			
	S-VIDEO 入力端子	1 系統 Mini DIN 4 p Y 1.0 V [p-p]、C 0.286 V [p-p] 75 Ω S1 信号に対応			
	シリアル入出力端子	D-Sub 9 p 各 1 系統 RS-232C 準拠 コンピューター制御用			
	リモート 1 入出力端子	M3 ステレオミニジャック 各 1 リモコン (ワイヤード) 制御用 / 本体連結制御用			
	リモート 2 入力端子	1 系統 D-Sub 9 p (メス) 外部制御用 (接点制御)			
	DVI-D 入力端子	1 系統 DVI-D 24 p シングルリンク DVI1.0 準拠 HDCP 対応			
	LAN 端子	1 系統 RJ-45 ネットワーク接続用 PLink 対応 10Base-T/100Base-TX			
電源コードの長さ		3.0 m			
外装ケース		樹脂成型品			
外形寸法		横幅 : 498 mm 高さ : 175 mm (脚最小時) 奥行 : 466 mm (付属の標準ズームレンズ含む)	横幅 : 498 mm 高さ : 175 mm (脚最小時) 奥行 : 423 mm	横幅 : 498 mm 高さ : 175 mm (脚最小時) 奥行 : 466 mm (付属の標準ズームレンズ含む)	横幅 : 498 mm 高さ : 175 mm (脚最小時) 奥行 : 423 mm
質量		約 16.3 kg *3 (付属の標準ズームレンズ含む)	約 15.4 kg *3	約 16.3 kg *3 (付属の標準ズームレンズ含む)	約 15.4 kg *3
使用環境条件		使用環境温度 *4 : 0°C ~ 45°C 使用環境湿度 : 20% ~ 80% (結露のないこと)			
リモコン	使用電源	DC 3 V (単 3 形乾電池 2 コ)			
	操作距離	30 m 以内 (受信部正面)			
	質量	134 g (乾電池含む)			
	外形寸法	横幅 : 51 mm 高さ : 176 mm 奥行 : 22.7 mm			

*1 : PT-DX800、PT-DW730 に付属の標準ズームレンズの値です。レンズによって値は異なります。工場出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクタの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については付属書 2 に基づいています。

*2 : ET-DLE055 レンズ使用時は最大 200 型になります。

*3 : 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。

*4 : 高地 (海拔 1 400 m ~ 2 700 m) で使用する場合、使用環境温度の上限は 5°C 低くなります。また、次の 2 つを設定して本機を使用した場合、周囲温度が 40°C ([高地モード] では 35°C) 以上になると、プロジェクターを保護するために、光出力が約 20% 低下することがあります。

- メニューで [ランプ選択] を [デュアル] に設定時

- メニューで [ランプ出力] を [高] に設定時

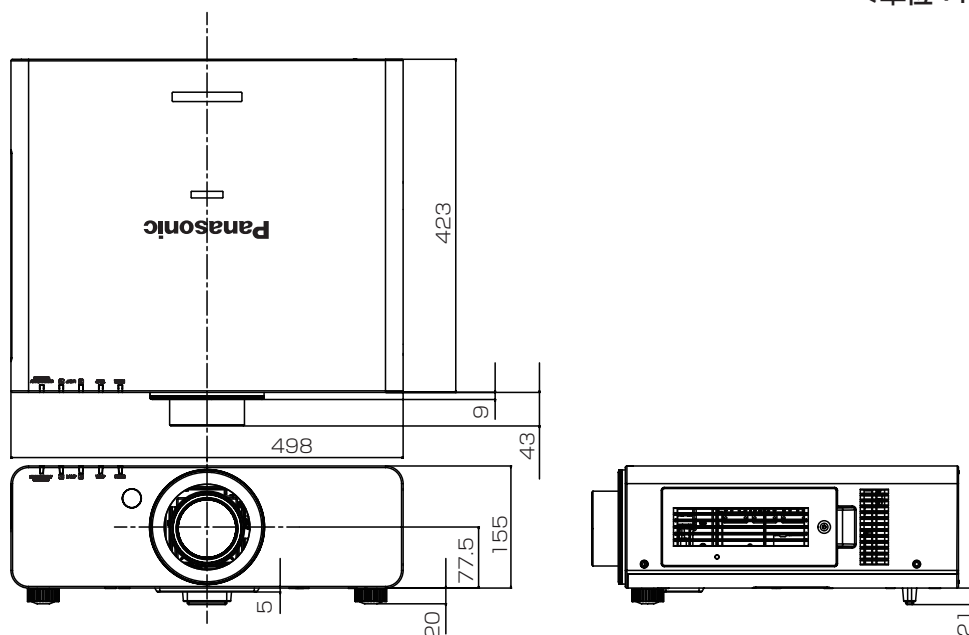
● 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。

● 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

外形寸法図

<単位：mm>



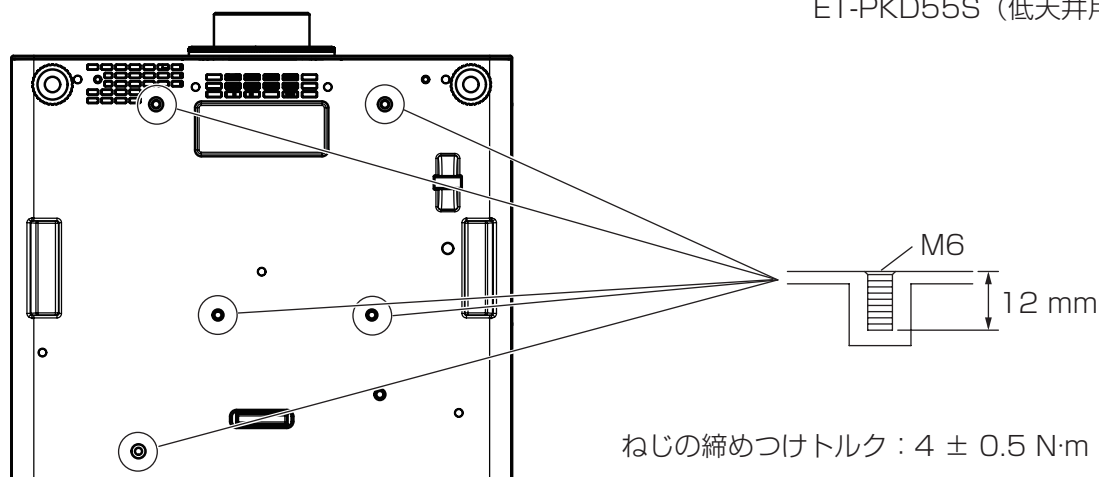
- * 上記は、標準ズームレンズ付属の場合の寸法です。
- * 各製品で寸法は異なる場合があります。

天つり金具取り付け時の注意事項

- 本製品を天井に取り付ける場合は、当社指定の天つり金具（品番：ET-PKD56H（高天井用）、ET-PKD55S（低天井用））を使用してください。
- 取り付けの際は、天つり金具に付属の落下防止セットを、プロジェクター本体に取り付けてご使用ください。落下防止セット（サービス品番：TTRA0214）をご入用の際は、販売店にご相談ください。
- 工事は専門技術者にご依頼ください。
- 当社製以外の天つり金具ならびに天つり金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事の専門技術者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- ねじ類の締めつけの際は、トルクドライバーまたは、六角トルクレンチを使用し、規定値内のトルクで締めつけてください。電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。
- 詳しくは、天つり金具の工事説明書をお読みください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。

本体底面

天つり金具品番：ET-PKD56H（高天井用）
ET-PKD55S（低天井用）



ねじの締めつけトルク：4 ± 0.5 N·m

故障・修理・お取扱い・メンテナンス

などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（下記、パナソニックプロジェクターサポートセンター）までご連絡ください。
* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

* ただし、光源ランプは 6 ヶ月またはランプ使用時間 600 時間の早い方となります。

補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社では、プロジェクターの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年間保有しています。

* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理のご依頼について

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡いただきたい内容

品名	DLP プロジェクター
品番	PT-DW730 PT-DW730L PT-DX800 PT-DX800L
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

パナソニックプロジェクターサポートセンター

設定や操作でご不明なことがございましたら
なんなりとお問い合わせください。

お電話の方はこちら **0120-872-601**

受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9：00～12：00 13：00～17：00

URL：<http://panasonic.biz/projector/>

* 書面や電話/FAXでお答えすることがあります。また、返事を差し上げるのに時間をいただく場合がございます。

* お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用している場合があります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

さくいん

数字			
2 画面	58, 99		
A			
AC 入力端子	16, 30		
AI	45		
〈ASPECT〉 ボタン			
リモコン	15, 38		
〈AUTO SETUP〉 ボタン			
本体	17, 37		
リモコン	15, 37		
D			
〈DEFAULT〉 ボタン			
リモコン	15, 39		
DVI-D IN	56		
〈DVI-D〉 ボタン			
本体	17, 36		
リモコン	15, 36		
E			
〈ENTER〉 ボタン			
本体	17		
リモコン	15		
F			
〈FOCUS〉 ボタン			
リモコン	15, 34		
〈FUNCTION〉 ボタン			
リモコン	15, 37		
I			
〈ID ALL〉 ボタン			
リモコン	15, 18		
〈ID SET〉 ボタン			
リモコン	15, 18		
L			
〈LENS〉 ボタン			
本体	17, 34		
M			
〈MENU〉 ボタン			
本体	17, 39		
リモコン	15, 39		
O			
〈ON SCREEN〉 ボタン			
リモコン	15, 36		
R			
REMOTE2 端子モード	62		
〈RGB1〉 ボタン			
本体	17, 36		
リモコン	15, 36		
〈RGB2〉 ボタン			
本体	17, 36		
リモコン	15, 36		
RS-232C	61, 96		
S			
〈SHIFT〉 ボタン			
リモコン	15, 34		
〈SHUTTER〉 ボタン			
本体	17, 36		
リモコン	15, 36		
〈STATUS〉 ボタン			
リモコン	15, 36		
〈S-VIDEO〉 ボタン			
本体	17, 36		
リモコン	15, 36		
T			
〈TEST PATTERN〉 ボタン			
リモコン	15, 37		
V			
〈VIDEO〉 ボタン			
本体	17, 36		
リモコン	15, 36		
Z			
〈ZOOM〉 ボタン			
リモコン	15, 34		
あ			
アジャスター脚の調整	25		
アスペクト	46		
アスペクト機能	38		
アドバンスドメニュー	40, 49		
アフターサービス	105		
安全上のご注意	6		
い			
位置調整	40, 46		
色あい	43		
色温度設定	43		
色の濃さ	42		
う			
運搬上の留意点	10		
え			
エアフィルターユニット	87		
エアフィルターユニット交換	88		
エアフィルターユニット収納部	88		
映像	40, 42		
映像モード	42		
エッジレンディング	50		
お			
オートセットアップ機能	37		
お手入れ	87		
オンスクリーン表示	56		
オンスクリーンメニュー	39		
温度インジケータ	86		
か			
外形寸法図	104		
カラーコレクション	54		
カラーマッチング	53		
く			
クランプ位置	50		
クロックフェーズ	48		
黒レベル	42		
こ			
工場出荷時の状態に戻す	39		
高地モード	59		
ご使用になる前に	10		
コントラストモード	54		
さ			
サービスパスワード	64		
サブメモリーについて	67		
し			
システムセクター	45		
システムデイルイトビュー	44		
自動調整	55		
シフト	46		
シャープネス	44		
修理のご依頼の前に	91		
主電源スイッチ	16, 32		
仕様	102		
使用上の留意点	13		
初期化	64		
シリアル端子	96		
白ゲイン	44		
新規登録	66		
す			
ズーム	47		
スクリーン設定	55		
スタートアップロゴ	58		
スタンバイモード	61		
ステータス	62		
せ			
セキュリティ	41, 68		
セキュリティに関するお願い	12		
セキュリティパスワード	68		
セキュリティパスワード変更	68		
接続	28		
設置	19		
設置に関する留意点	10		
全ユーザーデータ保存	63		
全ユーザーデータロード	63		
そ			
操作設定	69		
た			
対応信号リスト	100		
台形補正	48		
ダイレクトパワーオフ機能	33		
て			
テキスト変更	69		
デジタルシネマリアリティ	49		
テストパターン	41, 65		
電源入ボタン			
本体	17		
リモコン	15		
電源インジケータ	31		
電源コード	30		
電源コードの接続	30		
電源スタンバイボタン			
本体	17		
リモコン	15		
電源を入れる	32		
電源を切る	33		
天つり金具	104		
天つり金具取り付け時の注意事項	104		
と			
投写する	34		
投写する映像の選択	34		
投写方式	19, 59		
投写レンズの取り外しかた/取り付けかた	26		
登録した信号を削除する	66		
登録信号一覧	41, 66		
登録信号の名前の変更	66		
に			
入力解像度	50		
入力自動セットアップ	55		
入力信号切り換え	36		
ね			
ネットワーク	41, 71		
ネットワークコントロール	71		
ネットワークステータス	71		
ネットワーク接続	72		
ネットワーク設定	71		
の			
ノイズリダクション	44		
は			
廃棄について	12		
バックカラー	57		
ひ			
ピクチャー	42		
日付と時刻	63		
表示オプション	41, 53		
表示言語	41, 52		
表示設定	68		
ふ			
ファンクションボタン	37, 63		
フィルターインジケータ	86		
付属品の確認	14		
部品交換	88		
ブランキング	49		
フリーズ	58		
プロジェクター ID	59		
プロジェクターセットアップ	41, 59		
へ			
別売品	14		
ほ			
保証とアフターサービス	105		
本体	16		
む			
無信号自動オフ	62		
め			
メインメニュー	40		
メニュー画面の操作方法	39		
メニュー項目	40		
メニューロック	69		
メニューロックパスワード	69		
ら			
ラスターポジション	51		
ランプインジケータ	85		
ランプ出力	61		
ランプ選択	60		
ランプユニット交換	89		
ランプユニット収納扉	16		
ランプリレー	61		
り			
リモート 1 出力端子	18		
リモート 1 入力端子	18		
リモート 2 入力端子	98		
リモコン	15		
リモコン操作	36		
リモコンの ID ナンバー指定	18		
れ			
冷却条件	60		

■ ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で正しい廃棄方法をお問い合わせください。



■ 中国域内での環境に関する情報



このシンボルマークは中国国内でのみ有効です。

パナソニック株式会社 プロジェクタービジネスユニット

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 電話 ☎ 0120-872-601